令和３年度 第２回京田辺市生涯学習推進協議会

日時　令和３年９月３日（金）午後３時から
場所　京田辺市役所３階　３０５会議室

次　　第

１　　開　会

２　　議　題

（１）第２次京田辺市生涯学習推進基本計画の成果と課題について

（２）生涯学習に関するアンケート調査（個人・団体・区自治会）の結果について

（３）第３次京田辺市生涯学習推進基本計画骨子案について

３　　その他

４　　閉　会

資　料

資料１　第２次京田辺市生涯学習推進基本計画成果と課題

資料２　京田辺市生涯学習に関するアンケート調査（個人・団体・区自治会）報告書

資料３　第３次京田辺市生涯学習推進基本計画【骨子案】

資料１

第２次京田辺市生涯学習推進基本計画
成果と課題

令和３年８月

第２次京田辺市生涯学習推進基本計画の評価検証

「第２次京田辺市生涯学習推進基本計画」は、生涯学習社会の実現に向けて学習機会の提供や学習基盤の整備等の施策をとりまとめた計画です。「第３次京田辺市生涯学習推進基本計画」の策定にあたり、「第２次京田辺市生涯学習推進基本計画」の成果と課題を整理しました。

なお、「第２次京田辺市生涯学習推進基本計画」における基本的な施策目標とその達成度は以下のとおりです。

基本的な施策目標	達成度
１　自ら学ぶ意欲づくり	3.6 点
２　楽しく学ぶことができる機会の充実	3.8 点
３　学習基盤の充実と活用	3.7 点
４　学習を支える人材・指導者の育成	3.4 点
５　学習を進める仕組みの充実	3.6 点

達成度の計算方法

本報告書の作成に当たり、各担当課において計画に関連する事業の自己評価を行いました。

達成度については、重点施策ごとに付随する事業全ての自己評価の平均点を算出し、さらに、基本的な施策目標においても付随する全て事業の平均点を達成度として掲げています。

なお、自己評価の基準は以下のとおりです。

自己評価	点数
よくできた：◎	４点
ある程度できた：〇	３点
あまりできなかった：△	２点
できなかった：×	１点

基本的な施策目標１　自ら学ぶ意欲づくり

【調査対象と達成度】

達成度	3.6 点

※達成度は４点満点です（以下同）。

【成果】

（１）学習の機会の提供と拡充　３．６点

学習機会の提供と内容の見直しについては、ＰＤＣＡサイクルを意識し、各講座、教室、研修、セミナー等の参加者の意向を踏まえ、問題点等の改善に努めるとともに、様々な機会を通じた市民ニーズの把握による新しい事業、学習の場の提供に取り組みました。

また、ライフステージに対応した学習機会を提供するため、食育に関する教室や子ども向けの環境学習会、妊娠・出産・子育てを支援するセミナー、子どもの虐待防止に向けた講演会等を開催するなど、青少年健全育成や高齢者の生きがいづくり等も含め、幅広い年齢層に向けた教室・講座の実施に取り組んでいます。

ライフスタイルに対応した学習機会の拡充については、男女共同参画等の人権や、市民の生活安全を図るための消費者被害防止に関連する講座のほか、障がい者への理解促進やコミュニケーション支援の人材育成、社会参加を目的とした学習提供等に取り組んでいます。また、市民が心身ともに健康な生活が送れるよう、ライフステージごとの健康課題に応じた健康づくり教室や、心の健康に関連する講演会等、市民の様々な状況に応じた学習の提供に取り組んでいます。

地域の公民館等において様々な学習機会の拡充を図るため、高齢者の身近な居場所づくりとしての運営支援や、自治会やサークルに対し要望があれば生涯学習の人材派遣を行うなど、地域のニーズに対応した支援に努めています。また、児童を対象とした、授業や放課後において地域住民による体験学習等を行う地域学校パートナーシップ事業や、放課後の安全な遊び場の確保として地域学校協働活動（放課後子ども教室）に取り組みました。ほかには、出前講座による地域交流や、「広報ほっと京たなべ」、「学びの情報誌」、ホームページ、市公式ＳＮＳ等を通じて、市民の学びにつながる情報提供に努めました。

（２）市の特性を活かした学習情報の蓄積と発信　４．０点

京田辺市の文化や歴史、自然を生かした学習の促進として、これらの分野で活躍する指導者を活用し、伝統文化や貴重な資源の保存、地域の活性化に努めています。ふるさと京田辺を学ぶ講座や古文書解読講座、市史編さんリレー講座等を実施し、京田辺の歴史・史跡や、市史編さん事業への理解を深める取り組みを行いました。

また、同志社大学や同志社女子大学等の立地条件を生かし、学術関連施設が有する豊富な人的・物的資源を活用した公開講座を実施することで、大学等との連携による学習の充実に努めています。同志社大学体育会クラブスポーツコミュニケーションや、同志社大学サイエンスアカデミー、

京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ等、世代を問わず多くの人がスポーツや生涯学習に関わることができる機会の提供に取り組みました。

（３）生涯学習相談体制の機能の充実　３．５点

学習に関連する相談窓口の整備・充実に向けて、京田辺市生涯学習人材バンク事業に取り組み、希望するサークル等に年間 50 件程度の派遣を行っています。

また、専門職員（学習相談員等）の養成として、アートディレクターによる人材育成・組織づくりに取り組む文化コーディネーター養成講座は、次期計画では廃止の方向となっています。

【課題】

〇地域学校協働活動については今後更なる活用に向けて、制度の見直しも含めた検討が必要です。

〇４半期に１度の発行の「学びの情報誌」は、「広報紙」との内容の重複があり、掲載基準の統一等の情報整理や発行スケジュールの見直しが必要です。

基本的な施策目標２　楽しく学ぶことができる機会の充実

【調査対象と達成度】

達成度	3.8 点

※達成度は４点満点です（以下同）。

【成果】

（１）生涯学習を通じた学習機会の充実　３．８点

学習者の自主的かつ楽しい学習活動の継続に向けて、主体的な学習内容の企画や運営への参画に取り組み、市民活動講座の実施等の生涯学習プログラムの充実を図りました。

ほかに、社会の急激な変化に対応ができ、人間性豊かな生活を営むために必要とされる、課題別学習の促進に取り組み、防災に関する講演会や同和問題、女性、性的少数者等の人権問題、健康づくり教室、自然環境保全、スポーツに関わる大会や教室、市民参加のまちづくり等、様々な分野の学習支援を行いました。

また、高齢者の自立能力の維持・向上を図り、経験や知識・技術を社会に生かす仕組みづくりの構築を図るため、高齢者学習の充実に取り組むとともに、主体的・体験的な学習活動を通して、学ぶことの楽しさや生きがいを共有できるよう、参加型学習のプログラムの提供等に努めました。

（２）文化・芸術・スポーツ活動の支援と充実　４．０点

文化・芸術・スポーツ活動の発表や鑑賞の機会の拡充を図るため、市民文化祭（市民まつり）、生涯スポーツフェスティバル、せせらぎまつり等、様々なイベント等を開催し、多くの市民が体験・参加できるよう支援に努めました。

また、地域の風土・風習・歴史等を学び、市民のシビックプライドを醸成するための活動支援を行っています。市史編さん事業において、市民参加を促進するために、史料整理ボランティア、古文書修復ボランティアの養成に取り組みました。

（３）学びを広げるための施設の開放と有効活用　３．８点

適正な介護の知識・技術を学習する機会の充実として、学校・地域・福祉施設の連携等による介護体験や世代間交流を促進しています。認知症になっても、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援する認知症サポーター養成講座や、自らの職業観や勤労観を育み、進路選択を決定する意志・意欲を培うための職場体験事業、中学生向けの子育て理解講座等の様々な講座や事業実施に取り組みました。

また、年齢や体力に応じて心身の健康を培うことができるよう、身近で安全・安心に参加できるスポーツ活動の日常化・継続化に努めています。スポーツに親しむ日、身障者スポーツ教室、らくらく健康教室等、年齢や障がいの有無にかかわらず、スポーツや運動等が行えるとともに、

日常生活において役立つ健康なからだづくりに取り組めるよう支援しています。

　市民の身近な地域づくりや交流、学習活動の場である、分館公民館の有効利用を図るため、高齢者の身近な居場所づくり支援事業、生涯学習人材バンクの派遣、子どもの居場所づくり事業等の利便性の向上に努めました。

【課題】

〇市民文化祭や産業祭などをまとめ「市民まつり」として開催するように、他の部局で行っているイベントについても、重複した内容等を整理して、より多くの市民が参加できる内容に見直す必要があります。

〇地域での自主的な学習が行いやすい環境づくりのため、地域での拠点機能のあり方の検討が必要です。

基本的な施策目標３　学習基盤の充実と活用

【調査対象と達成度】

達成度	3.7 点

※達成度は４点満点です（以下同）。

【成果】

（１）学習プログラムの充実と情報の提供　３．８点

楽しく、工夫のある生涯学習プログラムの充実を図るため、一人ひとりが地球温暖化対策に効果的な取り組みを行う国民運動に関連した「クールチョイス事業」や、ゴミ拾いで競い合うスポーツ「スポ GOMIin 京田辺」に取り組みました。なお、クールチョイス事業については、今後もプログラムを工夫するなど引き続き取り組んでいきますが、「スポ GOMIin 京田辺」については廃止の方向となりました。

生涯学習情報の提供については、「広報ほっと京たなべ」や、生涯学習情報に特化した「学びの情報誌」の発行、ホームページ、市公式ＳＮＳ等の多様な媒体を活用した情報提供に取り組んでいます。

（２）特色のある学習の整備と充実　３．９点

様々な機関等と連携し、特色ある学習の充実に努めています。

一般行政と教育行政の連携による、小・中学生ひろしま訪問事業や市民文化祭（市民まつり）、人権に関する啓発事業の実施や、学校教育と社会教育の連携強化を図るため、地域学校パートナーシップ事業等に取り組みました。

学校開放として、土日や平日、夜間の運動場、体育館等を市民サークル団体等に開放したほか、放課後子ども教室（プラン）を開催するなど、施設の有効活用に努めました。

同志社大学等との連携事業を推進するため、大学等の有する豊富な人的・物的資源の有効活用や、「京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ」の内容の充実、学生ボランティア活動の促進に努めました。今後も引き続き、各事業の充実に取り組んでいきます。

民間機関等との連携では、市内企業ＰＲの一環として、市内在住の小学生を対象とした、工場見学・ものづくり体験事業を支援しています。

（３）生涯学習施設の拠点機能の充実とネットワーク化　３．４点

生涯学習施設の拠点機能を充実させるため、（仮称）生涯学習センターや（仮称）南部住民センター等の整備の検討を行いました。

また、生涯学習関連施設の整備・充実については、「第３次京田辺市総合計画」に整合しながら、維持管理経費の効率化を図りつつ、日常の施設の整備作業を実施しています。

生涯学習関連施設の連携として、社会教育施設、社会体育施設、福祉施設等のネットワーク化を図り、各施設の空き状況をホームページで確認できるなど、利便性の向上に努めました。また、分館公民館においては、様々な学習機会の提供に取り組みました。

【課題】

○４半期に１度の発行の「学びの情報誌」は、「広報紙」との内容の重複があり、掲載基準の統一等の情報整理や発行スケジュールの見直しが必要です。（再掲）

○市民文化祭や産業祭などをまとめ「市民まつり」として開催するように、他の部局で行っているイベントについても、重複した内容等を整理して、より多くの市民が参加できる内容に見直す必要があります。（再掲）

○生涯学習センターの整備については、より具体的な内容について検討を進める必要があります。また、南部地域における学習活動の場づくり、学習機会の確保についても引き続き検討が必要です。

○地域での自主的な学習が行いやすい環境づくりのため、地域での拠点機能のあり方の検討が必要です。（再掲）

基本的な施策目標４　学習を支える人材・指導者の育成

【調査対象と達成度】

達成度	3.4 点

※達成度は４点満点です（以下同）。

【成果】

（１）学習を支える人材の育成と活用　３．０点

地域リーダー研修会や認知症サポーター養成講座、文化活動指導者研修会等を実施し、各地域等で支援や活躍できる人材の育成に努めました。

また、生涯学習ボランティアや学習相談員の育成をめざして、生涯学習人材バンク事業や生涯学習推進協力員研修会を実施し、様々な活用の場を創出しました。

さらに、生涯学習推進協力員は、地区公民館を拠点として、市民の学習活動の支援や学習意欲の喚起、情報提供など様々な生涯学習を推進しました。

（２）学習団体やボランティアの育成と活性化　３．６点

学習団体等への支援として、社会教育関係団体への補助や、登録サークルの育成のほか、施設使用料・冷暖房設備費の減免、展示会開催の支援等に取り組みました。

また、住民センターにおけるまつりや、市民文化祭、産業祭、生涯スポーツフェスティバル、図書館夏休み子どもフェスティバル等を開催し、活動団体やサークル等の交流促進を図りました。

（３）心の教育を進める機会の充実と指導者の育成　３．６点

家庭教育の充実を図るため、各幼稚園・小学校の保護者等を対象とした子育てに関するセミナーの開催に取り組んでいます。また、子育て親子を対象とした交流促進や、子育て支援に関する講習会、安心して出産・子育てに臨めるよう支援するための教室や、子どもの虐待防止に向けた講演会を開催しています。

学校教育の充実として、開かれた学校づくりや地域交流を推進するため、地域の人材を活用した授業を行うほか、地域学校協働活動（放課後子ども教室）を開催し、地域ボランティアによる活動に取り組みました。

また、社会教育の充実として、ハートフルフェスタや人権講演会等の人権教育のほか、子育て事業や成人式等、様々な青少年健全育成事業を実施しました。

中央体育館、各運動公園、田辺公園プール等での自主的なスポーツ活動の支援やスポーツ教室を実施したほか、総合型地域スポーツクラブや生涯スポーツフェスティバル等を開催するなど、社会体育を充実させるため、様々なスポーツの機会の提供に努めました。また、参加対象年齢をより明確にした、ライフステージごとの課題に応じた健康づくり教室を実施しています。

【課題】

〇学習団体等の成果を継続的に活用できる場を増やすことが必要です。

〇生涯学習推進協力員については、生涯学習に関する様々な活動を行ってきましたが、近年は役割等も形骸化しており、制度の見直しも含めた検討が必要です。

〇市民文化祭や産業祭などをまとめ「市民まつり」として開催し、他の部局で行っているイベントについても、重複した内容等を整理して、より多くの市民が参加できる内容に見直す必要があります。（再掲）

基本的な施策目標５　学習を進める仕組みの充実

【調査対象と達成度】

達成度	3.6 点

※達成度は４点満点です（以下同）。

【成果】

（１）学習の成果が生きる仕組みづくり　３．６点

生涯学習のデータベースである「生涯学習人材バンク」を広く活用できるよう、情報提供の拡充に取り組みました。また、学習等により習得された成果を、地域や学校で次の世代や新たな学習者に伝承し、継続して活用されるシステムの構築に努めました。さらに、継続的な学習で習得した成果を、地域社会の発展やボランティア活動等に活かされるよう、体系的な整備と充実に努めました。

（２）生涯学習推進体制の機能の充実　３．６点

京田辺市生涯学習推進協議会や京田辺市生涯学習推進幹事会等を開催し、次期計画策定に合わせて組織の再編成に取り組んだほか、生涯学習推進事務局においては、庁内で総合的に生涯学習を推進していくため、市長部局と教育委員会部局との連携を図っています。

また、生涯学習の市民への効率的な普及・展開を図るため、各自治会の生涯学習推進協力員を活用した様々な生涯学習の場の創出に取り組みました。

（３）市民の主体的な学習活動の促進と充実　３．７点

蓄積された学習プログラムの充実を図るため、市民の企画・運営への参加促進に取り組むとともに、市民の提案・企画による学習活動への支援として、分館公民館で団体等が実施する主体的な活動への積極的な支援に努めました。

また、子育てに関する学習の支援として、学習内容や情報の提供、「生涯学習事業開催時保育協力者（子どもの保育）」の配置、妊娠期における女性の育児相談や交流学習の推進に取り組みました。

【課題】

〇講座等の受講者の学習成果を継続的に活用できる場を増やすことが必要です。（再掲）
〇地域学校協働活動については活用が積極的でないため、制度の見直しも含めた検討が必要です。（再掲）
〇生涯学習推進協力員の積極的な活用のため、制度の見直しも含めた検討が必要です。（再掲）

資料２

京田辺市
生涯学習に関するアンケート調査
（個人・団体・区 自治会）報告書

令和３年８月

京都府 京田辺市

目　次

Ⅰ　アンケート調査の概要 1

1　調査の目的 1
2　調査概要 1
3　回収結果 1
4　報告書の見方 2

Ⅱ　生涯学習に関するアンケート（個人用）調査結果 3

1　あなた自身について 3
2　あなたのこれまでの生涯学習の状況について 7
3　家庭教育の状況について 23
4　学びの「成果」の生かし方について 27
5　地域や社会での活動について 33

Ⅲ　生涯学習に関するアンケート（団体用）調査結果 40

Ⅳ　生涯学習に関するアンケート（区・自治会用）調査結果 50

Ⅰ　アンケート調査の概要

１　調査の目的

本調査は、市民の皆様や関係団体の生涯学習活動の状況や、その実態及び意識を把握し、市民全員が学びを通して地域に貢献し、地域のつながりを築き、地域課題を解決する生涯学習社会を目指す計画を策定するにあたり、基礎資料として活用するために実施しました。

２　調査概要

①個人調査

●調 査 地 域：京田辺市全域
●調査対象者：市内にお住まいの 18 歳以上の 3,000 人を無作為に抽出
●調 査 期 間：令和３年６月 28 日（月）～７月 16 日（金）
●調 査 方 法：郵送による調査票の配布、郵送による調査票の回収またはＷｅｂでの調査

②団体調査

●調 査 地 域：京田辺市全域
●調査対象者：主に市内の公共施設を拠点に活動されている団体
（市体育協会、市文化協会、中央公民館登録サークル等）
●調 査 期 間：令和３年６月 28 日（月）～７月 16 日（金）
●調 査 方 法：調査票による記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

③区・自治会調査

●調 査 地 域：京田辺市全域
●調査対象者：市内の区・自治会
●調 査 期 間：令和３年７月 20 日（火）～８月３日（火）
●調 査 方 法：調査票による記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査

３　回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
①個人調査	3,000 件	1,208 件*	40.3%
②団体調査	100 件	65 件	65.0%
③区・自治会調査	47 件	44 件	93.6%

*うち Web 調査回収数：226 件

４　報告書の見方

●回答結果の割合「％」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0％にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。

●複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0％を超える場合があります。

●図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

●図表中の「Ｎ（number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

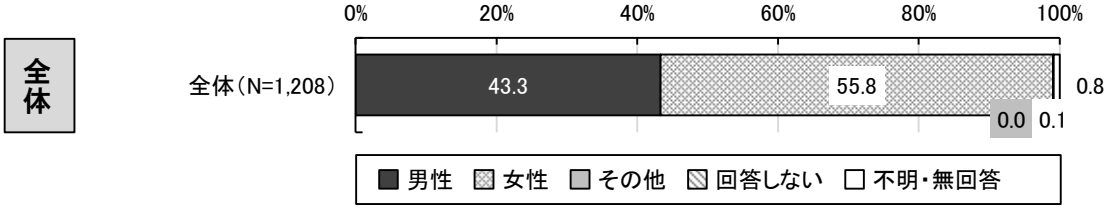
●本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

Ⅱ　生涯学習に関するアンケート（個人用）調査結果

１　あなた自身について

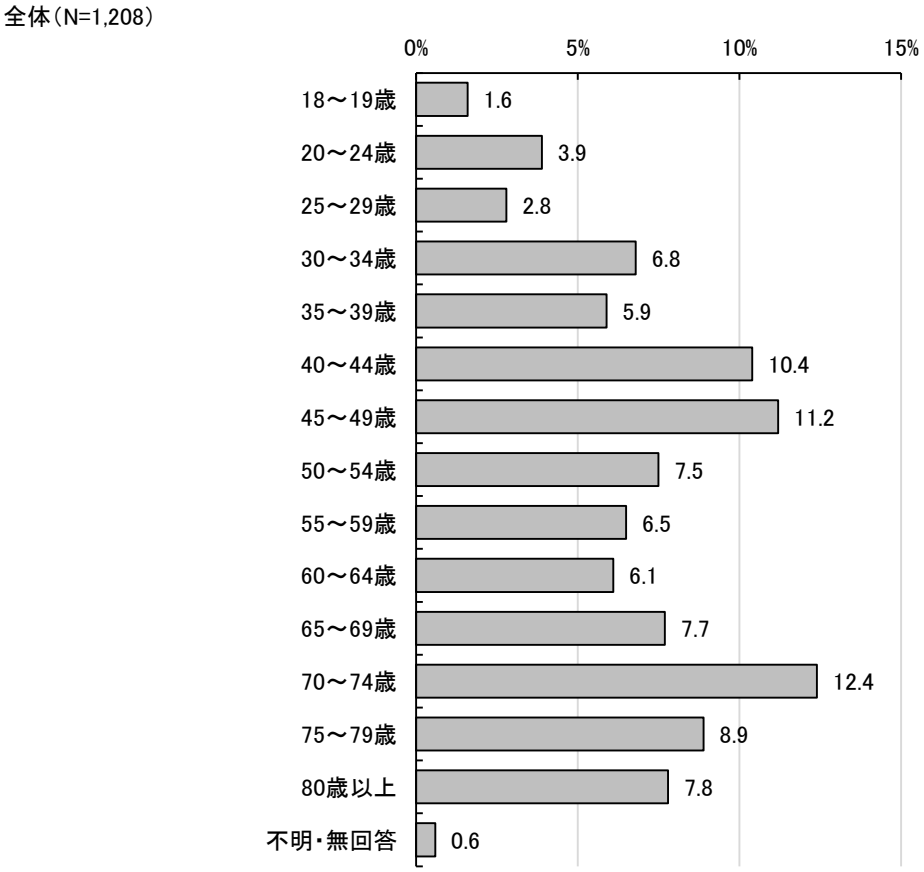
問１　あなたの性別について、お聞かせください。（ひとつだけ○）

性別についてみると、「男性」が 43.3%、「女性」が 55.8%、「回答しない」が 0.1%となっています。



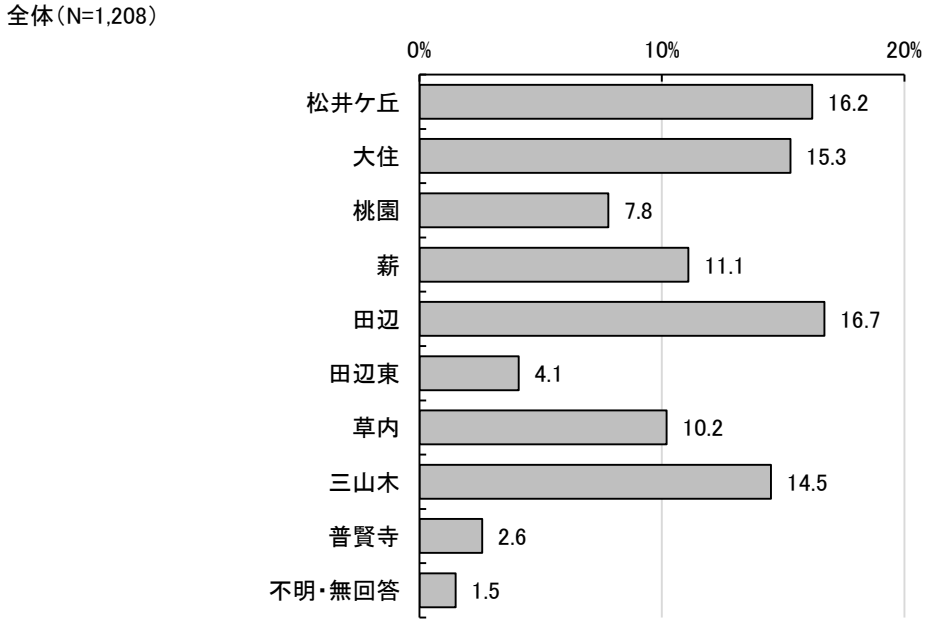
問２　あなたの年齢をお聞かせください。（ひとつだけ○）

年齢についてみると、「70～74 歳」が 12.4%と最も高く、次いで「45～49 歳」が 11.2%となっています。



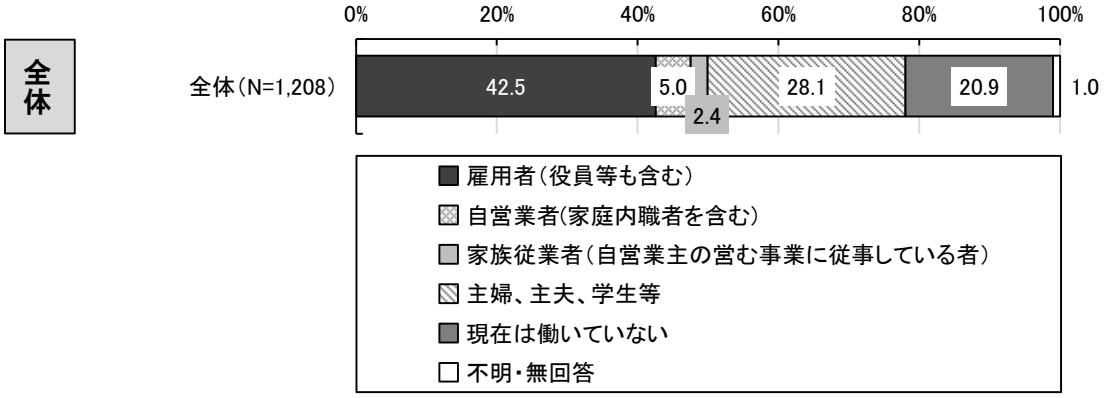
問３　あなたのお住まいの小学校区名をお聞かせください。（ひとつだけ○）

住んでいる小学校区名についてみると、「田辺」が 16.7%と最も高く、次いで「松井ケ丘」が 16.2%となっています。



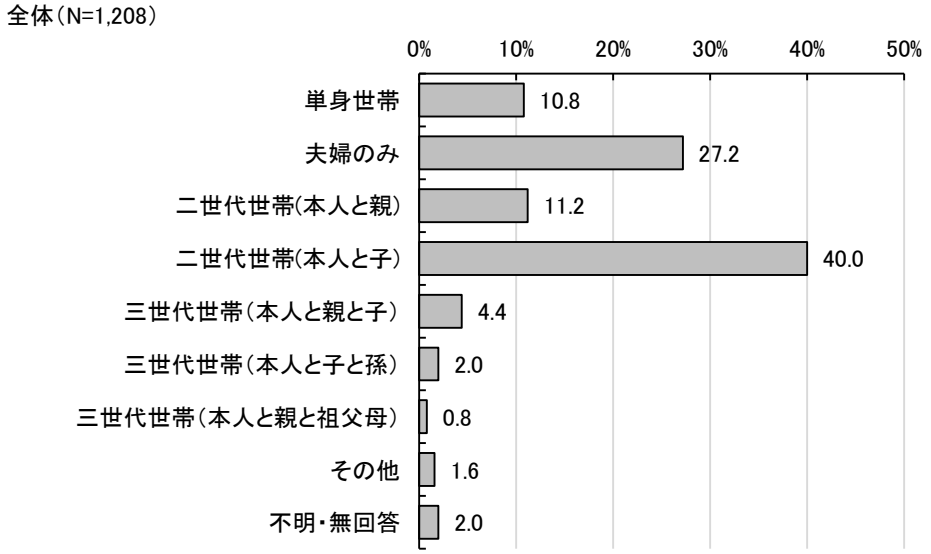
問４　あなたの現在のお仕事をお聞かせください。（ひとつだけ○）

職業についてみると、「雇用者（役員等も含む）」が 42.5%と最も高く、次いで「主婦、主夫、学生等」が 28.1%となっています。



問５　あなたの家族の形態をお聞かせください。（ひとつだけ○）

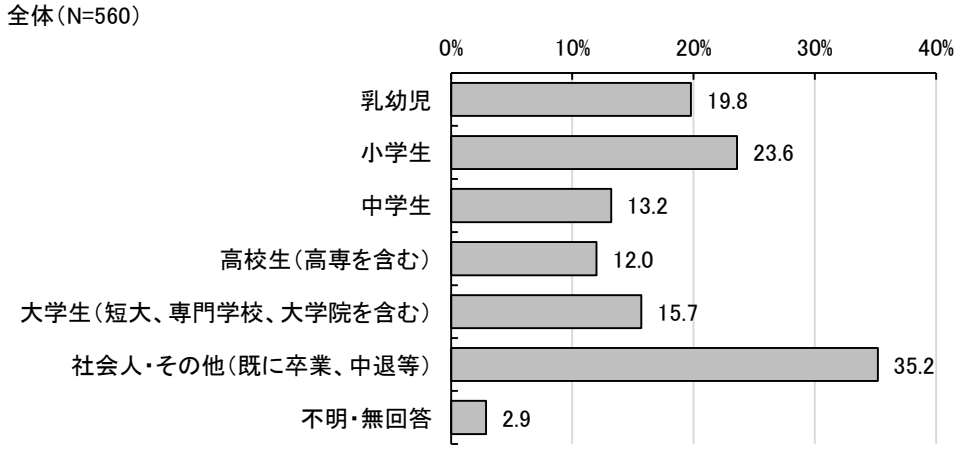
家族の形態についてみると、「二世代世帯(本人と子)」が 40.0%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が 27.2%となっています。



【問５で「二世代世帯(本人と子)」「三世代世帯（本人と親と子)」「三世代世帯（本人と子と孫)」に○をつけた方におうかがいします。】

問６　子の年代をお聞かせください。（○はいくつでも）

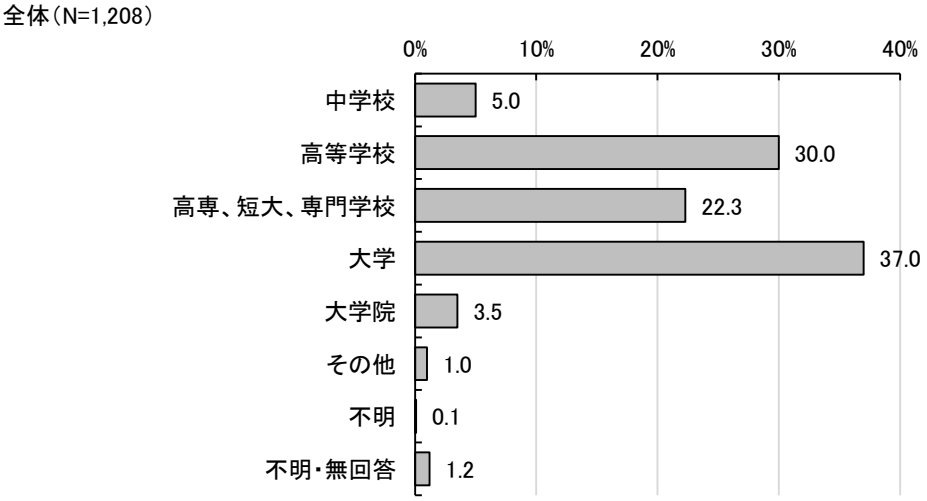
子の年代についてみると、「社会人・その他（既に卒業、中退等)」が 35.2%と最も高く、次いで「小学生」が 23.6%となっています。



問７　あなたが最後に卒業した学校※、または現在在学中の学校はどれですか。（ひとつだけ○）

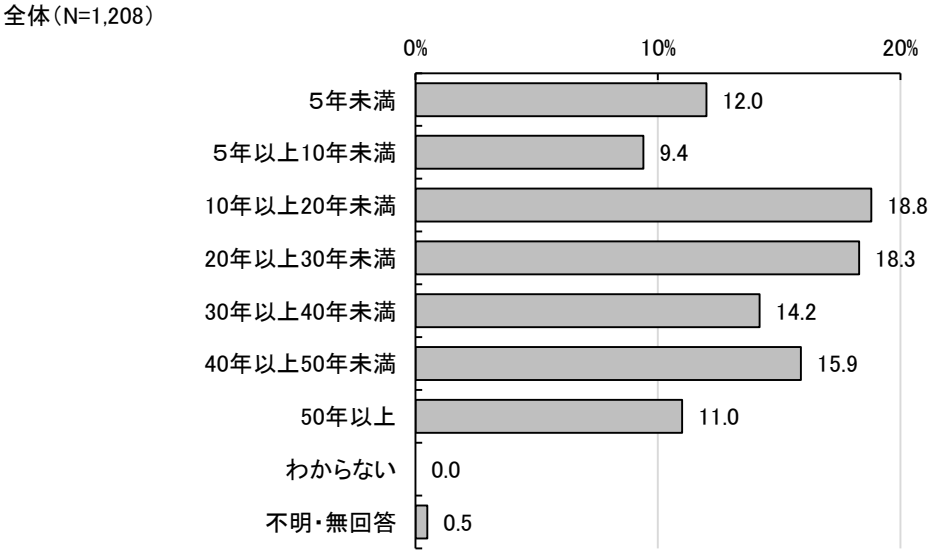
※最後に通った学校を中退された場合は、その前に卒業した学校をお答えください。

卒業した学校、または現在在学中の学校についてみると、「大学」が 37.0％と最も高く、次いで「高等学校」が 30.0％となっています。



問８　あなたは京田辺市に住み始めて何年になりますか。（ひとつだけ○）

居住年数についてみると、「10 年以上 20 年未満」が 18.8％と最も高く、次いで「20 年以上 30 年未満」が 18.3％となっています。



２　あなたのこれまでの生涯学習の状況について

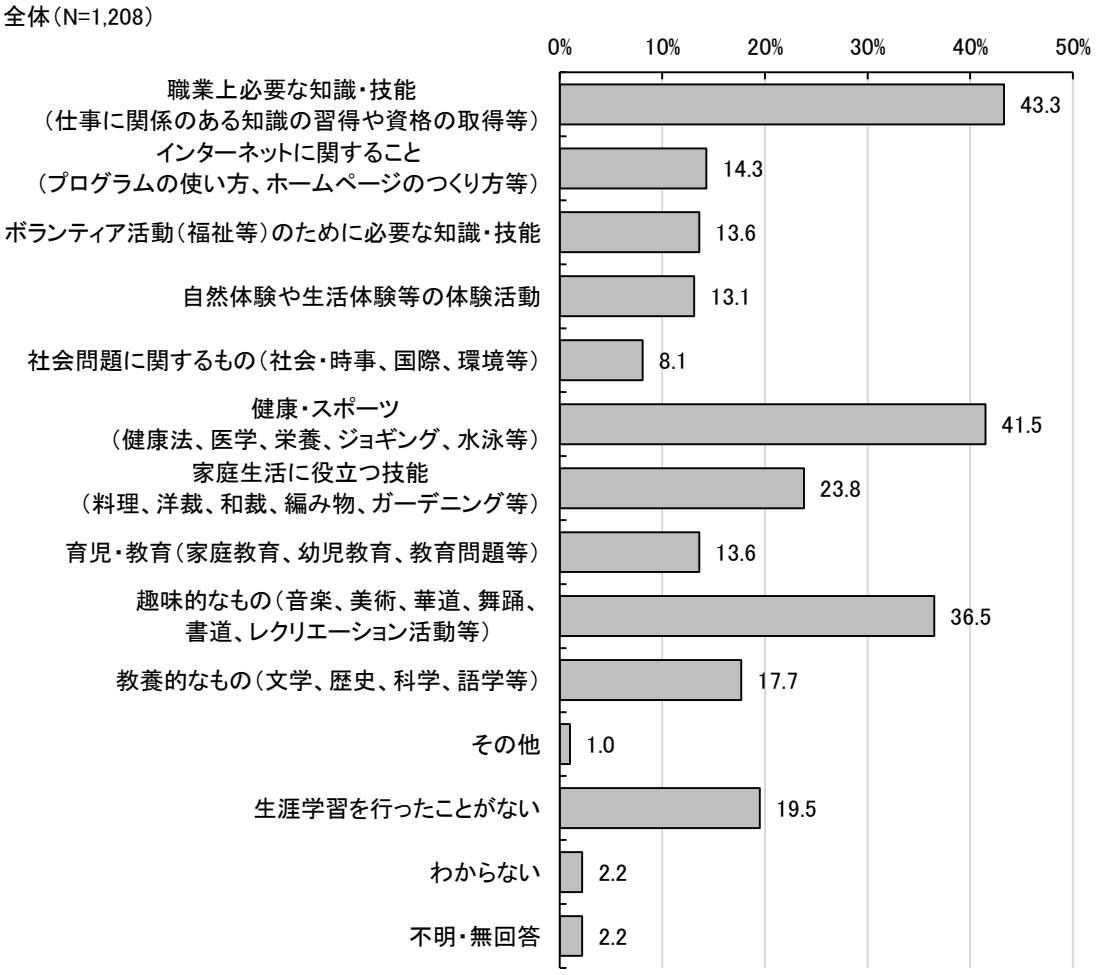
問９　あなたは、これまでに以下のような生涯学習活動を行いましたか。（○はいくつでも）

これまでに行った生涯学習活動についてみると、全体では「職業上必要な知識・技能」が 43.3％と最も高く、次いで「健康・スポーツ」が 41.5％となっています。

性別にみると、男性では「職業上必要な知識・技能」、女性では「趣味的なもの」が高くなっています。

年齢別にみると、65 歳以上では「職業上必要な知識・技能」が他の年齢と比べて低くなっています。

小学校区別にみると、大住、桃園、普賢寺では「健康・スポーツ」、草内では「趣味的なもの」、その他の小学校区では「職業上必要な知識・技能」がそれぞれ高くなっています。



【性別・年齢別・小学校区別】

単位：%

		職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得等）	インターネットに関すること（プログラムの使い方、ホームページのつくり方等）	ボランティア活動（福祉等）のために必要な知識・技能	自然体験や生活体験等の体験活動	社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境等）	健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳等）	家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物、ガーデニング等）
全体（N=1,208）		43.3	14.3	13.6	13.1	8.1	41.5	23.8
性別	男性（N=523）	47.8	20.1	10.1	12.6	10.9	39.8	10.3
	女性（N=674）	40.4	9.9	16.3	13.5	5.9	43.2	34.6
年齢別	18～39歳（N=253）	52.6	20.2	11.9	20.6	13.0	43.9	20.2
	40～64歳（N=504）	51.4	13.1	11.5	12.7	5.6	39.9	23.2
	65歳以上（N=444）	29.3	12.2	16.9	9.2	8.1	42.3	26.8
小学校区別	松井ケ丘（N=196）	49.5	10.7	12.8	15.3	9.2	47.4	27.0
	大住（N=185）	38.4	14.6	14.1	16.8	7.0	45.9	28.1
	桃園（N=94）	39.4	12.8	14.9	11.7	7.4	50.0	30.9
	薪（N=134）	44.8	11.9	13.4	12.7	12.7	34.3	23.9
	田辺（N=202）	47.5	13.4	11.9	10.4	6.4	38.6	17.8
	田辺東（N=50）	46.0	16.0	20.0	10.0	6.0	44.0	16.0
	草内（N=123）	36.6	16.3	12.2	8.1	7.3	35.8	21.1
	三山木（N=175）	46.3	21.1	13.7	14.3	8.0	39.4	25.7
	普賢寺（N=31）	25.8	6.5	19.4	16.1	6.5	38.7	19.4

		育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題等）	趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動等）	教養的なもの（文学、歴史、科学、語学等）	その他	生涯学習を行ったことがない	わからない	不明・無回答
全体（N=1,208）		13.6	36.5	17.7	1.0	19.5	2.2	2.2
性別	男性（N=523）	7.1	25.0	18.5	1.1	25.4	1.9	1.9
	女性（N=674）	18.7	45.8	17.2	0.9	14.5	2.5	1.6
年齢別	18～39歳（N=253）	19.8	40.3	22.1	0.4	15.0	2.4	1.2
	40～64歳（N=504）	15.9	30.4	17.1	1.0	19.6	3.4	0.8
	65歳以上（N=444）	7.4	41.4	16.2	1.4	21.6	0.9	3.6
小学校区別	松井ケ丘（N=196）	11.2	38.3	20.4	0.5	13.3	0.5	1.0
	大住（N=185）	12.4	42.7	20.5	0.5	20.0	2.2	2.2
	桃園（N=94）	8.5	44.7	18.1	2.1	14.9	0.0	2.1
	薪（N=134）	17.2	35.8	14.9	2.2	23.1	3.7	1.5
	田辺（N=202）	12.9	30.7	17.3	0.5	21.8	2.0	2.5
	田辺東（N=50）	12.0	32.0	18.0	2.0	20.0	0.0	2.0
	草内（N=123）	11.4	39.8	22.0	0.8	21.1	4.1	1.6
	三山木（N=175）	20.0	31.4	16.0	0.6	19.4	3.4	2.3
	普賢寺（N=31）	19.4	35.5	0.0	0.0	25.8	3.2	3.2

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

【問９で「生涯学習を行ったことがない」「わからない」以外に○をつけた方におうかがいします。】

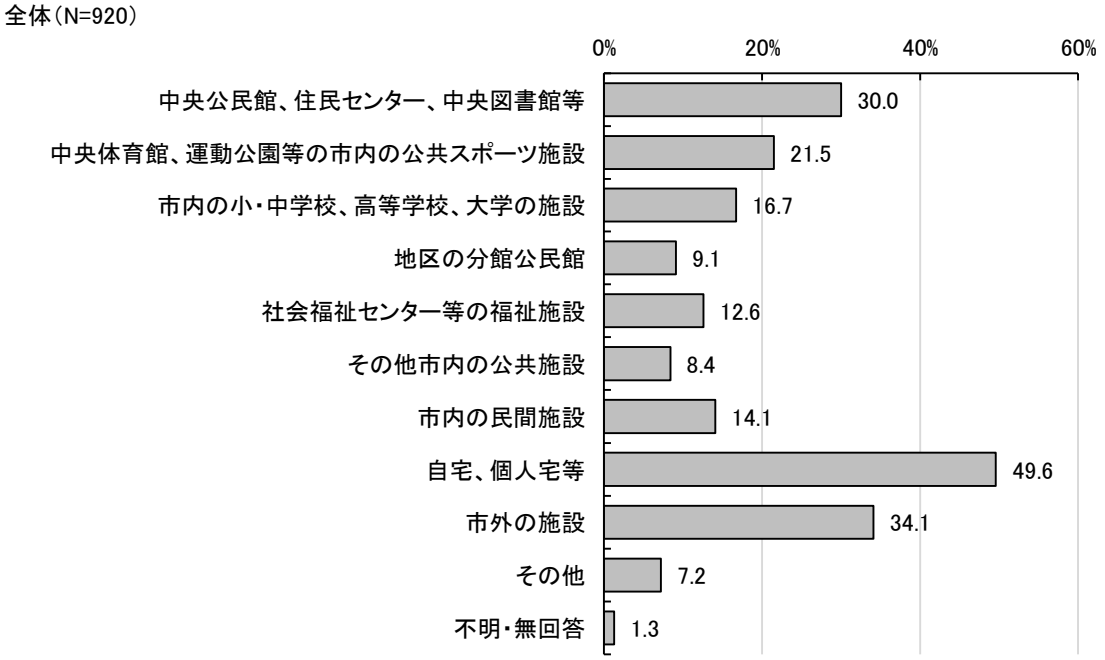
問 10　どのような場所で学習をしてきましたか。（○はいくつでも）

どのような場所で学習をしてきたかについてみると、全体では「自宅、個人宅等」が 49.6％と最も高く、次いで「市外の施設」が 34.1％となっています。

性別にみると、「自宅、個人宅等」では男性が女性を 17.0 ポイント上回っています。

年齢別にみると、65 歳以上歳では「自宅、個人宅等」が他の年齢と比べて低くなっています。

小学校区別にみると、田辺東では「中央公民館、住民センター、中央図書館等」「市外の施設」、普賢寺では「中央体育館、運動公園等の市内の公共スポーツ施設」、その他の小学校区では「自宅、個人宅等」がそれぞれ高くなっています。



【性別・年齢別・小学校区別】

単位：%

		中央公民館、住民センター、中央図書館等	中央体育館、運動公園等の市内の公共スポーツ施設	市内の小・中学校、高等学校、大学の施設	地区の分館公民館	社会福祉センター等の福祉施設	その他市内の公共施設	市内の民間施設	自宅、個人宅等	市外の施設	その他	不明・無回答
全体（N=920）		30.0	21.5	16.7	9.1	12.6	8.4	14.1	49.6	34.1	7.2	1.3
性別	男性（N=370）	21.1	20.0	16.8	6.5	7.8	7.3	8.6	59.7	31.4	7.6	1.9
	女性（N=548）	36.1	22.6	16.8	10.9	15.9	9.1	17.9	42.7	36.1	6.8	0.9
年齢別	18～39歳（N=206）	17.0	13.1	25.7	1.5	4.4	8.3	9.2	67.5	33.0	7.8	0.5
	40～64歳（N=384）	25.8	22.1	13.8	4.7	9.9	7.8	17.2	48.4	38.5	9.6	0.5
	65歳以上（N=328）	43.0	25.9	14.6	18.9	21.0	8.5	13.4	39.9	29.6	3.7	2.7
小学校区別	松井ケ丘（N=167）	27.5	16.2	16.2	9.0	12.6	9.0	17.4	52.7	32.3	8.4	0.0
	大住（N=140）	44.3	22.9	17.9	16.4	12.1	8.6	17.1	46.4	35.0	5.7	0.7
	桃園（N=78）	34.6	29.5	19.2	9.0	10.3	9.0	19.2	50.0	30.8	2.6	1.3
	薪（N=96）	27.1	24.0	26.0	9.4	10.4	5.2	11.5	53.1	35.4	7.3	1.0
	田辺（N=149）	20.8	19.5	14.1	4.7	14.8	8.7	14.8	51.0	35.6	4.7	2.0
	田辺東（N=39）	38.5	30.8	10.3	7.7	17.9	7.7	5.1	35.9	38.5	7.7	2.6
	草内（N=90）	38.9	26.7	17.8	6.7	17.8	5.6	7.8	50.0	27.8	10.0	1.1
	三山木（N=131）	21.4	14.5	10.7	5.3	7.6	6.1	9.9	53.4	38.2	10.7	2.3
	普賢寺（N=21）	23.8	38.1	28.6	28.6	19.0	28.6	14.3	23.8	23.8	0.0	4.8

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

【問９で「生涯学習を行ったことがない」「わからない」以外に○をつけた方におうかがいします。】

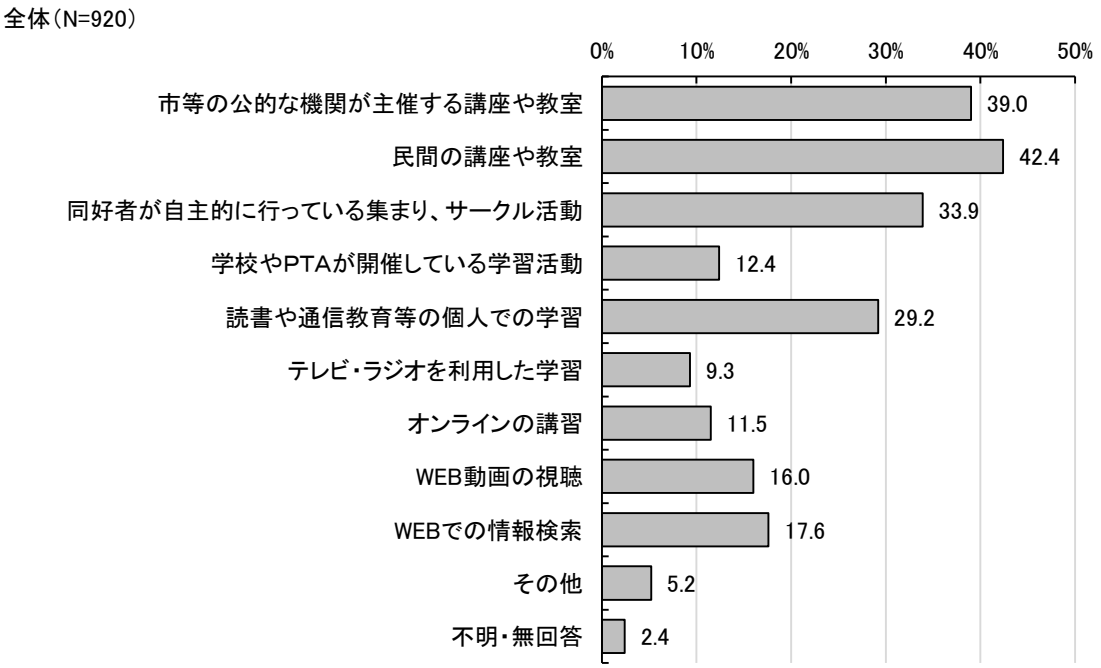
問 11　どのような形態で学習をしてきましたか。（○はいくつでも）

どのような形態で学習をしてきたかについてみると、全体では「民間の講座や教室」が 42.4％と最も高く、次いで「市等の公的な機関が主催する講座や教室」が 39.0％となっています。

性別にみると、男性では「読書や通信教育等の個人での学習」、女性では「市等の公的な機関が主催する講座や教室」が高くなっています。

年齢別にみると、18～39 歳では「読書や通信教育等の個人での学習」、40～64 歳では「民間の講座や教室」、65 歳以上では「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」がそれぞれ高くなっています。

小学校区別にみると、大住、桃園では「市等の公的な機関が主催する講座や教室」、普賢寺では「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」、その他の小学校区では「民間の講座や教室」がそれぞれ高くなっています。



【性別・年齢別・小学校区別】

単位：%

		市等の公的な機関が主催する講座や教室	民間の講座や教室	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	学校やPTAが開催している学習活動	読書や通信教育等の個人での学習	テレビ・ラジオを利用した学習	オンラインの講習	WEB動画の視聴	WEBでの情報検索	その他	不明・無回答
全体（N=920）		39.0	42.4	33.9	12.4	29.2	9.3	11.5	16.0	17.6	5.2	2.4
性別	男性（N=370）	24.6	35.7	32.4	6.8	36.5	12.4	15.1	21.4	26.5	5.9	2.7
	女性（N=548）	48.7	47.1	34.9	16.2	24.3	7.3	9.1	12.0	11.7	4.7	2.2
年齢別	18～39歳（N=206）	22.3	36.4	20.9	19.4	39.8	11.2	19.9	26.2	35.4	4.4	0.5
	40～64歳（N=384）	39.8	50.0	25.0	12.5	32.8	5.5	13.3	18.2	16.1	5.2	1.6
	65歳以上（N=328）	48.5	37.2	52.4	7.6	18.6	12.8	4.3	7.0	8.2	5.5	4.6
小学校区別	松井ケ丘（N=167）	37.7	43.7	33.5	12.0	30.5	7.8	10.2	12.0	19.8	6.6	0.0
	大住（N=140）	47.1	45.7	41.4	13.6	30.0	9.3	10.0	12.1	16.4	4.3	1.4
	桃園（N=78）	44.9	42.3	41.0	12.8	21.8	9.0	12.8	10.3	9.0	1.3	2.6
	薪（N=96）	38.5	41.7	30.2	11.5	33.3	16.7	13.5	20.8	19.8	7.3	2.1
	田辺（N=149）	32.9	41.6	29.5	10.1	29.5	9.4	11.4	20.8	20.8	5.4	2.7
	田辺東（N=39）	35.9	41.0	28.2	12.8	25.6	2.6	7.7	5.1	7.7	12.8	7.7
	草内（N=90）	38.9	42.2	31.1	13.3	22.2	6.7	11.1	14.4	14.4	3.3	1.1
	三山木（N=131）	35.9	41.2	31.3	12.2	36.6	11.5	14.5	24.4	20.6	3.8	3.8
	普賢寺（N=21）	47.6	28.6	52.4	23.8	19.0	4.8	4.8	9.5	19.0	0.0	9.5

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

【問９で「生涯学習を行ったことがない」「わからない」以外に○をつけた方におうかがいします。】

問 12　生涯学習を行った理由は何ですか。（○はいくつでも）

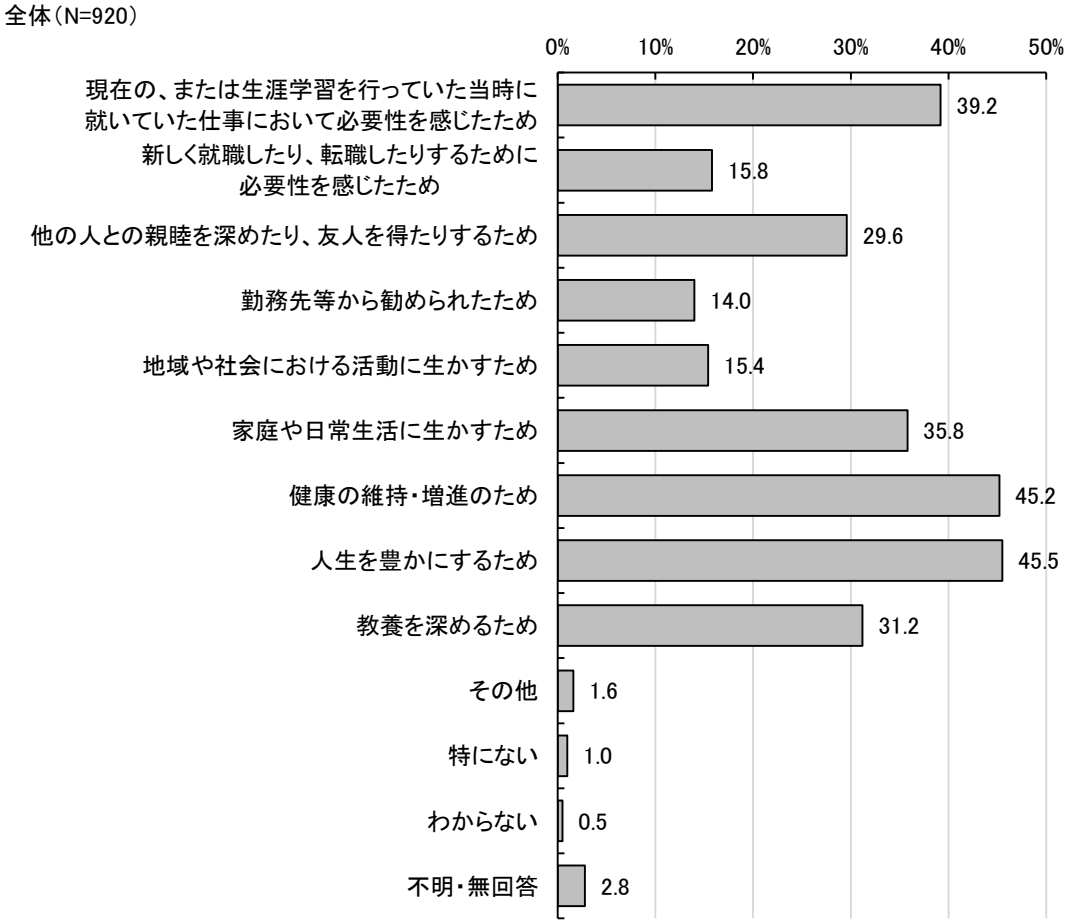
生涯学習を行った理由についてみると、全体では「人生を豊かにするため」が 45.5%と最も高く、次いで「健康の維持・増進のため」が 45.2%となっています。

性別にみると、男性では「現在の、または生涯学習を行っていた当時に就いていた仕事において必要性を感じたため」、女性では「人生を豊かにするため」が高くなっています。

年齢別にみると、18～39 歳では「現在の、または生涯学習を行っていた当時に就いていた仕事において必要性を感じたため」「人生を豊かにするため」、40～64 歳では「現在の、または生涯学習を行っていた当時に就いていた仕事において必要性を感じたため」、65 歳以上では「健康の維持・増進のため」がそれぞれ高くなっています。

小学校区別にみると、桃園、薪、草内、三山木では「人生を豊かにするため」、田辺では「現在の、または生涯学習を行っていた当時に就いていた仕事において必要性を感じたため」「健康の維持・増進のため」、その他の小学校区では「健康の維持・増進のため」がそれぞれ高くなっています。

国の世論調査との比較をみると、京田辺市では「人生を豊かにするため」、国では「教養を深めるため」が高くなっています。



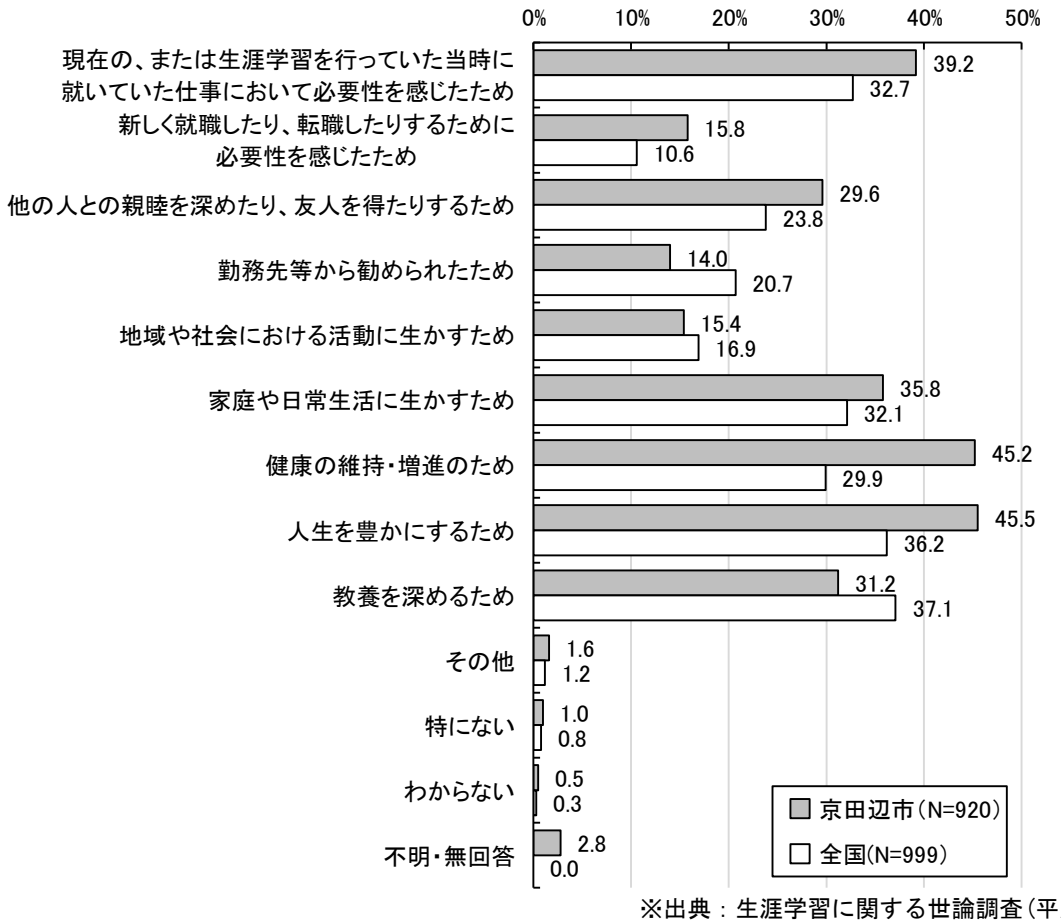
【性別・年齢別・小学校区別】

単位：%

		現在の、または生涯学習を行っていた当時に就いていた仕事において必要性を感じたため	新しく就職したり、転職したりするために必要性を感じたため	他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため	勤務先等から勧められたため	地域や社会における活動に生かすため	家庭や日常生活に生かすため	健康の維持・増進のため	人生を豊かにするため	教養を深めるため	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体(N=920)		39.2	15.8	29.6	14.0	15.4	35.8	45.2	45.5	31.2	1.6	1.0	0.5	2.8
性別	男性(N=370)	47.8	13.2	26.8	19.5	15.9	27.3	45.4	41.1	33.8	1.1	1.9	0.5	3.5
	女性(N=548)	33.6	17.3	31.6	10.4	15.0	41.4	45.1	48.5	29.4	2.0	0.4	0.5	2.4
年齢別	18～39歳(N=206)	44.2	21.8	20.9	19.9	8.7	39.8	29.6	44.2	35.0	1.0	1.5	1.0	1.9
	40～64歳(N=384)	47.7	20.8	21.6	15.6	11.7	34.4	43.2	39.6	29.7	1.3	0.3	0.3	2.1
	65歳以上(N=328)	26.5	6.1	44.2	8.5	23.8	34.8	57.3	53.7	30.5	2.1	1.5	0.6	4.3
小学校区別	松井ケ丘(N=167)	39.5	13.8	34.7	13.2	15.0	35.9	50.3	49.7	31.7	1.2	0.6	0.6	0.6
	大住(N=140)	37.1	14.3	35.0	8.6	17.9	42.9	53.6	44.3	30.7	2.1	0.7	0.0	1.4
	桃園(N=78)	28.2	14.1	29.5	11.5	12.8	34.6	50.0	51.3	21.8	1.3	1.3	0.0	1.3
	薪(N=96)	41.7	17.7	34.4	16.7	12.5	38.5	40.6	44.8	34.4	1.0	0.0	1.0	3.1
	田辺(N=149)	40.9	20.1	20.1	12.1	14.8	34.9	40.9	40.3	25.5	3.4	1.3	0.0	3.4
	田辺東(N=39)	41.0	15.4	33.3	17.9	23.1	20.5	48.7	35.9	30.8	0.0	2.6	2.6	5.1
	草内(N=90)	35.6	14.4	27.8	21.1	15.6	23.3	38.9	48.9	36.7	0.0	1.1	1.1	2.2
	三山木(N=131)	45.8	17.6	22.9	18.3	13.0	39.7	39.7	47.3	38.9	1.5	1.5	0.8	3.8
	普賢寺(N=21)	38.1	0.0	42.9	9.5	33.3	33.3	47.6	33.3	19.0	0.0	0.0	0.0	19.0

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

【京田辺市・国比較】



※出典：生涯学習に関する世論調査(平成 30 年度)

単位：%

	現在の、または生涯学習を行っていた当時に就いていた仕事において必要性を感じたため	新しく就職したり、転職したりするために必要性を感じたため	他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため	勤務先等から勧められたため	地域や社会における活動に生かすため	家庭や日常生活に生かすため	健康の維持・増進のため	人生を豊かにするため	教養を深めるため	その他	特にない	わからない	不明・無回答
京田辺市（N=920）	39.2	15.8	29.6	14.0	15.4	35.8	45.2	45.5	31.2	1.6	1.0	0.5	2.8
全国(N=999)	32.7	10.6	23.8	20.7	16.9	32.1	29.9	36.2	37.1	1.2	0.8	0.3	－

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

【問９で「生涯学習を行ったことがない」「わからない」以外に○をつけた方におうかがいします。】

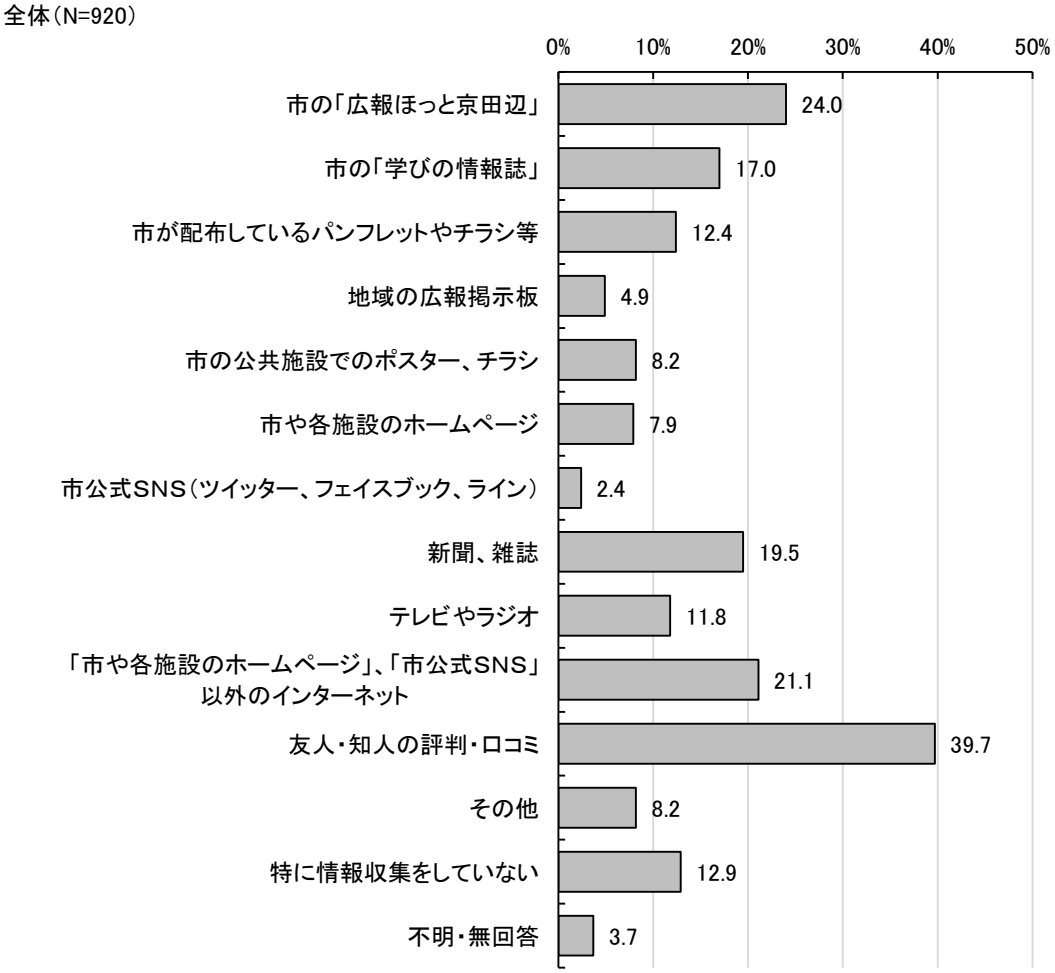
問 13　学習する際に、どこから情報収集をしてきましたか。（○はいくつでも）

どこから情報収集をしてきたかについてみると、全体では「友人・知人の評判・口コミ」が 39.7%と最も高く、次いで「市の『広報ほっと京田辺』」が 24.0%となっています。

性別にみると、「友人・知人の評判・口コミ」では女性が男性を 16.2 ポイント上回っています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「市の『広報ほっと京田辺』」が高くなっています。

小学校区別にみると、田辺では「『市や各施設のホームページ』、『市公式ＳＮＳ』以外のインターネット」「友人・知人の評判・口コミ」、田辺東では「市の『広報ほっと京田辺』」、その他の小学校区では「友人・知人の評判・口コミ」がそれぞれ高くなっています。



【性別・年齢別・小学校区別】

単位：%

		市の「広報ほっと京田辺」	市の「学びの情報誌」	市が配布しているパンフレットやチラシ等	地域の広報掲示板	市の公共施設でのポスター、チラシ	市や各施設のホームページ	市公式SNS（ツイッター、フェイスブック、ライン）
全体（N=920）		24.0	17.0	12.4	4.9	8.2	7.9	2.4
性別	男性（N=370）	17.3	9.5	8.9	4.1	6.2	8.4	2.4
	女性（N=548）	28.6	22.1	14.8	5.5	9.5	7.7	2.4
年齢別	18～39歳（N=206）	11.2	1.9	4.4	1.9	6.3	6.8	1.9
	40～64歳（N=384）	20.8	17.2	9.1	3.9	6.3	9.9	3.1
	65歳以上（N=328）	35.7	25.9	21.3	7.9	11.6	6.1	1.8
小学校区別	松井ケ丘（N=167）	25.1	21.6	12.6	4.2	7.2	10.8	1.8
	大住（N=140）	30.0	22.9	12.9	5.0	7.9	9.3	0.7
	桃園（N=78）	26.9	16.7	11.5	2.6	12.8	7.7	2.6
	薪（N=96）	25.0	11.5	13.5	7.3	10.4	9.4	4.2
	田辺（N=149）	17.4	16.8	10.1	4.0	10.1	6.0	3.4
	田辺東（N=39）	28.2	7.7	12.8	10.3	7.7	7.7	0.0
	草内（N=90）	24.4	14.4	13.3	6.7	8.9	5.6	5.6
	三山木（N=131）	19.8	11.5	13.0	4.6	4.6	6.1	1.5
	普賢寺（N=21）	28.6	28.6	19.0	0.0	0.0	4.8	0.0

		新聞、雑誌	テレビやラジオ	「市や各施設のホームページ」、「市公式SNS」以外のインターネット	友人・知人の評判・口コミ	その他	特に情報収集をしていない	不明・無回答
全体（N=920）		19.5	11.8	21.1	39.7	8.2	12.9	3.7
性別	男性（N=370）	23.0	17.0	26.2	30.0	9.5	16.5	4.3
	女性（N=548）	17.2	8.4	17.7	46.2	7.3	10.4	3.3
年齢別	18～39歳（N=206）	10.7	11.7	29.1	35.4	8.7	24.8	2.4
	40～64歳（N=384）	17.7	8.9	25.8	37.8	9.9	13.3	2.6
	65歳以上（N=328）	26.8	15.5	10.7	44.5	5.5	5.2	5.8
小学校区別	松井ケ丘（N=167）	19.2	12.0	21.6	37.7	13.8	12.6	1.8
	大住（N=140）	22.1	15.7	17.9	50.7	5.7	7.9	3.6
	桃園（N=78）	14.1	10.3	10.3	44.9	5.1	15.4	2.6
	薪（N=96）	28.1	13.5	15.6	40.6	6.3	13.5	3.1
	田辺（N=149）	19.5	12.8	29.5	29.5	6.0	14.1	4.0
	田辺東（N=39）	17.9	5.1	17.9	25.6	10.3	10.3	7.7
	草内（N=90）	13.3	6.7	18.9	40.0	10.0	15.6	3.3
	三山木（N=131）	19.1	12.2	28.2	38.9	6.9	15.3	3.8
	普賢寺（N=21）	19.0	14.3	9.5	57.1	0.0	14.3	14.3

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

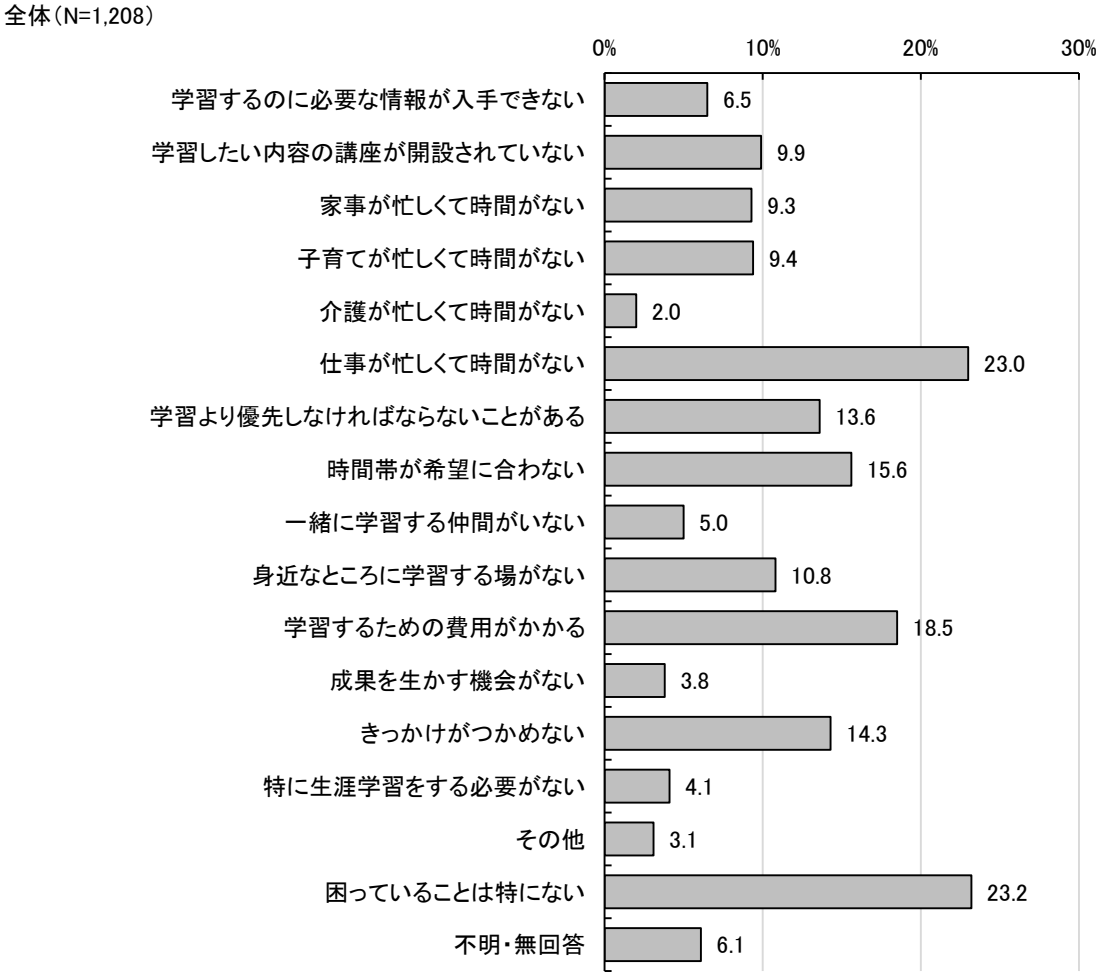
問 14　あなたが生涯学習を行う上で困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

生涯学習を行う上で困っていることについてみると、全体では「困っていることは特にない」が 23.2%と最も高く、次いで「仕事が忙しくて時間がない」が 23.0%となっています。

性別にみると、男性では「困っていることは特にない」、女性では「学習するための費用がかかる」が高くなっています。

年齢別にみると、65 歳以上では「仕事が忙しくて時間がない」が他の年齢と比べて低くなっています。

小学校区別にみると、薪、田辺、草内、普賢寺では「仕事が忙しくて時間がない」、三山木では「学習するための費用がかかる」、その他の小学校区では「困っていることは特にない」がそれぞれ高くなっています。



【性別・年齢別・小学校区別】

単位：%

		学習するのに必要な情報が入手できない	学習したい内容の講座が開設されていない	家事が忙しくて時間がない	子育てが忙しくて時間がない	介護が忙しくて時間がない	仕事が忙しくて時間がない	学習より優先しなければならないことがある	時間帯が希望に合わない	一緒に学習する仲間がいない
全体（N=1,208）		6.5	9.9	9.3	9.4	2.0	23.0	13.6	15.6	5.0
性別	男性（N=523）	8.8	9.0	3.1	5.0	1.0	26.8	12.2	8.6	6.5
	女性（N=674）	4.6	10.5	14.2	12.9	2.8	20.2	14.8	21.1	4.0
年齢別	18～39歳（N=253）	9.5	9.5	16.6	23.7	0.4	32.4	15.0	19.8	7.1
	40～64歳（N=504）	6.3	9.1	11.3	10.5	3.0	34.1	17.3	19.6	3.8
	65歳以上（N=444）	5.0	10.8	2.9	0.0	1.8	5.2	8.8	8.6	5.4
小学校区別	松井ケ丘（N=196）	5.6	9.2	7.1	9.2	2.0	22.4	13.8	16.3	3.1
	大住（N=185）	8.6	11.9	7.6	4.9	3.8	20.0	17.3	17.3	6.5
	桃園（N=94）	4.3	12.8	10.6	9.6	1.1	22.3	19.1	14.9	6.4
	薪（N=134）	6.7	5.2	8.2	11.2	1.5	24.6	11.9	16.4	7.5
	田辺（N=202）	5.9	9.9	10.4	10.4	1.5	26.2	12.4	15.3	6.4
	田辺東（N=50）	8.0	8.0	6.0	4.0	0.0	24.0	4.0	10.0	6.0
	草内（N=123）	6.5	10.6	12.2	8.1	2.4	21.1	8.9	15.4	5.7
	三山木（N=175）	8.0	11.4	12.0	14.9	1.7	22.3	14.9	15.4	2.3
	普賢寺（N=31）	0.0	3.2	6.5	6.5	3.2	29.0	19.4	12.9	0.0

		身近なところに学習する場がない	学習するための費用がかかる	成果を生かす機会がない	きっかけがつかめない	特に生涯学習をする必要がない	その他	困っていることは特にない	不明・無回答
全体（N=1,208）		10.8	18.5	3.8	14.3	4.1	3.1	23.2	6.1
性別	男性（N=523）	9.0	13.2	4.8	16.3	6.3	2.7	27.3	4.4
	女性（N=674）	12.5	22.7	3.1	12.9	2.5	3.4	20.0	7.0
年齢別	18～39歳（N=253）	13.8	25.3	5.1	15.4	1.6	2.4	16.2	2.8
	40～64歳（N=504）	10.7	21.6	3.0	15.3	2.4	2.0	22.4	2.6
	65歳以上（N=444）	9.2	11.0	4.1	12.6	7.7	4.5	27.9	11.9
小学校区別	松井ケ丘（N=196）	11.2	16.3	3.6	12.8	2.0	3.6	27.6	3.6
	大住（N=185）	10.8	16.8	2.7	15.7	3.8	2.2	22.2	4.9
	桃園（N=94）	9.6	13.8	4.3	8.5	5.3	3.2	26.6	5.3
	薪（N=134）	5.2	22.4	5.2	23.1	4.5	0.0	19.4	9.0
	田辺（N=202）	11.9	18.8	4.0	13.9	5.4	3.0	22.3	4.0
	田辺東（N=50）	10.0	16.0	4.0	16.0	4.0	4.0	32.0	8.0
	草内（N=123）	13.0	19.5	5.7	13.8	5.7	2.4	21.1	9.8
	三山木（N=175）	12.0	23.4	2.9	12.6	2.9	4.6	20.6	5.1
	普賢寺（N=31）	12.9	9.7	3.2	12.9	3.2	3.2	19.4	16.1

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

問 15　これから学習するとすれば、どのようなことを学習したいですか。（○はいくつでも）

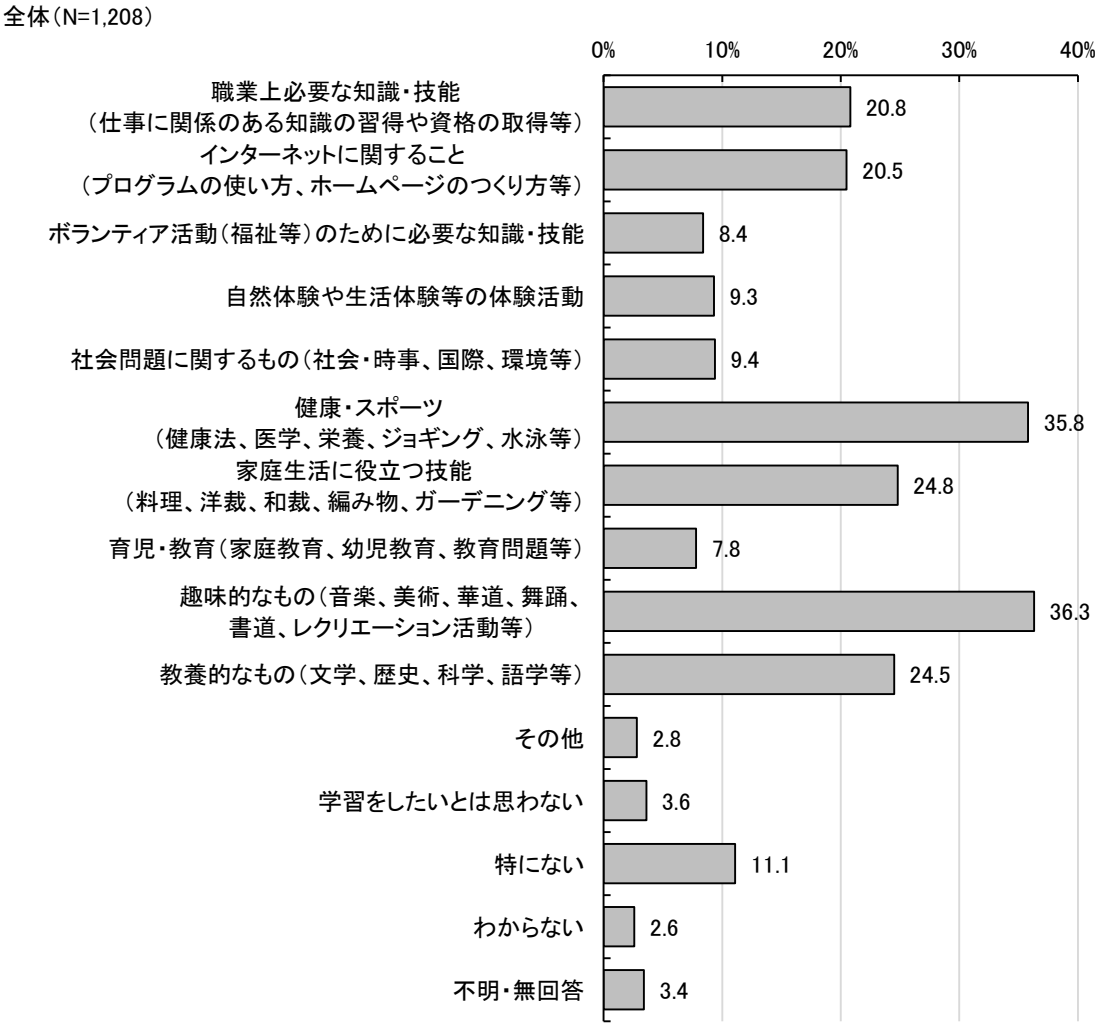
これから学習するとすれば、どのようなことを学習したいかについてみると、全体では「趣味的なもの」が 36.3%と最も高く、次いで「健康・スポーツ」が 35.8%となっています。

性別にみると、男性では「健康・スポーツ」、女性では「趣味的なもの」が高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「職業上必要な知識・技能」が低くなっています。

小学校区別にみると、松井ケ丘、薪、田辺東では「健康・スポーツ」、その他の小学校区では「趣味的なもの」がそれぞれ高くなっています。

国の世論調査との比較をみると、京田辺市、国ともに「趣味的なもの」が高くなっています。



【性別・年齢別・小学校区別】

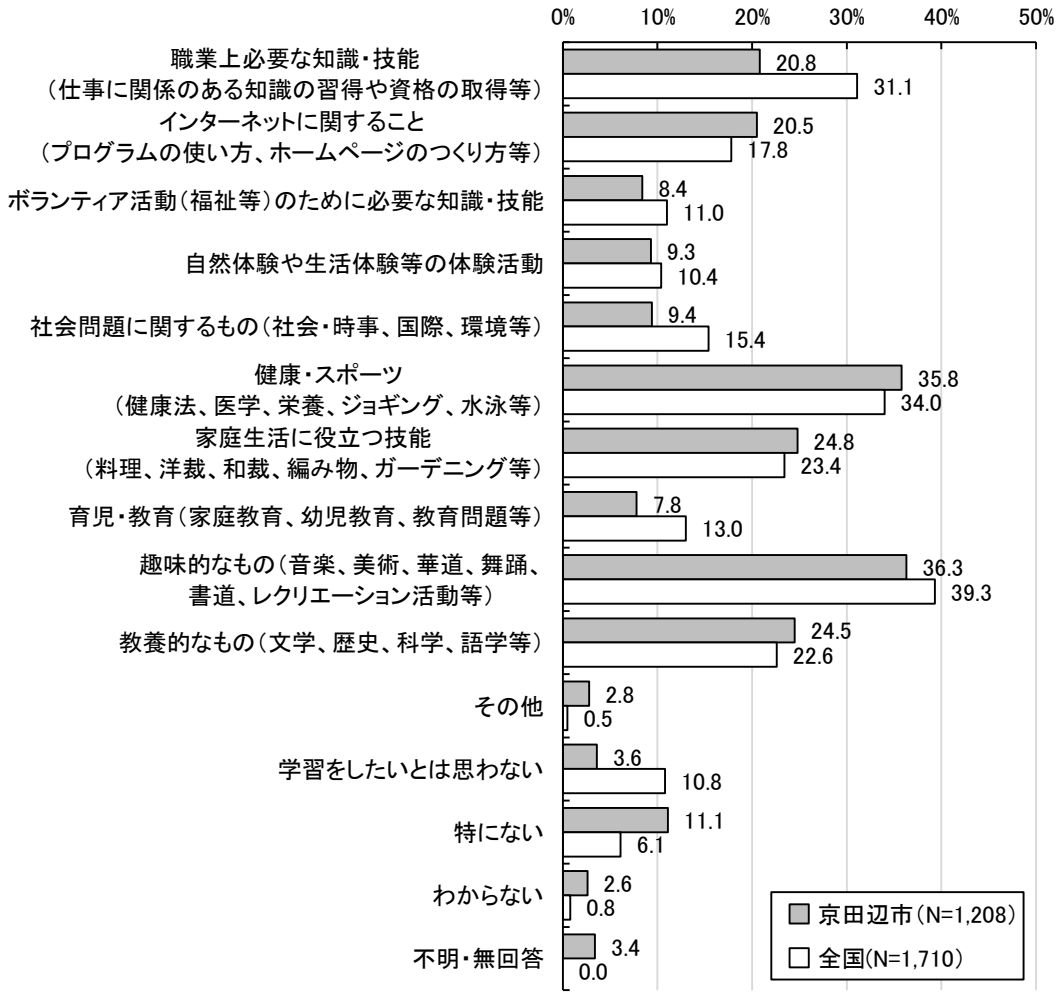
単位：%

		職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得等）	インターネットに関すること（プログラムの使い方、ホームページのつくり方等）	ボランティア活動（福祉等）のために必要な知識・技能	自然体験や生活体験等の体験活動	社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境等）	健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳等）	家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物、ガーデニング等）	育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題等）
全体（N=1,208）		20.8	20.5	8.4	9.3	9.4	35.8	24.8	7.8
性別	男性（N=523）	22.0	22.6	9.2	10.3	12.6	32.7	14.7	5.4
	女性（N=674）	20.0	18.8	7.9	8.6	6.8	38.3	32.8	9.8
年齢別	18～39歳（N=253）	38.7	34.4	7.9	13.0	13.8	30.8	28.5	20.9
	40～64歳（N=504）	27.6	19.8	10.9	9.7	7.5	40.9	26.6	7.3
	65歳以上（N=444）	2.9	13.3	5.9	6.8	8.8	33.1	20.7	0.9
小学校区別	松井ケ丘（N=196）	18.4	17.9	8.7	8.7	10.2	46.9	31.1	7.7
	大住（N=185）	15.1	19.5	13.0	12.4	9.2	39.5	26.5	4.9
	桃園（N=94）	20.2	17.0	8.5	11.7	10.6	33.0	24.5	4.3
	薪（N=134）	20.9	23.1	7.5	8.2	9.0	35.1	22.4	8.2
	田辺（N=202）	25.2	21.3	6.9	5.9	9.4	27.2	20.8	10.4
	田辺東（N=50）	12.0	14.0	18.0	4.0	12.0	34.0	14.0	2.0
	草内（N=123）	20.3	23.6	3.3	9.8	4.9	40.7	22.8	5.7
	三山木（N=175）	29.1	24.6	7.4	10.9	10.9	30.3	29.1	13.1
	普賢寺（N=31）	12.9	16.1	6.5	6.5	6.5	22.6	16.1	9.7

		趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動等）	教養的なもの（文学、歴史、科学、語学等）	その他	学習をしたいとは思わない	特にない	わからない	不明・無回答
全体（N=1,208）		36.3	24.5	2.8	3.6	11.1	2.6	3.4
性別	男性（N=523）	31.7	28.3	2.9	4.4	13.6	2.9	2.5
	女性（N=674）	39.8	21.5	2.8	3.0	9.2	2.2	3.9
年齢別	18～39歳（N=253）	36.4	27.3	3.6	2.0	5.1	3.6	2.0
	40～64歳（N=504）	40.1	25.2	3.0	3.4	6.2	2.4	1.4
	65歳以上（N=444）	32.0	22.1	2.3	4.7	20.0	2.0	6.3
小学校区別	松井ケ丘（N=196）	41.8	24.0	1.5	5.6	7.7	2.6	2.0
	大住（N=185）	44.9	29.7	0.5	2.7	9.2	3.2	2.7
	桃園（N=94）	35.1	22.3	4.3	0.0	12.8	2.1	2.1
	薪（N=134）	30.6	26.9	3.7	3.0	9.7	3.0	4.5
	田辺（N=202）	31.2	22.3	3.5	2.0	15.3	4.0	3.5
	田辺東（N=50）	26.0	22.0	4.0	6.0	18.0	0.0	2.0
	草内（N=123）	42.3	26.0	4.1	3.3	8.1	0.0	4.9
	三山木（N=175）	31.4	24.0	3.4	5.7	10.3	2.3	3.4
	普賢寺（N=31）	32.3	6.5	0.0	3.2	22.6	3.2	6.5

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

【京田辺市・国比較】



※出典：生涯学習に関する世論調査（平成 30 年度）

単位：%

	職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得等）	インターネットに関すること（プログラムの使い方、ホームページのつくり方等）	ボランティア活動（福祉等）のために必要な知識・技能	自然体験や生活体験等の体験活動	社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境等）	健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳等）	家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物、ガーデニング等）	育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題等）
京田辺市（N=1,208）	20.8	20.5	8.4	9.3	9.4	35.8	24.8	7.8
全国(N=1,710）	31.1	17.8	11.0	10.4	15.4	34.0	23.4	13.0

	趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動等）	教養的なもの（文学、歴史、科学、語学等）	その他	学習をしたいとは思わない	特にない	わからない	不明・無回答
京田辺市（N=1,208）	36.3	24.5	2.8	3.6	11.1	2.6	3.4
全国(N=1,710）	39.3	22.6	0.5	10.8	6.1	0.8	－

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

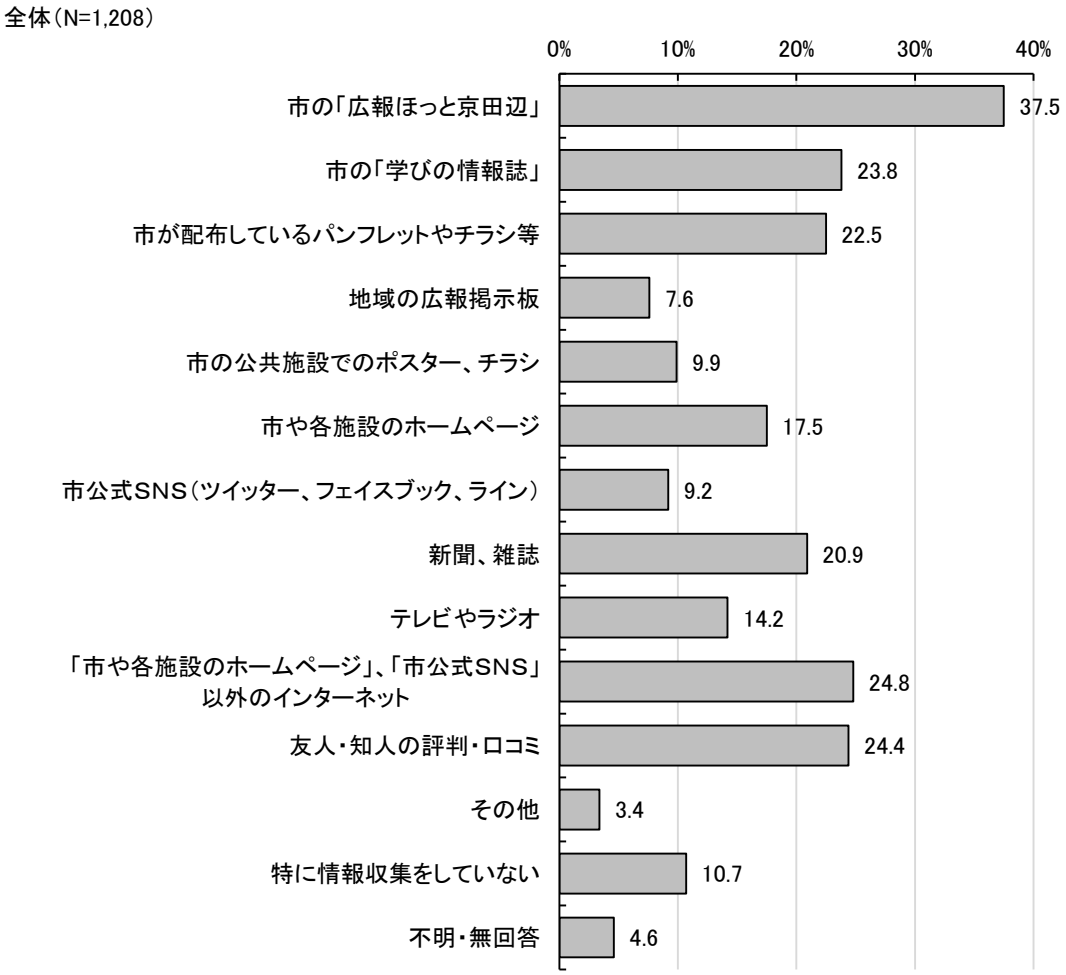
問 16　これから学習するとすれば、どこから情報収集を行いますか。（○はいくつでも）

これから学習するとすれば、どこから情報収集を行うかについてみると、全体では「市の『広報ほっと京田辺』」が 37.5％と最も高く、次いで「『市や各施設のホームページ』、『市公式ＳＮＳ』以外のインターネット」が 24.8％となっています。

性別にみると、「友人・知人の評判・口コミ」では女性が男性を 11.8 ポイント上回っています。

年齢別にみると、18～39 歳では「市の『広報ほっと京田辺』」が他の年齢と比べて低くなっています。

小学校区別にみると、普賢寺では「市の『広報ほっと京田辺』」が他の小学校区と比べて高くなっています。



【性別・年齢別・小学校区別】

単位：%

		市の「広報ほっと京田辺」	市の「学びの情報誌」	市が配布しているパンフレットやチラシ等	地域の広報掲示板	市の公共施設でのポスター、チラシ	市や各施設のホームページ	市公式SNS（ツイッター、フェイスブック、ライン）
全体（N=1,208）		37.5	23.8	22.5	7.6	9.9	17.5	9.2
性別	男性（N=523）	31.4	18.0	16.6	6.7	8.8	20.5	8.0
	女性（N=674）	42.4	28.0	27.2	8.3	10.5	15.3	10.1
年齢別	18～39歳（N=253）	26.1	9.1	17.4	7.5	7.5	18.6	15.8
	40～64歳（N=504）	36.1	24.2	19.6	6.7	8.3	21.6	10.1
	65歳以上（N=444）	45.3	31.1	28.6	8.3	12.6	12.2	4.3
小学校区別	松井ケ丘（N=196）	37.8	25.5	23.0	7.7	8.2	20.4	8.7
	大住（N=185）	37.8	27.6	24.9	7.0	11.9	23.8	8.1
	桃園（N=94）	38.3	28.7	24.5	7.4	11.7	12.8	6.4
	薪（N=134）	34.3	16.4	21.6	7.5	9.0	23.1	9.7
	田辺（N=202）	32.7	23.3	19.8	6.4	7.4	13.4	13.4
	田辺東（N=50）	46.0	28.0	24.0	8.0	12.0	12.0	8.0
	草内（N=123）	41.5	26.0	29.3	8.1	17.9	17.9	8.9
	三山木（N=175）	38.3	17.7	18.9	9.7	7.4	13.1	8.6
	普賢寺（N=31）	51.6	29.0	22.6	3.2	3.2	6.5	3.2

		新聞、雑誌	テレビやラジオ	「市や各施設のホームページ」、「市公式SNS」以外のインターネット	友人・知人の評判・口コミ	その他	特に情報収集をしていない	不明・無回答
全体（N=1,208）		20.9	14.2	24.8	24.4	3.4	10.7	4.6
性別	男性（N=523）	23.7	17.2	28.7	18.0	4.0	14.1	3.4
	女性（N=674）	19.1	11.9	22.1	29.8	3.0	8.0	5.0
年齢別	18～39歳（N=253）	13.8	14.2	37.2	26.5	6.3	12.3	2.0
	40～64歳（N=504）	17.7	12.5	31.3	25.4	3.8	9.9	2.2
	65歳以上（N=444）	28.8	16.2	10.6	22.5	1.4	10.8	8.6
小学校区別	松井ケ丘（N=196）	21.9	13.8	27.0	25.0	4.1	9.2	3.6
	大住（N=185）	25.4	13.0	22.2	25.9	2.2	5.9	4.9
	桃園（N=94）	22.3	16.0	13.8	33.0	5.3	11.7	5.3
	薪（N=134）	24.6	19.4	26.1	26.9	3.7	9.7	6.0
	田辺（N=202）	19.8	14.4	25.2	17.8	3.0	13.4	3.0
	田辺東（N=50）	20.0	12.0	18.0	22.0	2.0	14.0	6.0
	草内（N=123）	15.4	8.9	24.4	23.6	3.3	14.6	4.1
	三山木（N=175）	16.0	14.3	32.0	26.9	4.0	12.0	4.0
	普賢寺（N=31）	32.3	25.8	19.4	22.6	0.0	3.2	9.7

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

３　家庭教育の状況について

※問 17～問 19 はこれまでに子育てを経験された方あるいは現在子育てをされている方のみご回答ください。

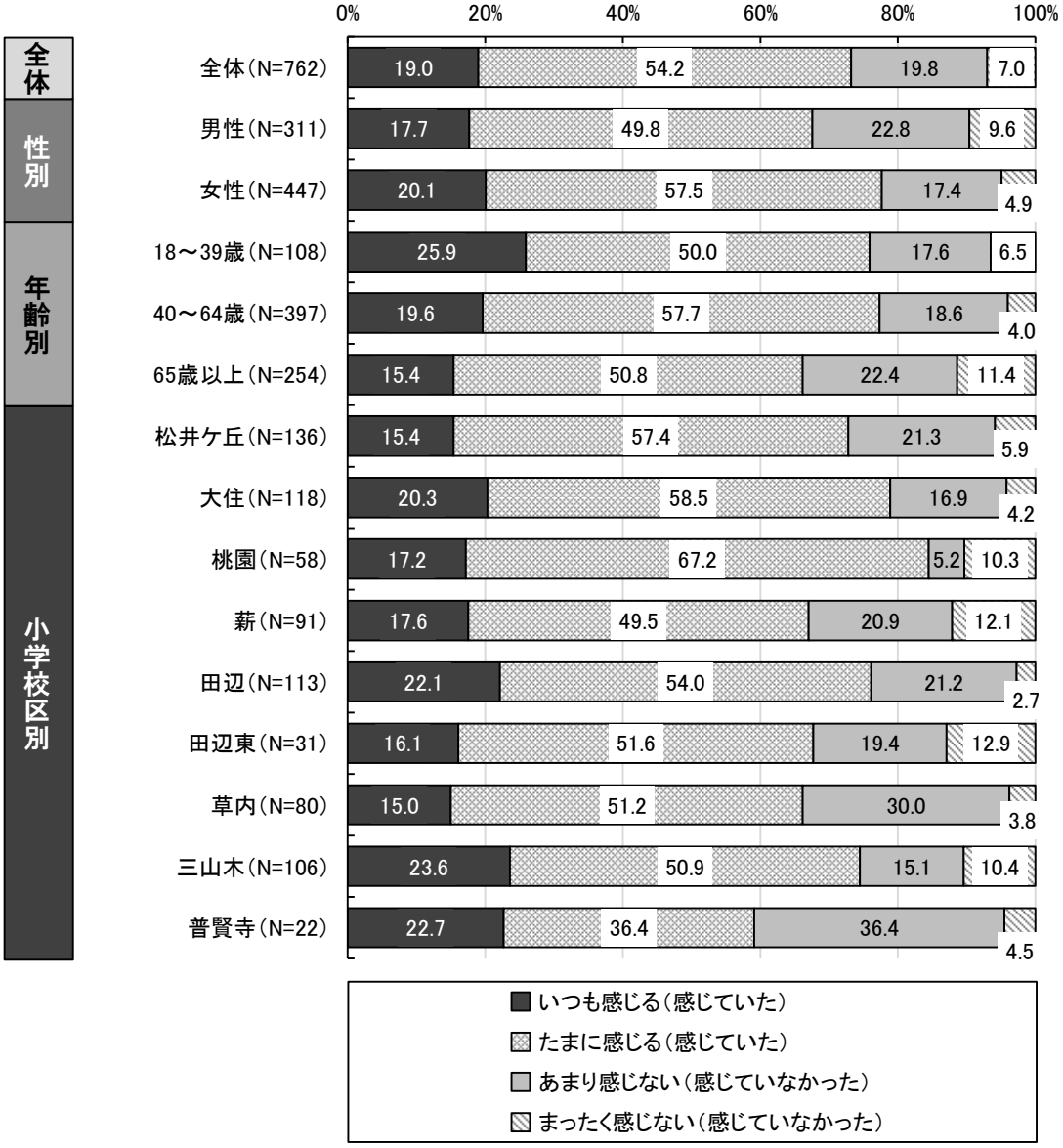
問 17　子育ての悩みや不安の程度についてお聞かせください。（ひとつだけ○）

子育ての悩みや不安の程度についてみると、全体では「たまに感じる（感じていた）」が 54.2%と最も高く、次いで「あまり感じない（感じていなかった）」が 19.8%となっています。

性別にみると、「たまに感じる（感じていた）」では女性が男性を 7.7 ポイント上回っています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「いつも感じる（感じていた）」が低くなっています。

小学校区別にみると、普賢寺では「あまり感じない（感じていなかった）」が他の小学校区と比べて高くなっています。



※限定条件に該当する方を抽出するため、「不明・無回答」を除いた集計となっています。

問 18　子育ての悩みや不安に感じることは何ですか。（〇はいくつでも）

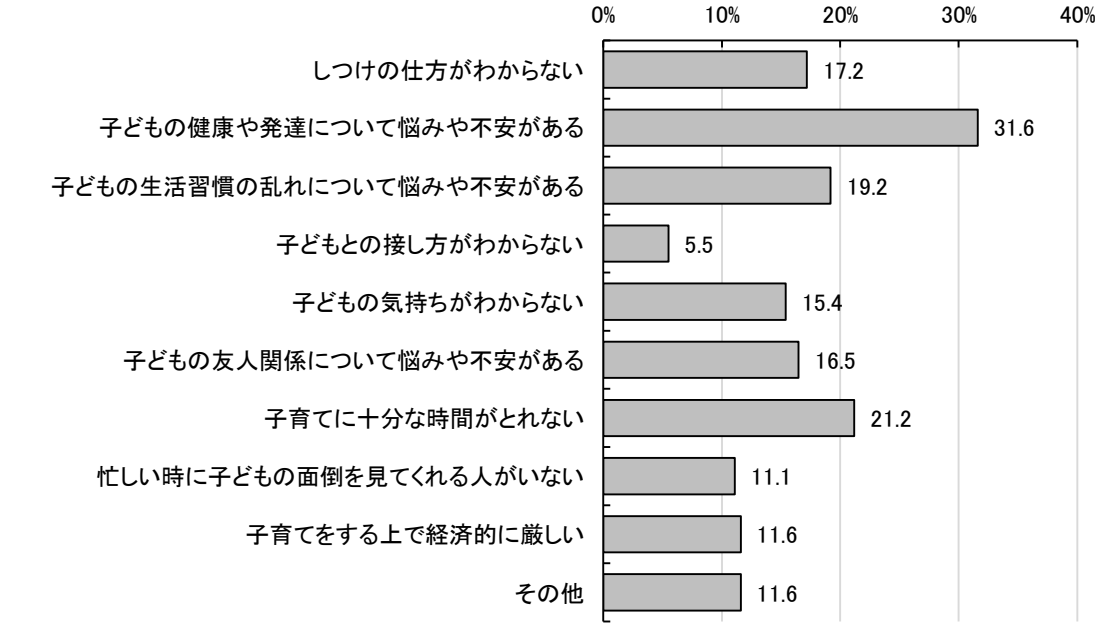
子育ての悩みや不安に感じることについてみると、全体では「子どもの健康や発達について悩みや不安がある」が 31.6%と最も高く、次いで「子育てに十分な時間がとれない」が 21.2%となっています。

性別にみると、「忙しい時に子どもの面倒を見てくれる人がいない」では女性が男性を 7.8 ポイント上回っています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「しつけの仕方がわからない」が低くなっています。

小学校区別にみると、薪では「しつけの仕方がわからない」「子どもの健康や発達について悩みや不安がある」「子どもの生活習慣の乱れについて悩みや不安がある」、田辺東では「子どもの健康や発達について悩みや不安がある」「子どもの気持ちがわからない」、普賢寺では「子どもの健康や発達について悩みや不安がある」「子育てに十分な時間がとれない」、その他の小学校区では「子どもの健康や発達について悩みや不安がある」がそれぞれ高くなっています。

全体（N=656）



※限定条件に該当する方を抽出するため、「不明・無回答」を除いた集計となっています。

【性別・年齢別・小学校区別】

単位:%

		しつけの仕方がわからない	子どもの健康や発達について悩みや不安がある	子どもの生活習慣の乱れについて悩みや不安がある	子どもとの接し方がわからない	子どもの気持ちがわからない	子どもの友人関係について悩みや不安がある	子育てに十分な時間がとれない	忙しい時に子どもの面倒を見てくれる人がいない	子育てをする上で経済的に厳しい	その他
全体(N=656)		17.2	31.6	19.2	5.5	15.4	16.5	21.2	11.1	11.6	11.6
性別	男性(N=272)	15.8	27.6	19.9	6.6	15.4	13.6	25.0	6.6	12.9	12.1
	女性(N=383)	18.3	34.5	18.8	4.7	15.4	18.3	18.5	14.4	10.7	11.2
年齢別	18～39歳(N=105)	40.0	34.3	15.2	5.7	14.3	12.4	26.7	15.2	14.3	8.6
	40～64歳(N=365)	15.1	32.1	24.7	5.2	14.2	19.2	17.3	10.4	14.0	12.6
	65歳以上(N=186)	8.6	29.0	10.8	5.9	18.3	13.4	25.8	10.2	5.4	11.3
小学校区別	松井ケ丘(N=115)	16.5	40.9	23.5	7.8	16.5	18.3	21.7	10.4	10.4	7.8
	大住(N=101)	9.9	37.6	18.8	3.0	11.9	18.8	25.7	11.9	10.9	9.9
	桃園(N=51)	15.7	31.4	25.5	11.8	19.6	17.6	11.8	15.7	7.8	17.6
	薪(N=77)	22.1	22.1	22.1	1.3	14.3	20.8	18.2	5.2	14.3	9.1
	田辺(N=99)	19.2	29.3	19.2	8.1	11.1	12.1	22.2	20.2	12.1	11.1
	田辺東(N=27)	7.4	29.6	3.7	11.1	29.6	7.4	25.9	14.8	11.1	11.1
	草内(N=67)	22.4	23.9	20.9	3.0	22.4	14.9	20.9	9.0	9.0	9.0
	三山木(N=95)	21.1	31.6	15.8	4.2	11.6	17.9	18.9	6.3	14.7	16.8
	普賢寺(N=20)	15.0	25.0	5.0	0.0	20.0	10.0	25.0	5.0	5.0	20.0

※限定条件に該当する方を抽出するため、「不明・無回答」を除いた集計となっています。

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

問 19　家庭教育を充実させるために、必要なことは何ですか。（ひとつだけ○）

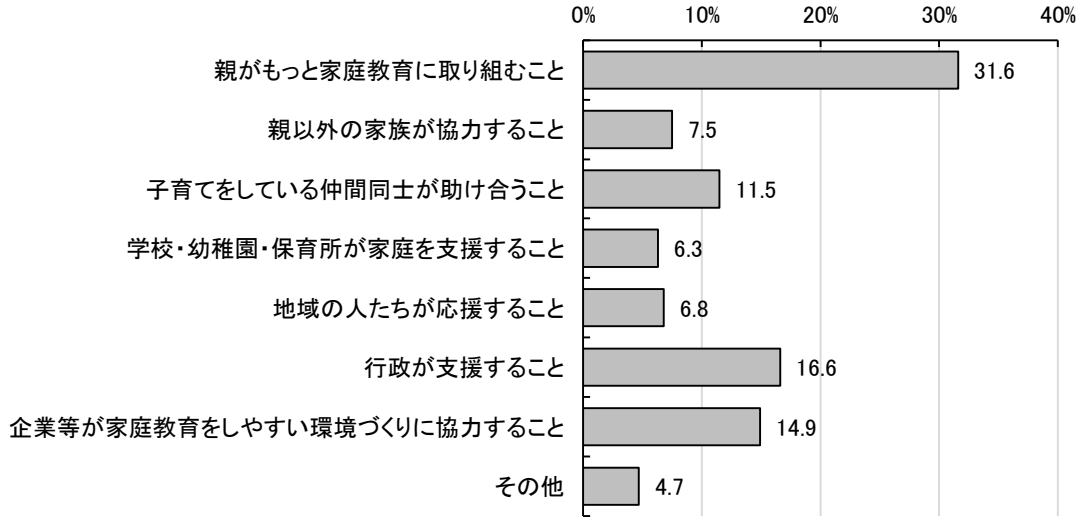
家庭教育を充実させるために必要なことについてみると、全体では「親がもっと家庭教育に取り組むこと」が 31.6%と最も高く、次いで「行政が支援すること」が 16.6%となっています。

性別にみると、「親がもっと家庭教育に取り組むこと」では男性が女性を 12.8 ポイント上回っています。

年齢別にみると、18～39 歳では「行政が支援すること」、65 歳以上では「地域の人たちが応援すること」がそれぞれ他の年齢と比べて高くなっています。

小学校区別にみると、普賢寺では「親以外の家族が協力すること」、田辺東では「行政が支援すること」がそれぞれ他の小学校区と比べて高くなっています。

全体（N=730）



※限定条件に該当する方を抽出するため、「不明・無回答」を除いた集計となっています。

【性別・年齢別・小学校区別】

単位：%

		親がもっと家庭教育に取り組むこと	親以外の家族が協力すること	子育てをしている仲間同士が助け合うこと	学校・幼稚園・保育所が家庭を支援すること	地域の人たちが応援すること	行政が支援すること	企業等が家庭教育をしやすい環境づくりに協力すること	その他
全体（N=730）		31.6	7.5	11.5	6.3	6.8	16.6	14.9	4.7
性別	男性（N=301）	39.2	6.0	5.3	6.3	7.6	16.6	14.3	4.7
	女性（N=425）	26.4	8.7	15.5	6.4	6.4	16.5	15.5	4.7
年齢別	18～39歳（N=107）	31.8	7.5	10.3	5.6	1.9	21.5	16.8	4.7
	40～64歳（N=384）	31.0	5.5	11.5	6.3	5.2	17.7	17.7	5.2
	65歳以上（N=236）	32.6	11.0	11.9	6.8	11.9	12.3	9.7	3.8
小学校区別	松井ケ丘（N=128）	33.6	5.5	13.3	7.0	2.3	13.3	16.4	8.6
	大住（N=116）	31.0	6.0	10.3	9.5	8.6	14.7	17.2	2.6
	桃園（N=57）	35.1	1.8	5.3	5.3	19.3	19.3	10.5	3.5
	薪（N=86）	33.7	9.3	18.6	3.5	7.0	12.8	11.6	3.5
	田辺（N=104）	29.8	9.6	8.7	4.8	5.8	19.2	16.3	5.8
	田辺東（N=30）	30.0	6.7	10.0	10.0	3.3	26.7	13.3	0.0
	草内（N=79）	34.2	7.6	11.4	6.3	7.6	20.3	8.9	3.8
	三山木（N=102）	25.5	8.8	12.7	6.9	3.9	17.6	19.6	4.9
	普賢寺（N=21）	33.3	23.8	4.8	0.0	14.3	4.8	19.0	0.0

※限定条件に該当する方を抽出するため、「不明・無回答」を除いた集計となっています。
※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

４　学びの「成果」の生かし方について

問 20　あなたは学習活動を通じて身に付けた知識や技能について、地域や他の人のために生かしてきたと思いますか。（ひとつだけ○）

学習活動を通じて身に付けた知識や技能について、地域や他の人のために生かしてきたと思うかについてみると、全体では『生かしてきていない』（「どちらかといえば生かしてきていない」と「生かしてきていない」を合わせたもの）が 39.8%と最も高く、次いで『生かしてきた』（「生かしてきた」と「どちらかといえば生かしてきた」を合わせたもの）が 34.9%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、18～39 歳では「どちらかといえば生かしてきた」、40～64 歳では「生かしてきていない」、65 歳以上では「わからない」がそれぞれ高くなっています。

小学校区別にみると、松井ケ丘、田辺、三山木では「生かしてきていない」、その他の小学校区では「どちらかといえば生かしてきた」がそれぞれ高くなっています。

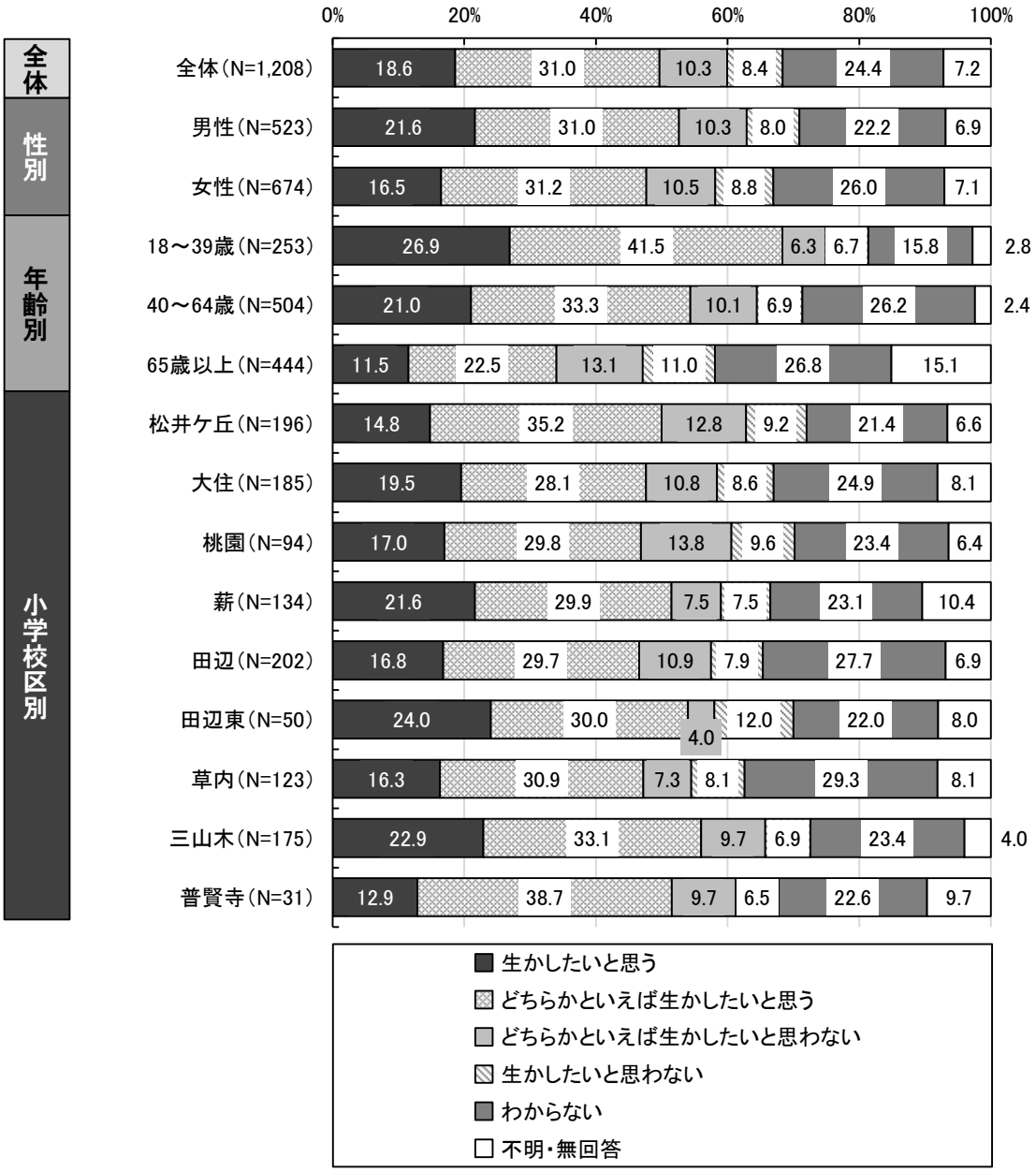
問 21　あなたは学習活動を通じて身に付けた知識や技能について、今後、地域や他の人のために生かしたいと思いますか。（ひとつだけ○）

学習活動を通じて身に付けた知識や技能について、今後、地域や他の人のために生かしたいと思うかについてみると、全体では『生かしたい』（「生かしたいと思う」と「どちらかといえば生かしたいと思う」を合わせたもの）が 49.6%と最も高く、次いで「わからない」が 24.4%となっています。

性別にみると、「生かしたいと思う」では男性が女性を 5.1 ポイント上回っています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『生かしたい』が低くなっています。

小学校区別にみると、大きな差はみられません。



【問 21 で「生かしたいと思う」「どちらかといえば生かしたいと思う」に○をつけた方におうかがいします。】

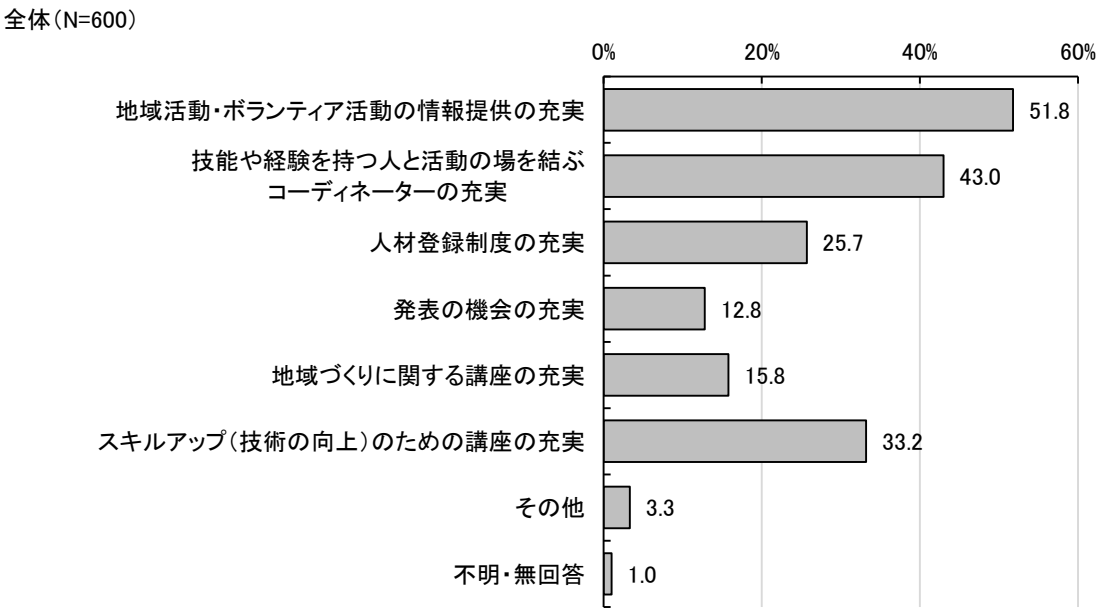
問 22　学習活動を通じて身に付けた知識や技能を地域や他の人のために生かすには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

学習活動を通じて身に付けた知識や技能を地域や他の人のために生かすには、どのようなことが必要だと思うかについてみると、全体では「地域活動・ボランティア活動の情報提供の充実」が51.8%と最も高く、次いで「技能や経験を持つ人と活動の場を結ぶコーディネーターの充実」が43.0%となっています。

性別にみると、「技能や経験を持つ人と活動の場を結ぶコーディネーターの充実」では男性が女性を 5.9 ポイント上回っています。

年齢別にみると、18～39 歳では「スキルアップ（技術の向上）のための講座の充実」が他の年齢と比べて高くなっています。

小学校区別にみると、桃園では「技能や経験を持つ人と活動の場を結ぶコーディネーターの充実」、その他の小学校区では「地域活動・ボランティア活動の情報提供の充実」がそれぞれ高くなっています。



【性別・年齢別・小学校区別】

単位:%

		地域活動・ボランティア活動の情報提供の充実	技能や経験を持つ人と活動の場を結ぶコーディネーターの充実	人材登録制度の充実	発表の機会の充実	地域づくりに関する講座の充実	スキルアップ(技術の向上)のための講座の充実	その他	不明・無回答
全体(N=600)		51.8	43.0	25.7	12.8	15.8	33.2	3.3	1.0
性別	男性(N=275)	53.5	45.8	25.8	13.8	16.4	33.1	3.3	0.0
	女性(N=321)	50.8	39.9	25.2	11.8	15.3	33.6	3.4	1.9
年齢別	18～39歳(N=173)	45.7	44.5	26.6	16.8	11.6	46.8	4.6	0.0
	40～64歳(N=274)	46.7	44.9	29.2	8.8	13.1	30.7	2.9	1.1
	65歳以上(N=151)	68.2	37.1	17.9	15.2	25.2	22.5	2.6	2.0
小学校区別	松井ケ丘(N=98)	53.1	39.8	19.4	8.2	17.3	34.7	5.1	1.0
	大住(N=88)	47.7	44.3	26.1	12.5	14.8	34.1	3.4	1.1
	桃園(N=44)	50.0	52.3	34.1	22.7	18.2	22.7	0.0	0.0
	薪(N=69)	44.9	37.7	30.4	11.6	14.5	37.7	2.9	0.0
	田辺(N=94)	54.3	46.8	23.4	18.1	13.8	31.9	4.3	0.0
	田辺東(N=27)	70.4	37.0	37.0	7.4	3.7	40.7	3.7	3.7
	草内(N=58)	55.2	50.0	15.5	12.1	13.8	34.5	0.0	1.7
	三山木(N=98)	49.0	39.8	28.6	12.2	15.3	31.6	4.1	2.0
	普賢寺(N=16)	68.8	43.8	25.0	6.3	50.0	18.8	0.0	0.0

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

【問 21 で「どちらかといえば生かしたいと思わない」「生かしたいと思わない」に○をつけた方におうかがいします。】

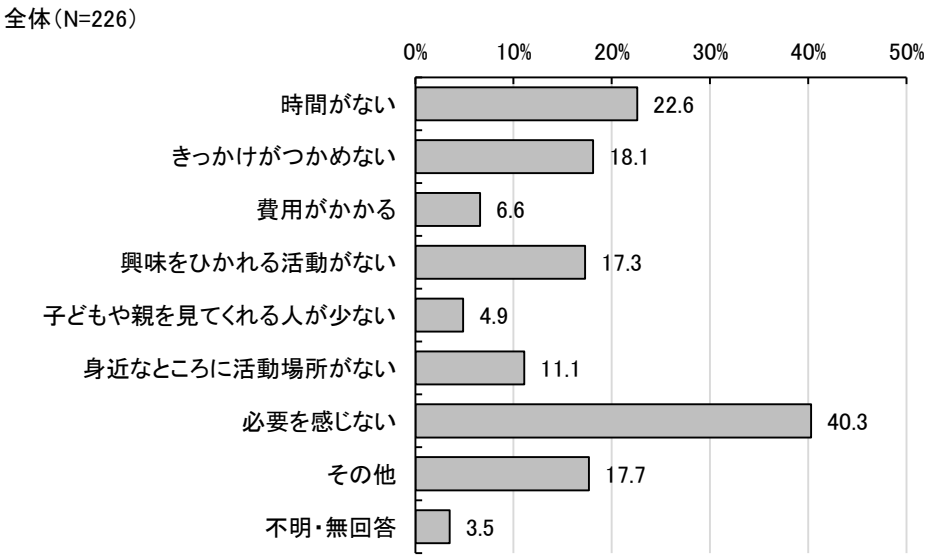
問 23　学習活動を通じて身に付けた知識や技能を地域や他の人のために生かしたいと思わない理由は何ですか。（○はいくつでも）

学習活動を通じて身に付けた知識や技能を地域や他の人のために生かしたいと思わない理由についてみると、全体では「必要を感じない」が 40.3%と最も高く、次いで「時間がない」が 22.6%となっています。

性別にみると、「興味をひかれる活動がない」では男性が女性を 9.8 ポイント上回っています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「時間がない」が低くなっています。

小学校区別にみると、田辺東では「時間がない」「必要を感じない」、三山木では「時間がない」「きっかけがつかめない」、普賢寺では「興味をひかれる活動がない」、その他の小学校区では「必要を感じない」がそれぞれ高くなっています。



【性別・年齢別・小学校区別】

単位：%

		時間がない	きっかけがつかめない	費用がかかる	興味をひかれる活動がない	子どもや親を見てくれる人が少ない	身近なところに活動場所がない	必要を感じない	その他	不明・無回答
全体(N=226)		22.6	18.1	6.6	17.3	4.9	11.1	40.3	17.7	3.5
性別	男性(N=96)	18.8	17.7	5.2	22.9	2.1	11.5	45.8	14.6	3.1
	女性(N=130)	25.4	18.5	7.7	13.1	6.9	10.8	36.2	20.0	3.8
年齢別	18～39歳(N=33)	42.4	27.3	18.2	24.2	15.2	9.1	51.5	3.0	3.0
	40～64歳(N=86)	32.6	16.3	7.0	18.6	7.0	11.6	44.2	9.3	2.3
	65歳以上(N=107)	8.4	16.8	2.8	14.0	0.0	11.2	33.6	29.0	4.7
小学校区別	松井ケ丘(N=43)	11.6	16.3	2.3	18.6	2.3	9.3	46.5	18.6	4.7
	大住(N=36)	27.8	8.3	2.8	13.9	2.8	8.3	38.9	19.4	2.8
	桃園(N=22)	22.7	22.7	9.1	9.1	4.5	9.1	36.4	18.2	0.0
	薪(N=20)	25.0	30.0	10.0	30.0	5.0	15.0	50.0	10.0	0.0
	田辺(N=38)	23.7	10.5	10.5	21.1	5.3	7.9	39.5	18.4	2.6
	田辺東(N=8)	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	62.5	25.0
	草内(N=19)	15.8	15.8	10.5	15.8	10.5	15.8	52.6	5.3	5.3
	三山木(N=29)	34.5	34.5	6.9	13.8	6.9	10.3	31.0	17.2	3.4
	普賢寺(N=5)	20.0	20.0	20.0	60.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

５　地域や社会での活動について

問 24　あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。（○はいくつでも）

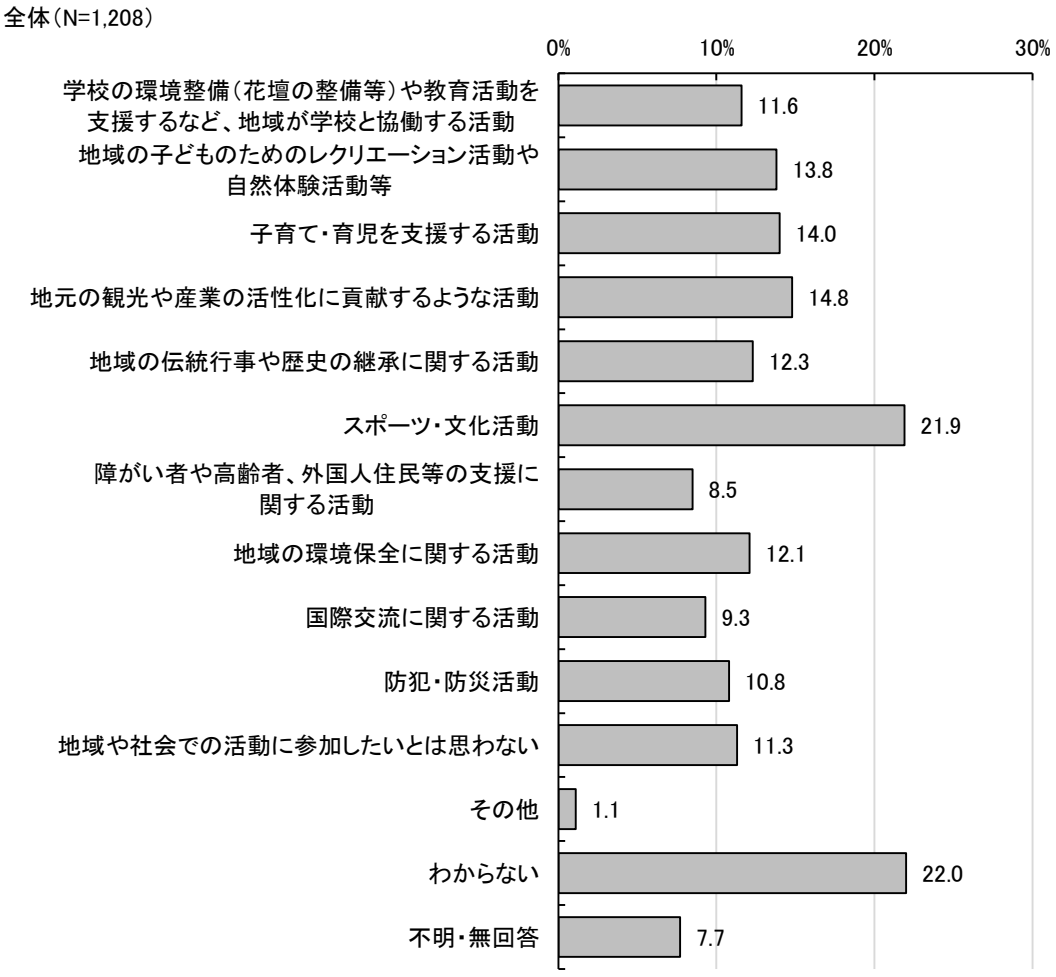
地域や社会で参加してみたい活動についてみると、全体では「わからない」が 22.0％と最も高く、次いで「スポーツ・文化活動」が 21.9％となっています。

性別にみると、男性では「スポーツ・文化活動」、女性では「わからない」が高くなっています。

年齢別にみると、18～39 歳では「スポーツ・文化活動」が他の年齢と比べて高くなっています。

小学校区別にみると、薪、田辺、三山木では「わからない」、普賢寺では「地域の子どものためのレクリエーション活動や自然体験活動等」、その他の小学校区では「スポーツ・文化活動」がそれぞれ高くなっています。

国の世論調査との比較をみると、京田辺市では「わからない」、国では「スポーツ・文化活動」が高くなっています。



【性別・年齢別・小学校区別】

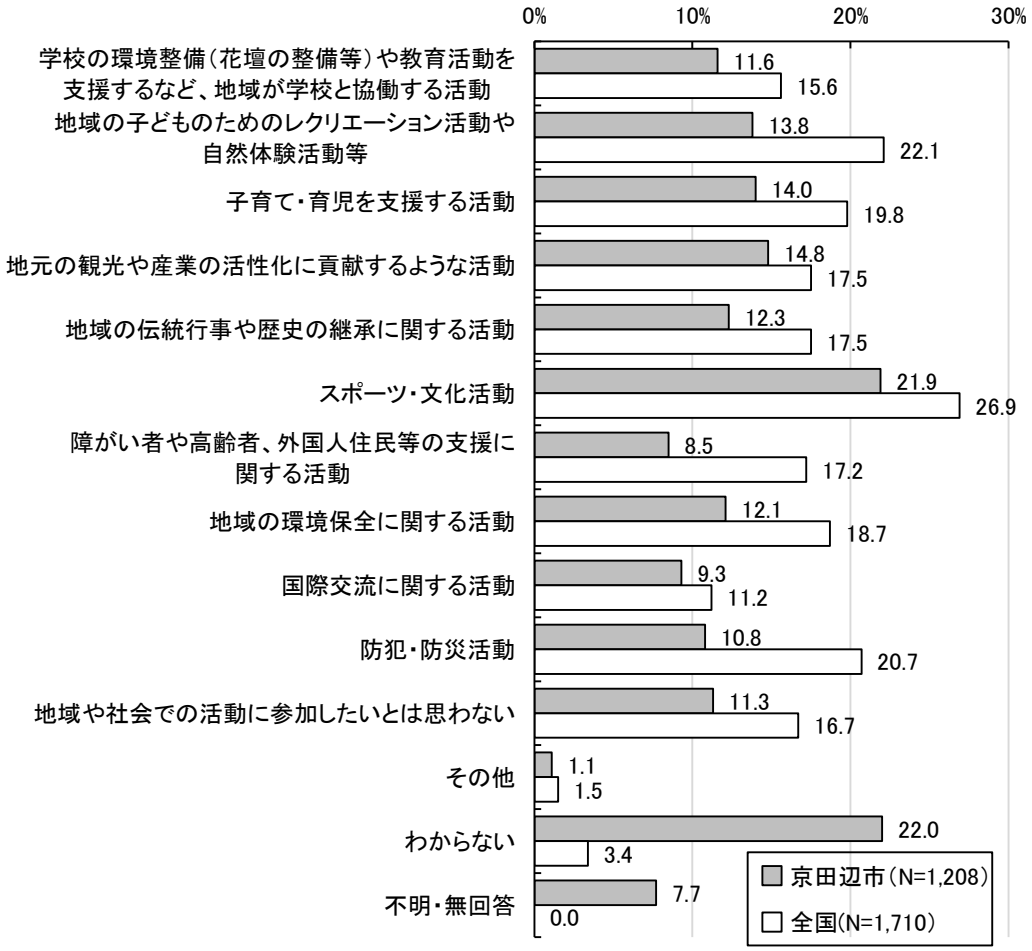
単位：%

		学校の環境整備（花壇の整備等）や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動	地域の子どものためのレクリエーション活動や自然体験活動等	子育て・育児を支援する活動	地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	スポーツ・文化活動	障がい者や高齢者、外国人住民等の支援に関する活動
全体（N=1,208）		11.6	13.8	14.0	14.8	12.3	21.9	8.5
性別	男性（N=523）	12.6	14.5	7.1	18.5	14.9	26.2	7.5
	女性（N=674）	11.0	13.5	19.6	11.9	10.4	18.5	9.5
年齢別	18～39歳（N=253）	17.4	23.7	25.3	19.4	11.9	28.9	10.7
	40～64歳（N=504）	11.7	15.1	16.5	18.8	13.1	22.2	10.7
	65歳以上（N=444）	8.3	7.0	5.0	7.7	11.5	17.6	5.0
小学校区別	松井ケ丘（N=196）	10.7	11.7	11.7	16.3	9.2	21.4	9.7
	大住（N=185）	13.0	11.4	10.3	13.5	16.2	24.3	10.3
	桃園（N=94）	13.8	17.0	10.6	13.8	12.8	25.5	5.3
	薪（N=134）	11.2	16.4	17.9	14.2	17.2	20.1	7.5
	田辺（N=202）	11.4	16.3	14.4	18.3	9.9	18.8	6.4
	田辺東（N=50）	10.0	6.0	4.0	16.0	18.0	26.0	10.0
	草内（N=123）	11.4	12.2	14.6	15.4	11.4	22.8	10.6
	三山木（N=175）	12.0	14.3	20.6	12.0	9.7	21.1	9.1
	普賢寺（N=31）	12.9	25.8	16.1	9.7	12.9	16.1	9.7

		地域の環境保全に関する活動	国際交流に関する活動	防犯・防災活動	地域や社会での活動に参加したいとは思わない	その他	わからない	不明・無回答
全体（N=1,208）		12.1	9.3	10.8	11.3	1.1	22.0	7.7
性別	男性（N=523）	17.0	8.6	16.1	12.2	0.8	18.0	5.9
	女性（N=674）	8.3	9.9	6.8	10.7	1.3	24.9	8.9
年齢別	18～39歳（N=253）	9.9	13.0	13.0	10.7	0.8	19.0	2.8
	40～64歳（N=504）	11.3	12.7	9.5	9.7	0.4	23.0	2.6
	65歳以上（N=444）	14.2	3.4	11.3	13.7	2.0	22.3	16.2
小学校区別	松井ケ丘（N=196）	11.2	13.3	9.2	12.8	0.5	20.9	8.2
	大住（N=185）	11.9	9.2	8.6	9.2	2.2	20.0	8.1
	桃園（N=94）	14.9	7.4	11.7	17.0	2.1	19.1	8.5
	薪（N=134）	11.2	6.0	11.2	8.2	0.0	22.4	9.7
	田辺（N=202）	10.4	7.9	9.9	10.9	1.0	26.2	6.9
	田辺東（N=50）	18.0	8.0	14.0	6.0	0.0	22.0	12.0
	草内（N=123）	12.2	12.2	11.4	15.4	0.8	16.3	8.1
	三山木（N=175）	12.0	10.3	14.3	9.1	1.7	25.1	4.6
	普賢寺（N=31）	16.1	3.2	6.5	16.1	0.0	22.6	6.5

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

【京田辺市・国比較】



※出典：生涯学習に関する世論調査（平成 30 年度）

単位：%

	学校の環境整備（花壇の整備等）や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動	地域の子どものためのレクリエーション活動や自然体験活動等	子育て・育児を支援する活動	地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	スポーツ・文化活動	障がい者や高齢者、外国人住民等の支援に関する活動
京田辺市（N=1,208）	11.6	13.8	14.0	14.8	12.3	21.9	8.5
全国(N=1,710)	15.6	22.1	19.8	17.5	17.5	26.9	17.2

	地域の環境保全に関する活動	国際交流に関する活動	防犯・防災活動	地域や社会での活動に参加したいとは思わない	その他	わからない	不明・無回答
京田辺市（N=1,208）	12.1	9.3	10.8	11.3	1.1	22.0	7.7
全国(N=1,710)	18.7	11.2	20.7	16.7	1.5	3.4	－

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

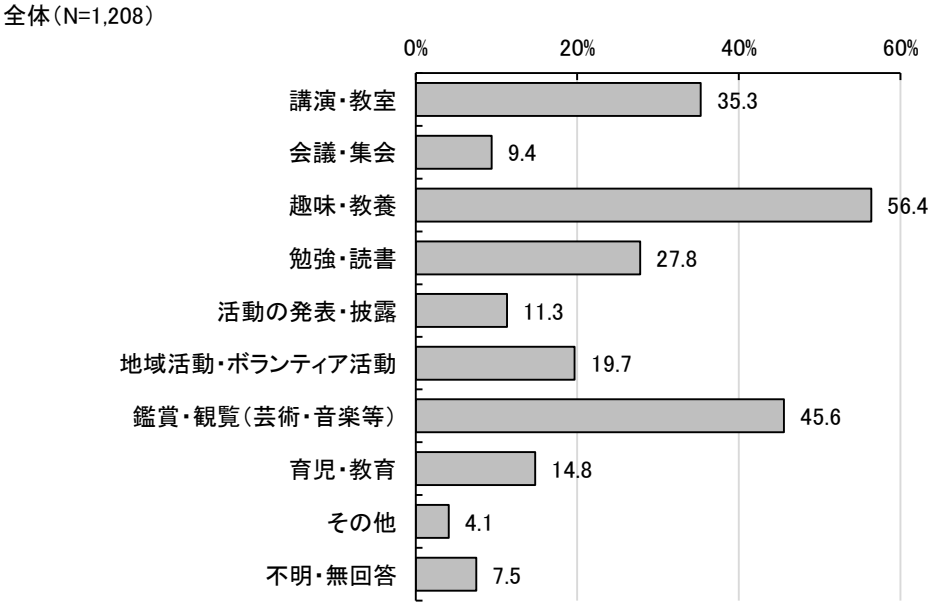
問 25　京田辺市では文化・芸術・生涯学習等の機能を備えた複合型公共施設の建設を予定しています。あなたは公共施設をどのような機会・活動に利用したいと思いますか。（○はいくつでも）

公共施設をどのような機会・活動に利用したいかについてみると、全体では「趣味・教養」が 56.4%と最も高く、次いで「鑑賞・観覧（芸術・音楽等）」が 45.6%となっています。

性別にみると、「育児・教育」では女性が男性を 8.2 ポイント上回っています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「勉強・読書」が低くなっています。

小学校区別にみると、大住では「趣味・教養」「鑑賞・観覧（芸術・音楽等）」、田辺東では「鑑賞・観覧（芸術・音楽等）」、その他の小学校区では「趣味・教養」がそれぞれ高くなっています。



【性別・年齢別・小学校区別】

単位：%

		講演・教室	会議・集会	趣味・教養	勉強・読書	活動の発表・披露	地域活動・ボランティア活動	鑑賞・観覧（芸術・音楽等）	育児・教育	その他	不明・無回答
全体（N=1,208）		35.3	9.4	56.4	27.8	11.3	19.7	45.6	14.8	4.1	7.5
性別	男性（N=523）	33.8	11.7	53.3	28.7	10.7	19.3	41.9	10.3	5.7	5.7
	女性（N=674）	36.5	7.7	59.1	27.3	11.9	19.7	48.7	18.5	3.0	8.5
年齢別	18～39歳（N=253）	32.4	9.5	58.5	45.5	11.5	16.6	40.7	33.6	2.8	3.2
	40～64歳（N=504）	37.5	7.9	59.9	30.0	10.9	20.2	47.6	14.9	4.0	4.8
	65歳以上（N=444）	34.0	10.8	50.9	15.1	11.7	20.9	45.9	4.3	5.2	13.1
小学校区別	松井ケ丘（N=196）	38.3	11.2	62.2	31.6	10.7	21.9	43.9	11.2	4.6	7.1
	大住（N=185）	36.8	5.9	53.5	29.2	8.6	20.0	53.5	11.4	2.2	8.6
	桃園（N=94）	34.0	8.5	58.5	27.7	20.2	18.1	44.7	9.6	5.3	6.4
	薪（N=134）	35.8	12.7	53.7	20.1	12.7	21.6	42.5	15.7	6.0	8.2
	田辺（N=202）	31.7	9.9	49.5	27.2	10.4	14.4	45.0	13.4	5.0	8.9
	田辺東（N=50）	34.0	12.0	42.0	24.0	14.0	24.0	46.0	10.0	6.0	14.0
	草内（N=123）	35.8	4.9	63.4	23.6	13.8	20.3	47.2	17.1	3.3	4.9
	三山木（N=175）	35.4	9.1	58.3	33.7	8.6	20.6	42.3	25.1	4.0	5.1
	普賢寺（N=31）	25.8	9.7	74.2	22.6	6.5	16.1	35.5	19.4	0.0	6.5

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

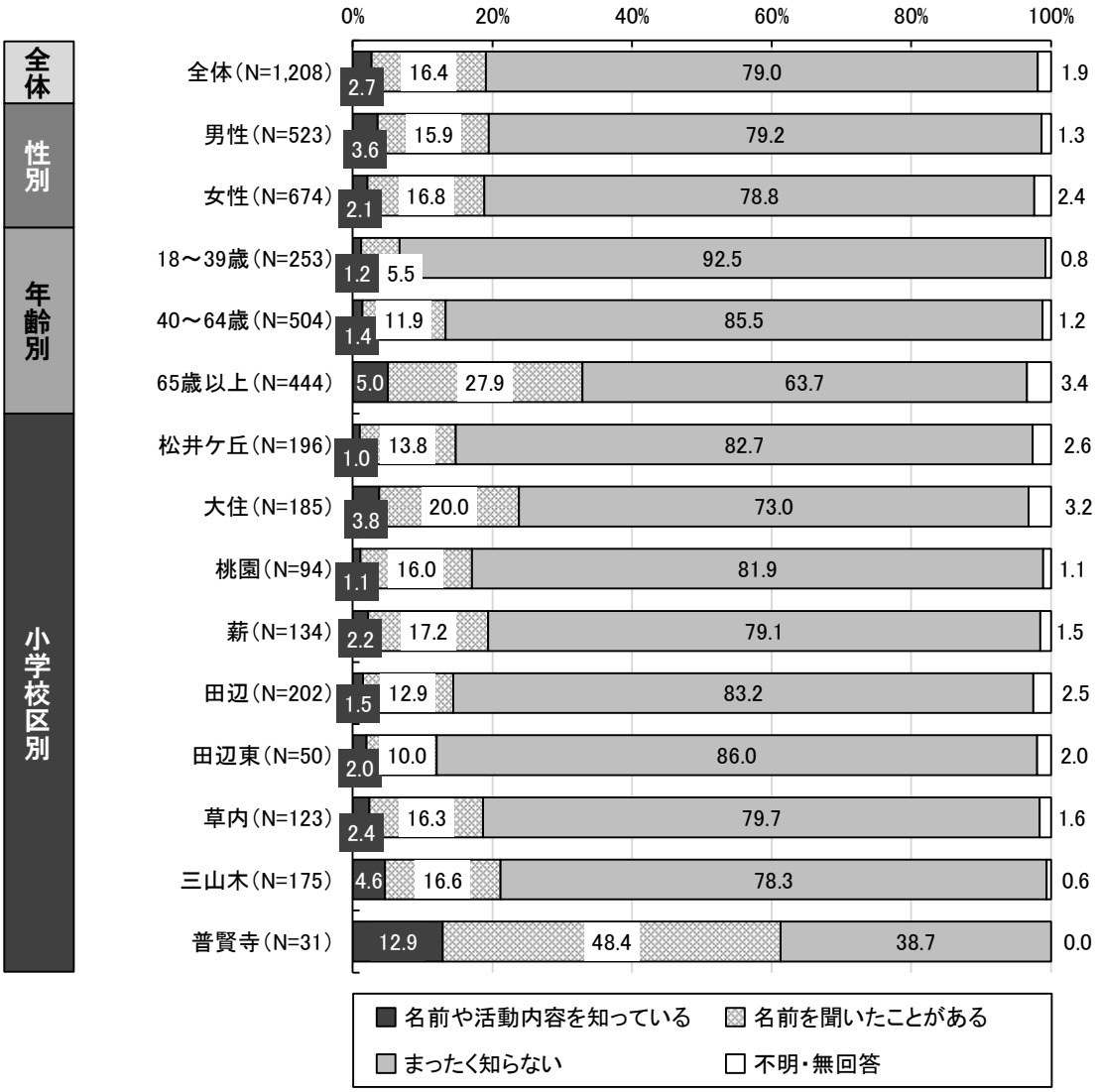
問 26　京田辺市の自治会ごとに配置されている「生涯学習推進協力員」について知っていますか。（ひとつだけ○）

生涯学習推進協力員の認知度についてみると、全体では「まったく知らない」が 79.0%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある」が 16.4%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、65 歳以上では「名前を聞いたことがある」が他の年齢と比べて高くなっています。

小学校区別にみると、普賢寺では「名前を聞いたことがある」が他の小学校区と比べて高くなっています。



問 27　多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

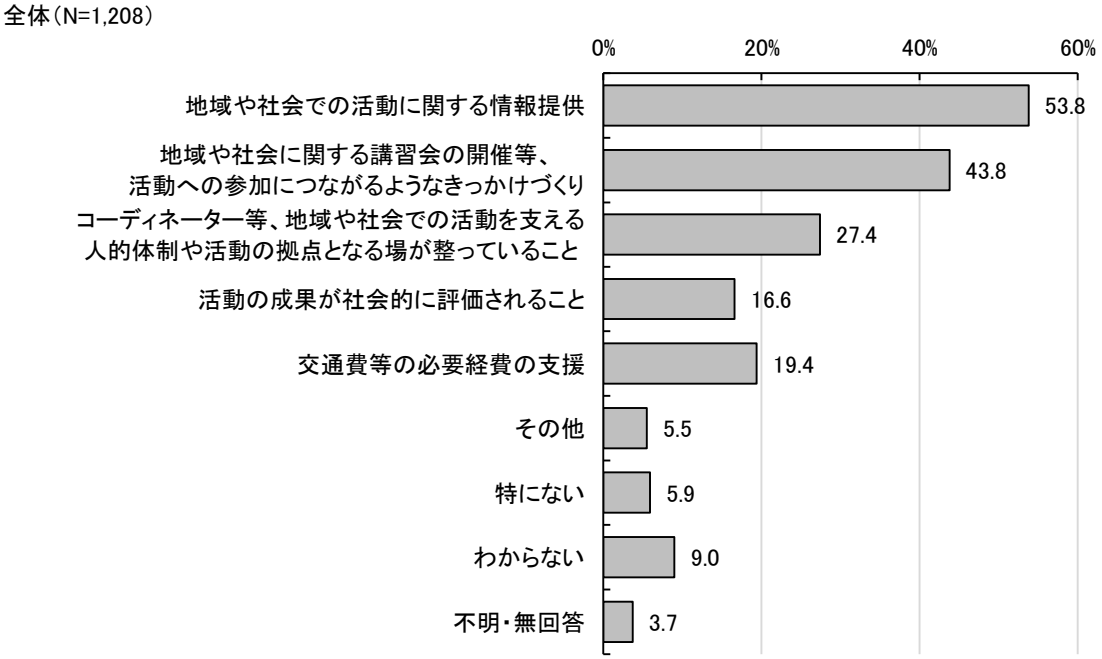
多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるために必要なことについてみると、全体では「地域や社会での活動に関する情報提供」が 53.8%と最も高く、次いで「地域や社会に関する講習会の開催等、活動への参加につながるようなきっかけづくり」が 43.8%となっています。

性別にみると、「活動の成果が社会的に評価されること」では男性が女性を 6.7 ポイント上回っています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「交通費等の必要経費の支援」が低くなっています。

小学校区別にみると、田辺東では「コーディネーター等、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること」、三山木では「交通費等の必要経費の支援」がそれぞれ他の小学校区と比べて高くなっています。

国の世論調査との比較をみると、京田辺市、国ともに「地域や社会での活動に関する情報提供」が高くなっています。



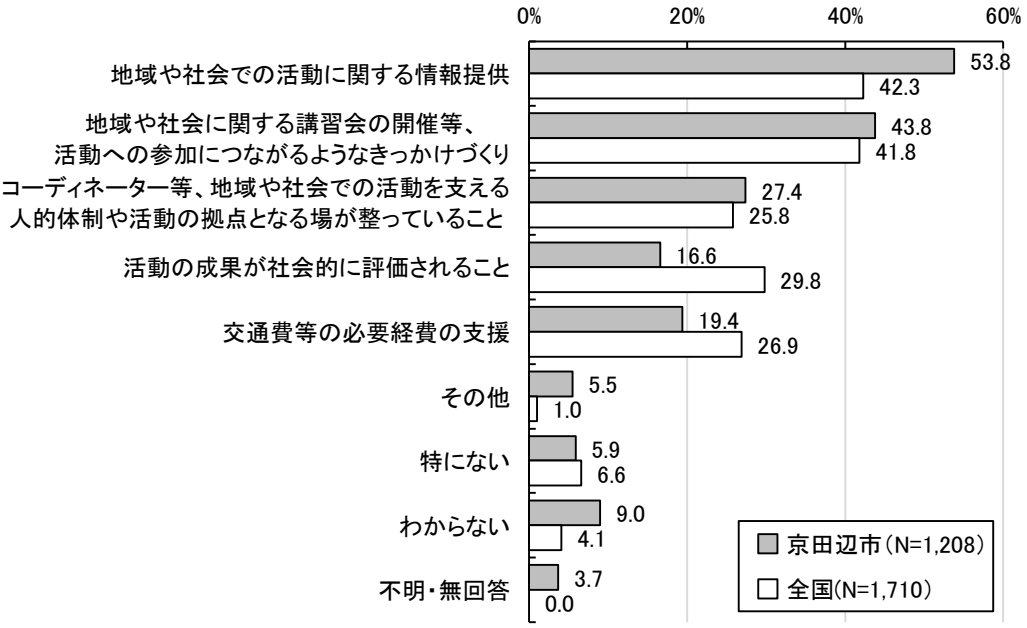
【性別・年齢別・小学校区別】

単位：%

		地域や社会での活動に関する情報提供	地域や社会に関する講習会の開催等、活動への参加につながるようなきっかけづくり	コーディネーター等、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること	活動の成果が社会的に評価されること	交通費等の必要経費の支援	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体（N=1,208）		53.8	43.8	27.4	16.6	19.4	5.5	5.9	9.0	3.7
性別	男性（N=523）	52.8	41.3	28.9	20.5	17.4	6.3	6.5	9.6	2.9
	女性（N=674）	54.9	46.0	26.0	13.8	21.2	5.0	5.5	8.6	4.0
年齢別	18～39歳（N=253）	55.7	45.1	27.3	21.3	24.9	7.5	5.5	5.9	2.0
	40～64歳（N=504）	52.8	44.6	31.2	17.5	20.8	7.1	3.6	8.1	1.4
	65歳以上（N=444）	53.8	42.1	23.0	13.1	14.6	2.7	8.6	11.7	7.2
小学校区別	松井ケ丘（N=196）	56.6	46.4	26.5	16.8	16.3	7.7	4.6	8.2	4.1
	大住（N=185）	56.2	44.9	31.9	16.2	17.8	3.8	4.3	6.5	2.7
	桃園（N=94）	47.9	45.7	20.2	12.8	16.0	6.4	10.6	11.7	3.2
	薪（N=134）	51.5	47.0	26.1	22.4	19.4	4.5	6.0	6.7	6.0
	田辺（N=202）	51.5	36.1	24.3	13.9	20.8	4.0	6.4	12.9	4.0
	田辺東（N=50）	62.0	52.0	36.0	16.0	16.0	4.0	6.0	4.0	6.0
	草内（N=123）	55.3	53.7	30.9	18.7	20.3	4.1	5.7	7.3	2.4
	三山木（N=175）	52.0	38.9	29.7	17.1	26.9	8.6	5.7	7.4	2.9
	普賢寺（N=31）	54.8	29.0	12.9	12.9	9.7	3.2	6.5	19.4	3.2

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

【京田辺市・国比較】



※出典：生涯学習に関する世論調査（平成 30 年度）

単位：%

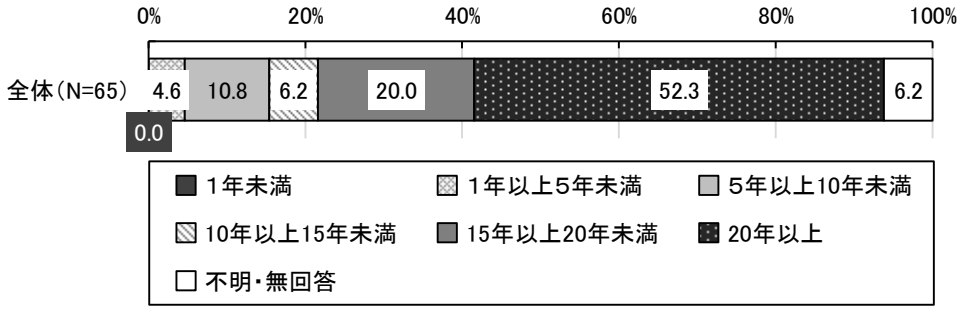
	地域や社会での活動に関する情報提供	地域や社会に関する講習会の開催等、活動への参加につながるようなきっかけづくり	コーディネーター等、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること	活動の成果が社会的に評価されること	交通費等の必要経費の支援	その他	特にない	わからない	不明・無回答
京田辺市（N=1,208）	53.8	43.8	27.4	16.6	19.4	5.5	5.9	9.0	3.7
全国(N=1,710)	42.3	41.8	25.8	29.8	26.9	1.0	6.6	4.1	－

※各属性の最上位の選択項目を塗りつぶしています。

Ⅲ　生涯学習に関するアンケート（団体用）調査結果

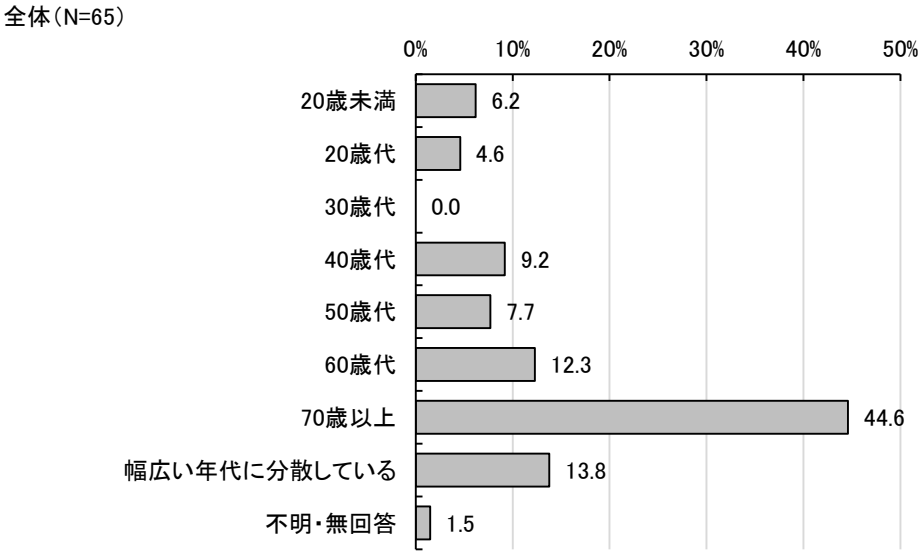
問１　貴団体の活動年数をお答えください。（ひとつだけ○）

団体の活動年数についてみると、「20 年以上」が 52.3％と最も高く、次いで「15 年以上 20 年未満」が 20.0％となっています。



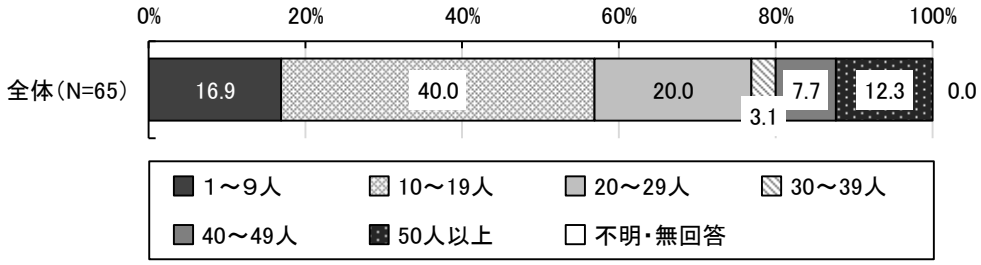
問２　貴団体の会員構成は、どの年代が多いですか。（ひとつだけ○）

会員構成についてみると、「70 歳以上」が 44.6％と最も高く、次いで「幅広い年代に分散している」が 13.8％となっています。



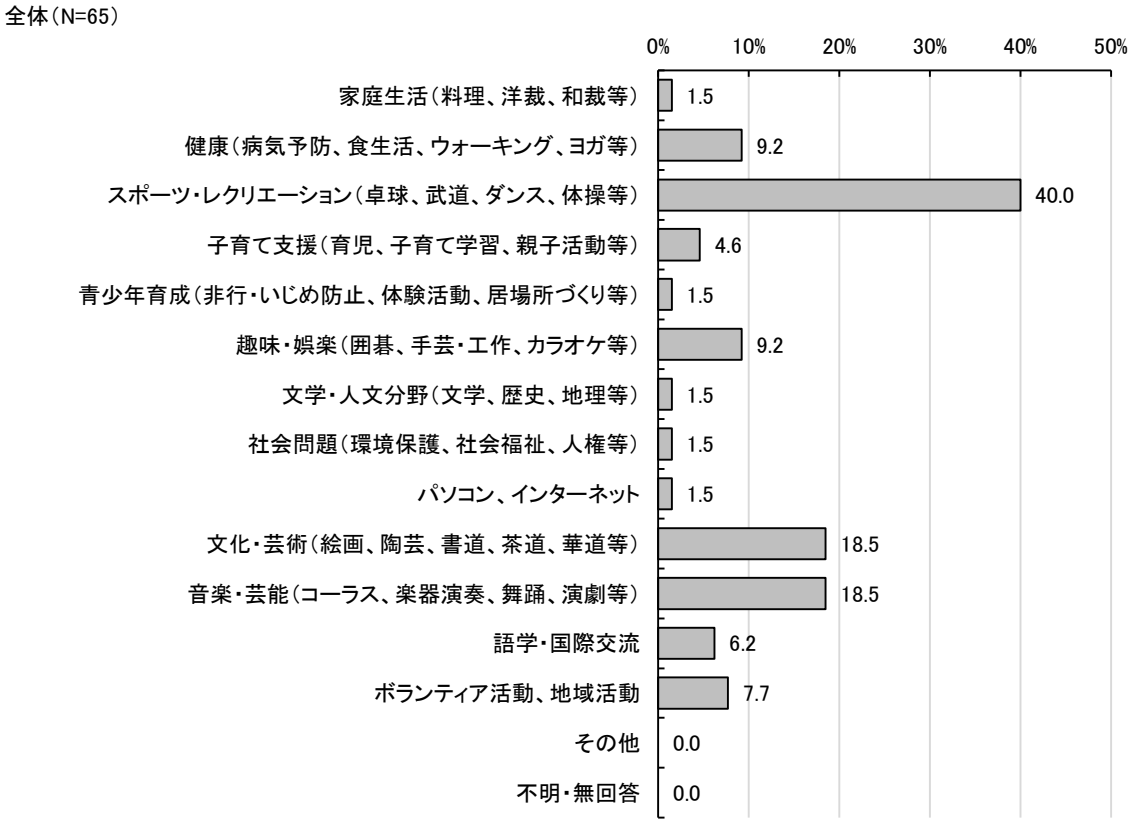
問３　貴団体の会員数は、現在、どのくらいですか。（数字を記入）

会員数についてみると、「10～19 人」が 40.0%と最も高く、次いで「20～29 人」が 20.0%となっています。



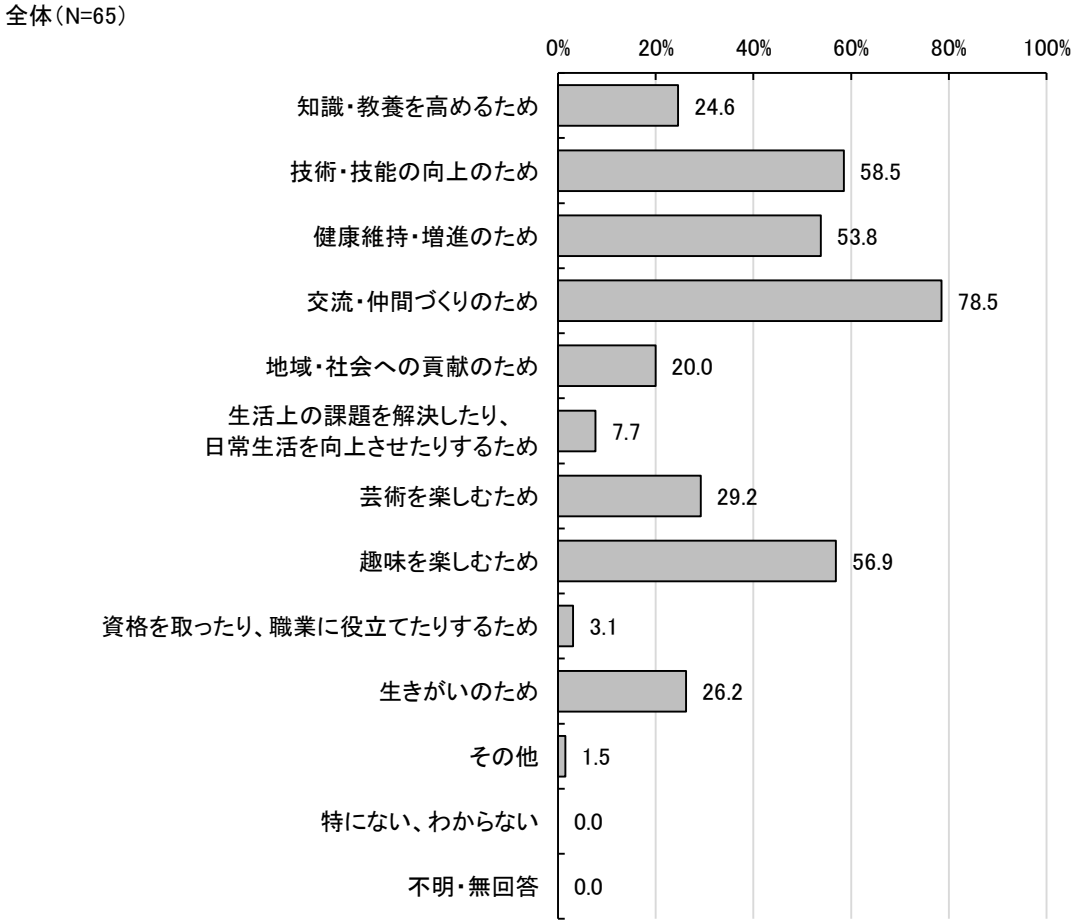
問４　主にどのような分野の活動を行ってきましたか。（○はいくつでも）

主にどのような分野の活動を行ってきたかについてみると、「スポーツ・レクリエーション（卓球、武道、ダンス、体操等)」が 40.0%と最も高く、次いで「文化・芸術（絵画、陶芸、書道、茶道、華道等)」「音楽・芸能（コーラス、楽器演奏、舞踊、演劇等)」がともに 18.5%となっています。



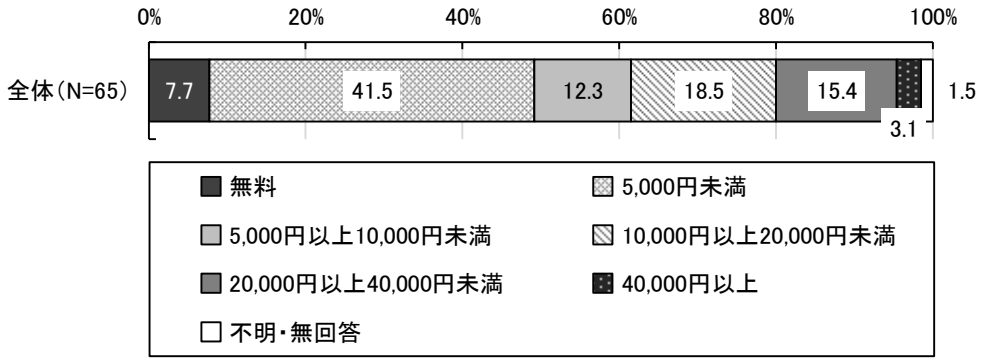
問５　主にどのような目的で活動してきましたか。（○はいくつでも）

主な活動目的についてみると、「交流・仲間づくりのため」が 78.5%と最も高く、次いで「技術・技能の向上のため」が 58.5%となっています。



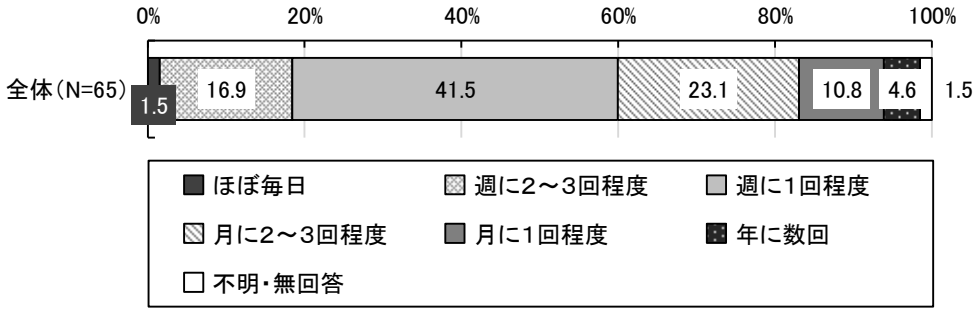
問６　会費（年単位、月単位等で継続的に支払う一人当たりの団員費）は年間どのくらいですか。（ひとつだけ○）

年間の会費についてみると、「5,000 円未満」が 41.5%と最も高く、次いで「10,000 円以上 20,000 円未満」が 18.5%となっています。



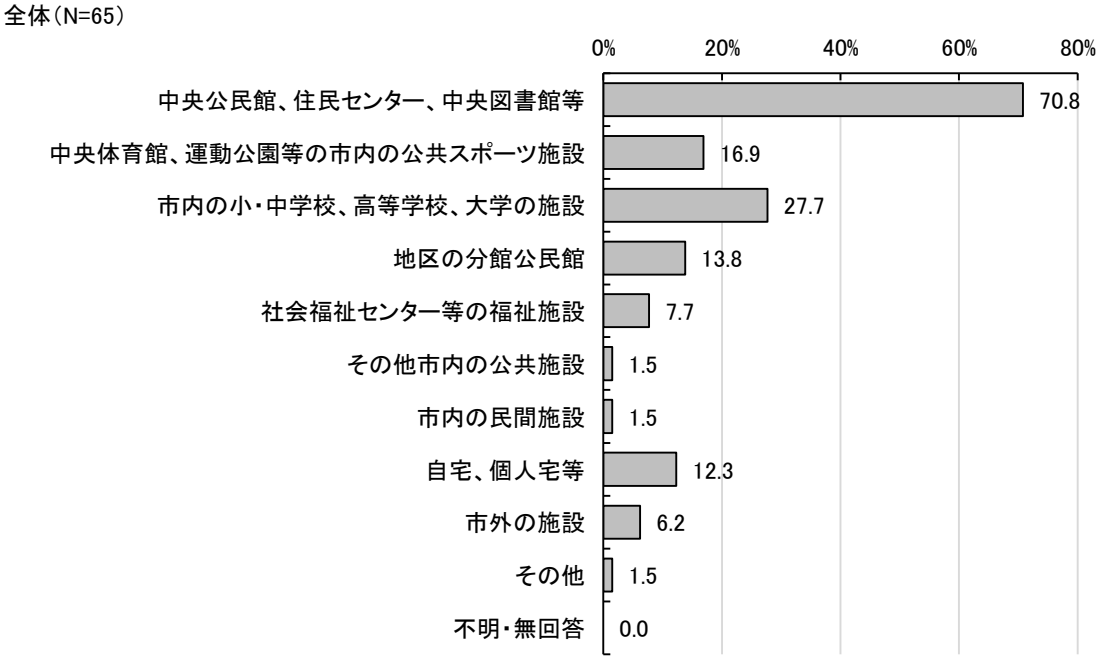
問７　活動回数はどれくらいですか。（ひとつだけ○）

活動回数についてみると、「週に１回程度」が 41.5%と最も高く、次いで「月に２～３回程度」が 23.1%となっています。



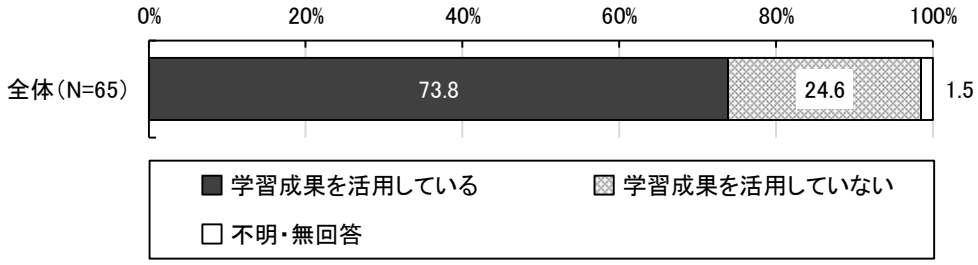
問８　活動の場として利用している施設等を選んでください。（○はいくつでも）

活動の場として利用している施設等についてみると、「中央公民館、住民センター、中央図書館等」が 70.8%と最も高く、次いで「市内の小・中学校、高等学校、大学の施設」が 27.7%となっています。



問９　貴団体でのこれまでの学習成果の活用の有無についてお答えください。（ひとつだけ○）

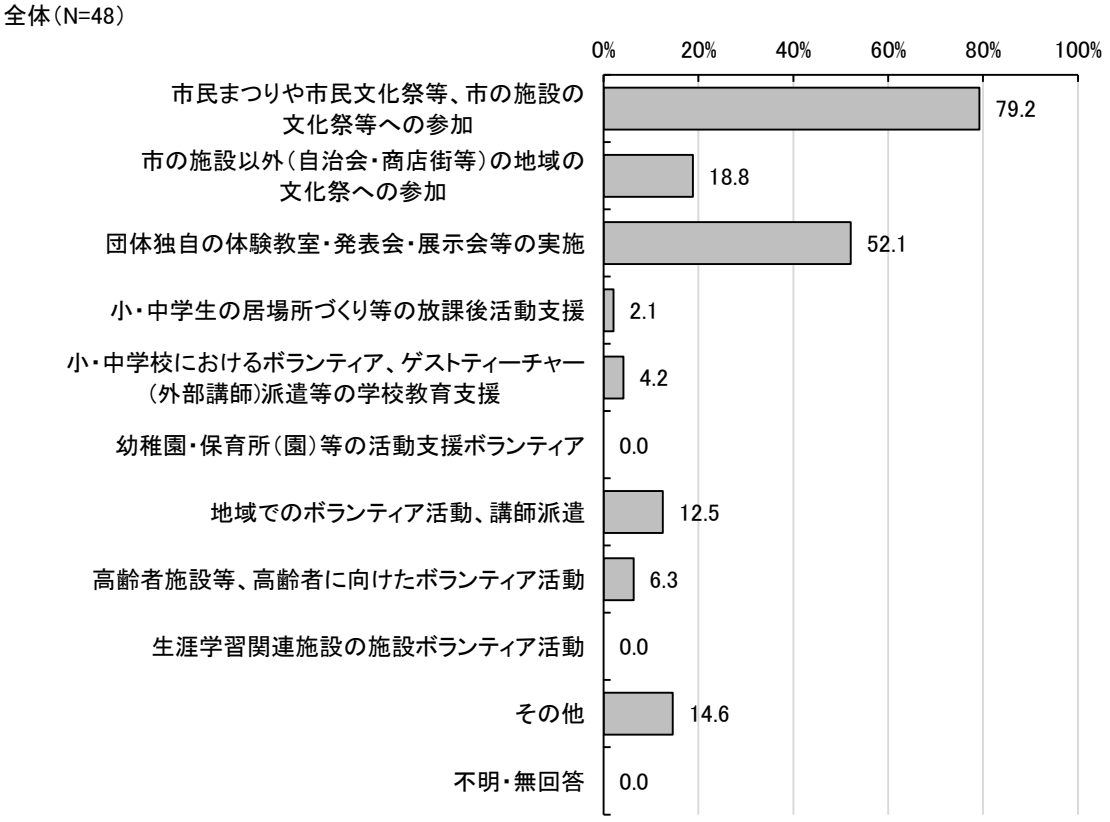
これまでの学習成果の活用の有無についてみると、「学習成果を活用している」が 73.8%、「学習成果を活用していない」が 24.6%となっています。



【問９で「学習成果を活用している」に○をつけた方におうかがいします。】

問９（１）　学習成果の活用の仕方についてお答えください。（○はいくつでも）

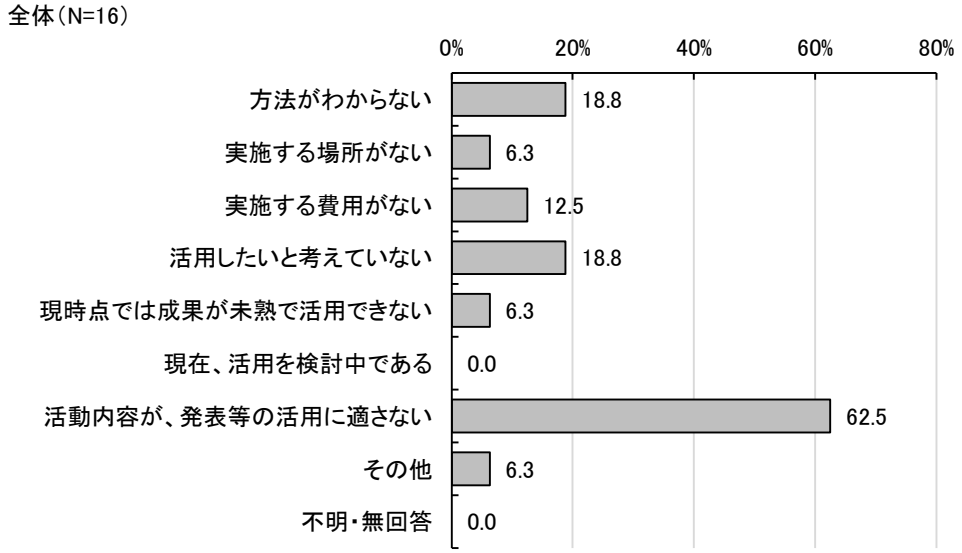
学習成果の活用の仕方についてみると、「市民まつりや市民文化祭等、市の施設の文化祭等への参加」が 79.2%と最も高く、次いで「団体独自の体験教室・発表会・展示会等の実施」が 52.1%となっています。



【問９で「学習成果を活用していない」に○をつけた方におうかがいします。】

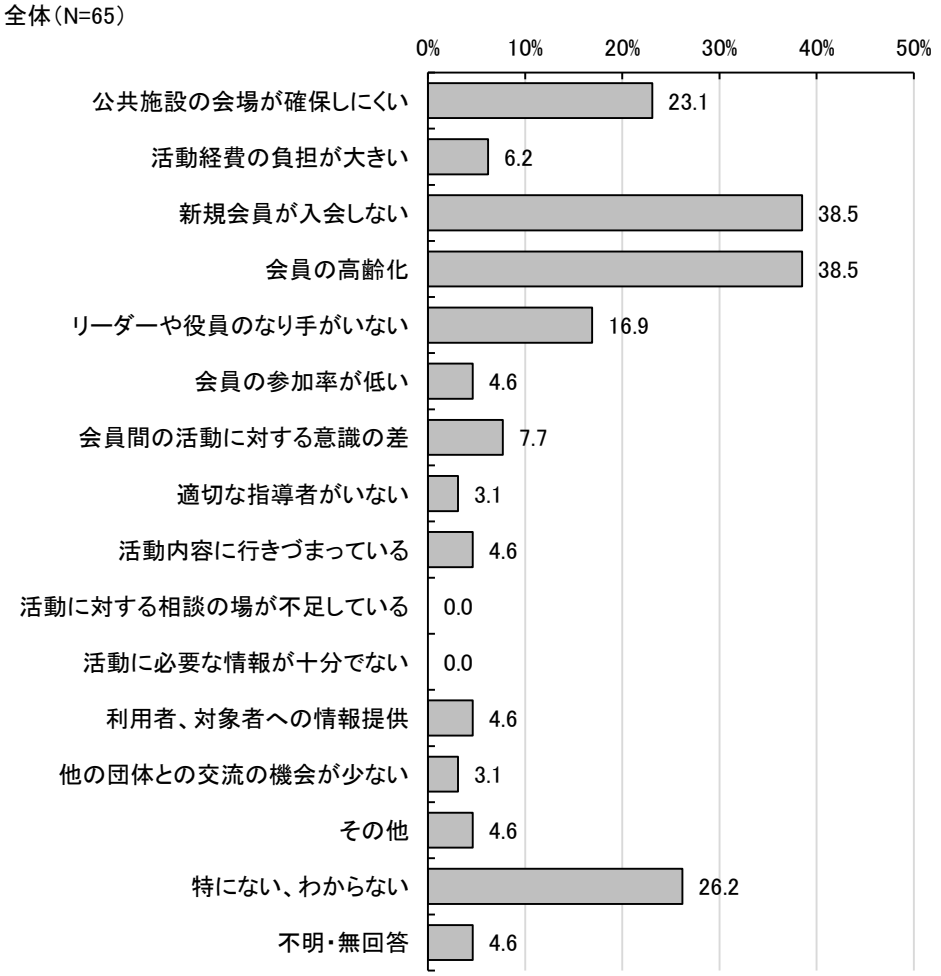
問９（２）　学習成果の活用をしていない理由をお答えください。（○は３つまで）

学習成果の活用をしていない理由についてみると、「活動内容が、発表等の活用に適さない」が62.5%と最も高く、次いで「方法がわからない」「活用したいと考えていない」がともに 18.8%となっています。



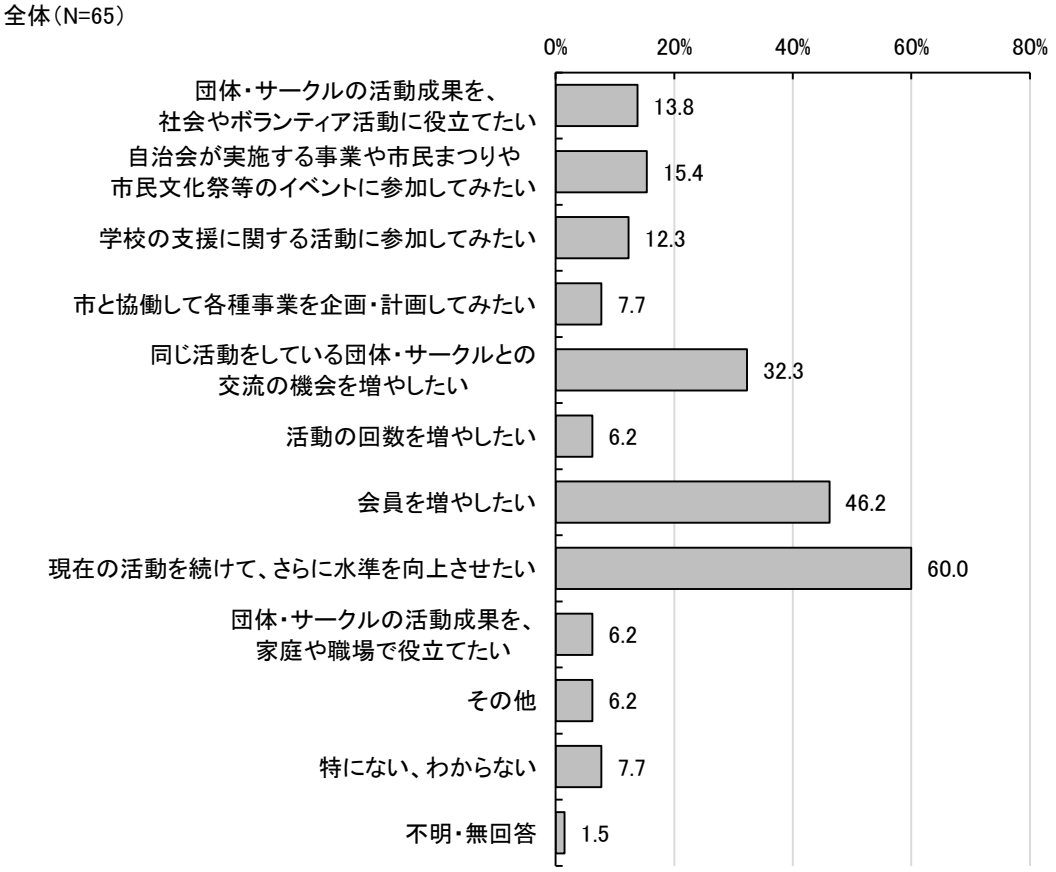
問 10　活動を行う上で、どのようなことが問題となりましたか。（○はいくつでも）

活動を行う上で、問題になったことについてみると、「新規会員が入会しない」「会員の高齢化」がともに 38.5%と最も高く、次いで「特にない、わからない」が 26.2%となっています。



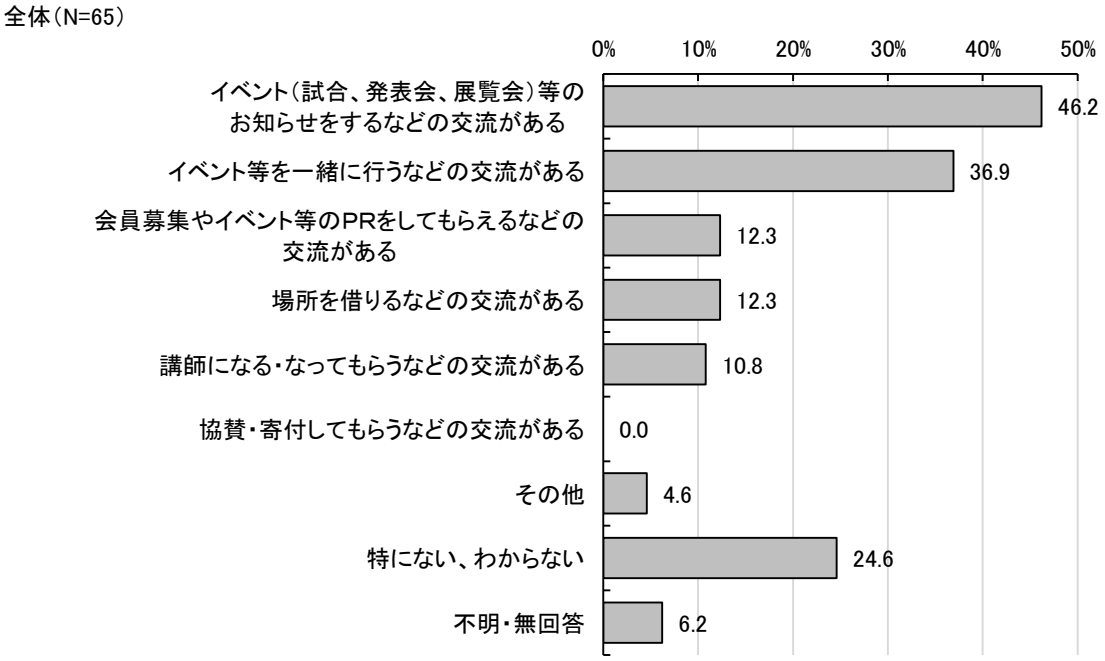
問 11　今後の活動について、どのように進めていきたいですか。（○はいくつでも）

今後の活動をどのように進めていきたいかについてみると、「現在の活動を続けて、さらに水準を向上させたい」が 60.0%と最も高く、次いで「会員を増やしたい」が 46.2%となっています。



問 12　貴団体では、これまでに地域の他団体や個人との交流がありましたか。（〇はいくつでも）

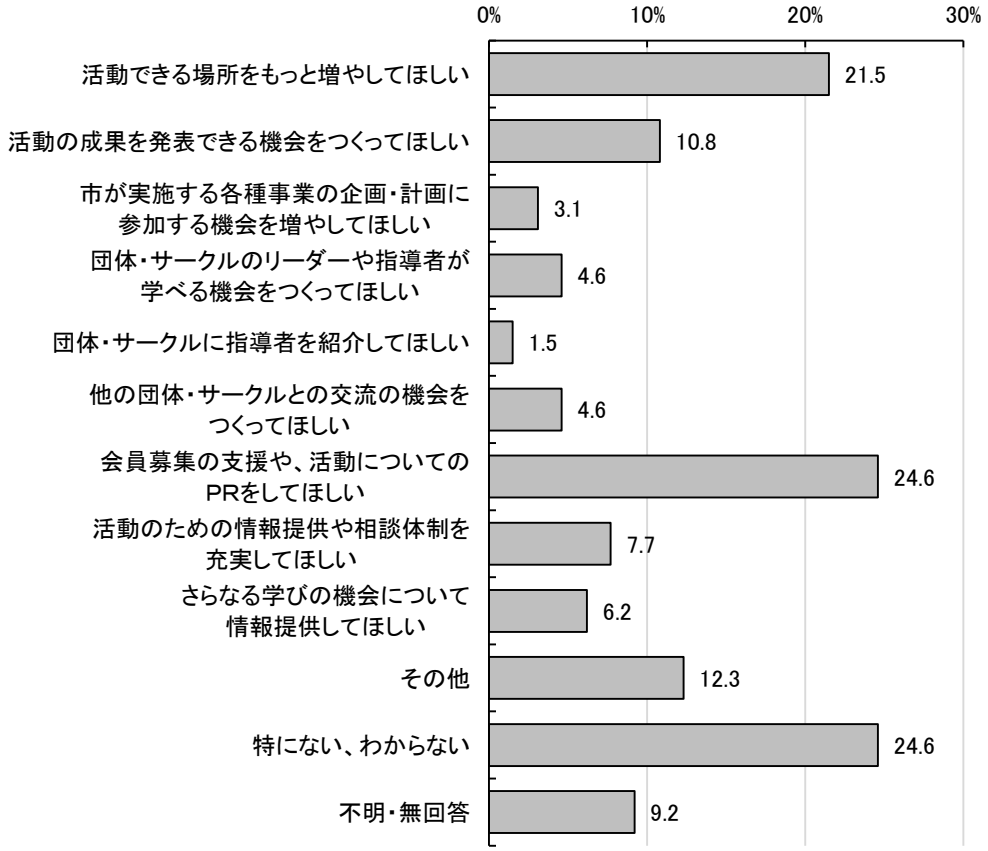
これまでに地域の他団体や個人との交流があったかについてみると、「イベント（試合、発表会、展覧会）等のお知らせをするなどの交流がある」が 46.2%と最も高く、次いで「イベント等を一緒に行うなどの交流がある」が 36.9%となっています。



問 13　活動を続ける上で、行政に望むことは何ですか。（○はいくつでも）

活動を続ける上で、行政に望むことについてみると、「会員募集の支援や、活動についてのＰＲをしてほしい」「特にない、わからない」がともに 24.6％と最も高く、次いで「活動できる場所をもっと増やしてほしい」が 21.5％となっています。

全体（N=65）



Ⅳ　生涯学習に関するアンケート（区・自治会用）調査結果

1　集計表

生涯学習推進協力員の活動状況について

問1　貴区・自治会では、役員として「生涯学習推進協力員」がおられますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	いる	20	45.5
2	いない	24	54.5
	不明・無回答	0	0.0
	総数(合計%)	44	100.0

問1-1　貴区・自治会において生涯学習推進協力員はどのような活動を行(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	市民の学習意欲の喚起	4	20.0
2	個人、グループ、団体等の学習活動の奨励・支援	10	50.0
3	指導者・リーダーとしての活動	2	10.0
4	事業の企画・運営	3	15.0
5	学習に関する情報の収集・提供	8	40.0
6	学習相談への対応	0	0.0
7	その他	1	5.0
8	活動していない	8	40.0
	不明・無回答	0	0.0
	総数(合計%)	20	100.0

問1-2　生涯学習推進協力員についてどのようなことが課題だと思いますか　(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	生涯学習推進協力員の認知度が低い	11	55.0
2	生涯学習推進協力員と地域の活動との連携が不足している	2	10.0
3	生涯学習推進協力員の一地区あたりの人員数が少ない	2	10.0
4	生涯学習推進協力員のなり手が不足している	13	65.0
5	その他	3	15.0
6	わからない	1	5.0
	不明・無回答	0	0.0
	総数(合計%)	20	100.0

問2　今後、生涯学習推進協力員は必要だと思いますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	思う	19	43.2
2	思わない	14	31.8
3	その他	6	13.6
	不明・無回答	5	11.4
	総数(合計%)	44	100.0

問3　今後、生涯学習推進協力員をどの区域で設置するのがよいと思いますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	区・自治会	11	25.0
2	小学校区	15	34.1
3	旧町村域	3	6.8
4	中学校区	2	4.5
5	その他	5	11.4
	不明・無回答	8	18.2
	総数(合計%)	44	100.0

地区公民館における生涯学習の状況について

問4　貴区・自治会の公民館における生涯学習の活動回数はどれくらいですか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ほぼ毎日	2	4.5
2	週に2～3回程度	10	22.7
3	週に1回程度	4	20.0
4	月に2～3回程度	2	4.5
5	月に1回程度	2	4.5
6	年に数回	13	29.5
	不明・無回答	11	25.0
	総数(合計%)	44	100.0

問5　貴区・自治会の公民館では、どのような分野で生涯学習の活動が行われていますか　（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家庭生活（料理、洋裁、和裁等）	6	13.6
2	健康（病気予防、食生活、ウォーキング、ヨガ等）	15	34.1
3	スポーツ・レクリエーション（卓球、武道、ダンス、体操等）	22	50.0
4	子育て支援（育児、子育て学習、親子活動等）	14	31.8
5	青少年育成（非行・いじめ防止、体験活動、居場所づくり等）	5	11.4
6	趣味・娯楽（囲碁、手芸・工作、カラオケ等）	20	45.5
7	文学・人文分野（文学、歴史、地理等）	0	0.0
8	社会問題（環境保護、社会福祉、人権等）	1	2.3
9	パソコン、インターネット	1	2.3
10	文化・芸術（絵画、陶芸、書道、茶道、華道等）	10	22.7
11	音楽・芸能（コーラス、楽器演奏、舞踊、演劇等）	10	22.7
12	語学・国際交流	1	2.3
13	ボランティア活動、地域活動	6	13.6
14	その他	2	4.5
	不明・無回答	5	11.4
	総数(合計%)	44	100.0

問6　貴区・自治会の公民館における生涯学習での利用者は、どの年代が多いですか　（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	小学生未満	1	2.6
2	小学生	10	20.5
3	中学生	1	2.6
4	高校生	0	0.0
5	大学生・専門学生	0	0.0
6	現役世代	5	10.3
7	高齢者世代	30	71.8
8	幅広い年代に分散している	8	20.5
	不明・無回答	7	12.8
	総数(合計%)	44	100.0

問7　貴区・自治会の公民館では、どのような形態で生涯学習の活動が行われていますか　（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	講座	4	9.1
2	講演	1	2.6
3	住民同士の集まり	34	77.3
4	その他	3	6.8
	不明・無回答	6	13.6
	総数(合計%)	44	100.0

２　自由回答

問８　生涯学習推進協力員の活動について感じていることや地区における生涯学習の活動へのご意見、ご提案等について、ご自由にお書きください。

意見
現在のサークル活動 「空手・詩吟・書道・フラサークル・能の謡と仕舞・興戸区での活動・防災訓練・健康講座・子育て関連での活動」 今後の活動希望としては、教育関連の講座を実施
積極的に企画立案していただければと思います。
コロナが収束し活動再開となった時、区民の活動参加意識の低下が心配。
生涯学習推進協力員の活動について、市からのサジェスチョンがない。 協力員の名前だけで、何をしてよいのかわからない。 生涯学習について、他地域との情報交換の場がない。
生涯学習推進協力員は初めて聞く名前であり、何をやっているか、地域にいるのか全く分らず、広報活動がされていない。
当自治会の協力員は、受動的な立場で活動 公民館の利用料が高額なため、今まで利用がほぼ無かった。今年度中に料金見直しを検討し、生涯学習の場となるようにしたい。
生涯学習推進協力員は体育委員や文化委員のように市でイベントを計画し、それについての取りまとめをするものと思っていた。役員の引継ぎも以前はとんど焼き等の連絡を受けて活動していたと聞いた。小さく、かつ高齢化が進み小学生も一人という（区の）状況。問５のような活動を自発的に行うのは非常に難しい。小さな区は近隣区と共同で行うなどの見直しが必要である。
高齢化に伴い、ますます生涯学習意欲も多様化する。それに見合った協力員が必要となる。地域をまたがった協力員の発掘が重要課題と考える。
当自治会では自然発生的にサークルグループ活動を行われてきただけに、体育的なプログラム連携の指導方針は存在しない。生涯学習は現状では市域で統一的にプログラムを組んで行われることを望むが、個別テーマで自治会にふさわしいものがあれば、積極的に取り入れたい。 ※現在ホームページでサークル活動を紹介し、高齢者の孤独抑制の一助になればと考えている。
リーダー的な人がいない。
市との連携を密にして企画力を高め、年に数回は生涯学習に係る活動を展開できる体制づくりをすべき。
コロナ禍で企画が進まない。相談して地区子供会で取り組めるように努力したい。
数年前まで三山木小学校にてＰＴＡや小学校の先生等の集まりに参加し、とんど作りの手伝いを行っていたが、人員不足もあり手伝わなくなった。
コロナ禍で公民館を利用した活動が行えていない状況。老人会や子供会以外にも区民の自主的なサークル等の活動が活性化するようになればよい。特に新住民の参加を図ることが大きな課題である。
地蔵盆法要や三世代餅つき等、区の行事として生涯学習を行う予定
感染症予防の観点から、現在は十分に活動できていない。

意見
老人会活動が健康づくり的な活動を積極的に行っているが、コロナ禍のために区民運動会やボーリング大会は中止となっている。
自らの公民館を持たないことから、三山木福祉会館が行う各種の事業に参加している。今後も自治会員が積極的に参加するように、回覧等で広報していきたい。スポーツについては毎年いろいろな大会を実施しており、今後も積極的に取り組んでいきたい。
趣味、レクリエーション、パソコン等　身近な事で今必要とされる提案をもっと市より出してほしい。
生活をする上で何をしたらよいのか、考えていただきたい。
世帯数の少ない区では、協力員のなり手が不足しており、任期毎に無理にお願いしている状況です。又公民館を拠点に活動する場合、協力員の活動内容が区の団体と活動内容が重複し実際の活動の場がないのが現状です。そこで、自治会毎ではなく各小学校単位で市が協力員の人材の掘り起こしをしていただき、協力員の研修等を取り入れて市が主導し各自治会と連携して活動していただければと思います。
今後も、公民館等を活用して活動していただければと思います。なお、調査は自治会長ではなく協力員を市が把握して直接聞かれる方が効率がよいと思います。
高齢化が進んで区民が集まる事があまり無い。人口の少ない地域なので小学校区など、広域で企画すれば少しずつでも参加ができると思う。

京田辺市
生涯学習に関するアンケート調査
（個人・団体・区 自治会）報告書

発行年月：令和３年８月

発　　行：京田辺市　教育委員会　社会教育課

〒 610-0393　京都府京田辺市田辺 80 番地
ＴＥＬ：0774-64-1394
ＦＡＸ：0774-64-1390

資料３

第３次　京田辺市生涯学習
推進基本計画

【骨子案】

京　田　辺　市

目次

第１章　計画策定にあたって 1

１．計画の趣旨 1
２．生涯を通じた学習に関わる動向 1
３．計画の範囲 2
４．計画の位置付け 2
５．計画の期間 2

第２章　本市を取り巻く環境 3

１．京田辺市の現状 3
２．各種調査結果 3
３．前計画の成果と課題 6
４．京田辺市の課題 7

第３章　計画の基本的な考え方 8

１．基本理念 8
２．基本目標 9
３．施策体系 10

第１章　計画策定にあたって

１．計画の趣旨

京田辺市（以下「本市」という）においては、平成 18 年（2006 年）に「第２次京田辺市生涯学習推進基本計画」を策定し、「いつでも、どこでも、だれでも、なんどでも、たのしく」学ぶことができる生涯学習社会の実現に向けた施策を実施してきました。

一方で、本市では、住宅開発の影響による働き盛り世代人口や高齢者人口の増加が見込まれ、若者と高齢者の世代間格差や地域のつながりの希薄化等、課題の拡大が懸念されています。また、国際化の進展による外国人人口の増加に加え、技術の進展や昨今の新型コロナウイルス感染症による生活環境の変化に伴い、人々の価値観の多様化が進んでおり、互いに認め合い、支え合う社会を構築していく必要があります。そのため、今後は市民一人ひとりが地域とつながり、誰もが住みやすいまちづくりに向けて取り組んでいくことが求められます。

こうした状況を踏まえ、本市においても市民一人ひとりが学びを通して地域へと貢献する生涯学習社会の実現を目指し、「第３次京田辺市生涯学習推進基本計画」（以下「本計画」という）を策定します。

２．生涯を通じた学習に関わる動向

（１）国際的な動向

平成 27 年（2015 年）の国連サミットで採択されたＳＤＧｓ（Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）の達成に向け、全ての人に質の高い教育機会を提供できるよう取り組むとともに、持続可能なまちづくりに向けた教育（ＥＳＤ）等を推進していく必要があります。

また、ＩｏＴやビッグデータ等の最新技術を活用し、社会課題の解決を行う Society5.0 社会の推進に向け、新しい技術を活用した多様な学びを行うことが求められています。

（２）国の動向

国では、平成 30 年（2018 年）６月に公表された第３期教育振興基本計画や人生 100 年時代構想会議において策定された「人づくり革命　基本構想」において、人生 100 年時代を見据えた生涯を通した学習の推進やリカレント教育の推進等が掲げられています。

また、平成 30 年（2018 年）12 月の文部科学省の中央教育審議会において、「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」が答申され、社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりという理念が示されるとともに、令和２年（2020 年）４月から施行されている学習指導要領においても地域と学校が連携し、次世代を担う子どもや若者の教育を行うことが求められています。

この他、平成 31 年（2019 年）３月には、文部科学省の有識者会議により報告された「障害者の生涯学習の推進方策について―誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して―」において、障がいのある人がライフステージを通じて、希望する学習を主体的・継続的に行うために、学習機会の提供や本人のニーズに沿った支援を行うこと等が挙げられています。

３．計画の範囲

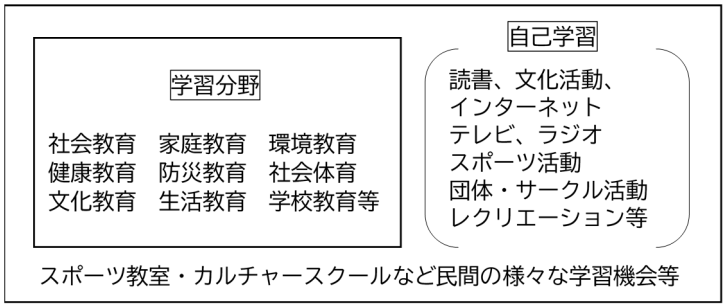
生涯学習社会とは、人々が生涯を通して自由に学習の機会を選択して学び、その成果を社会の中で活用する社会を言います。

学習により一人ひとりの生活が豊かなものとなり、学習を通して形成される地域のつながりや学習成果の活用により、地域課題の解決につながる生涯学習社会の実現が必要となります。

本計画においては、社会教育や家庭教育、学校教育、環境教育、健康教育等の学習分野における教育を通じて生涯学習社会の実現を目指します。

なお、本計画が対象とする事業は、主に市が実施する事業や他団体(市民団体、ＮＰＯ、大学、民間企業)に対して市が支援する事業を指します。

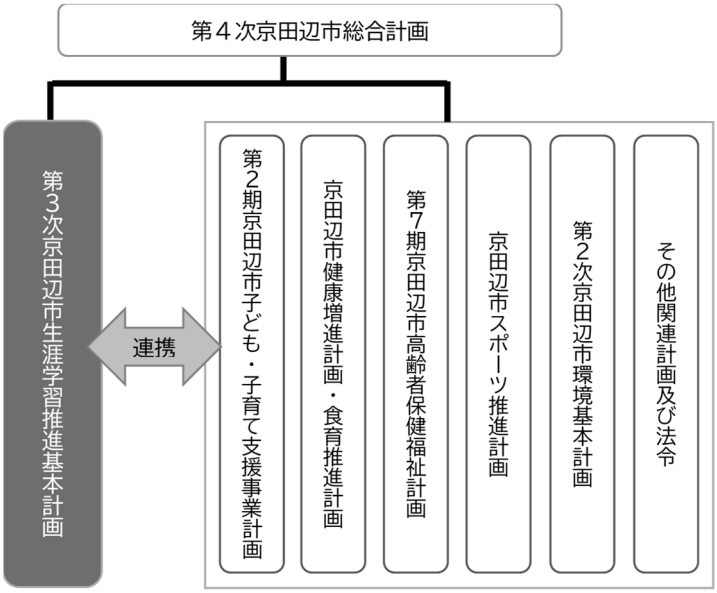
■生涯学習社会の範囲



４．計画の位置付け

本計画は、生涯を通じた学習についての基本的な考え方や施策を示すものです。

なお、他計画との関連性については、「第４次京田辺市総合計画」を最上位計画とし、教育やスポーツ、福祉、環境、健康等をはじめとした各分野の個別計画との連携を図ります。



５．計画の期間

本計画は令和４年度（2022 年度）～令和 13 年度（2031 年度）までの 10 年間を一期とします。

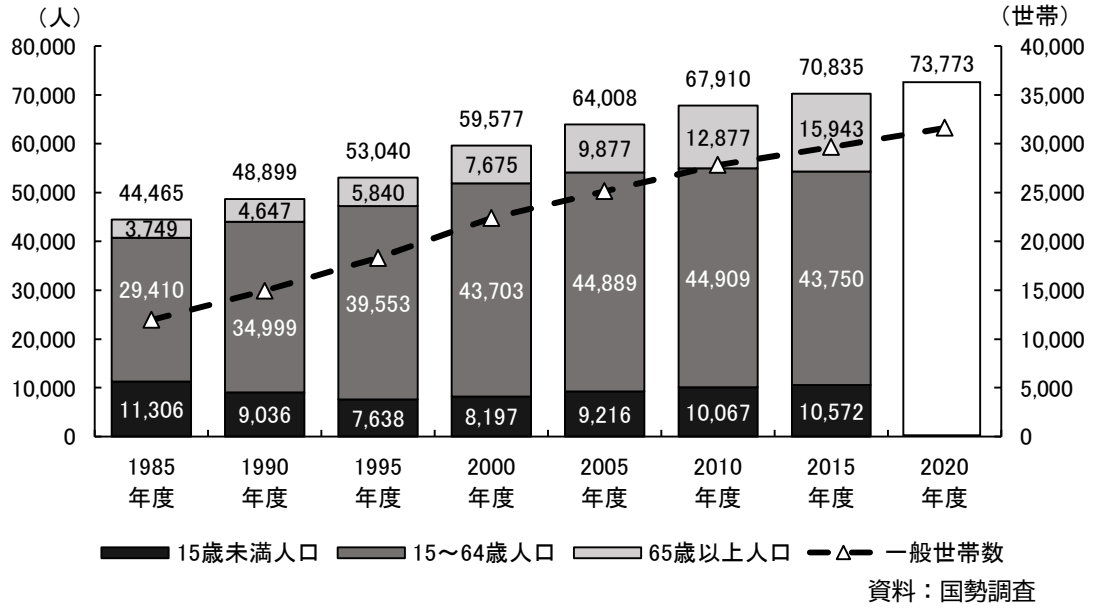
なお、適正な進行管理や社会環境の変化、市民ニーズ等を考慮し、必要に応じて計画の見直しを行います。

第２章　本市を取り巻く環境

１．京田辺市の現状

人口と世帯数はそれぞれ増加傾向にあり、令和２年度（2020 年度）には人口は 73,773 人、世帯数は 31,628 世帯となっています。年齢別の人口構成をみると、15～64 歳人口、65 歳以上人口は一貫して増加傾向にあり、15 歳未満人口は 1995 年度まで減少傾向にありましたが、以降は増加傾向となっています。

■人口・世帯数の推移



資料：国勢調査

２．各種調査結果

（１）生涯学習に関するアンケート（個人用）調査

①調査概要

調査対象	市内にお住まいの 18 歳以上の方
対象数	配布数：3,000 件　有効回答数：1,208 件　有効回収率：40.3%
調査方法	郵送による調査票の配布、郵送による調査票の回収またはＷｅｂでの調査
調査期間	令和３年（2021 年）６月 28 日(月)～７月 16 日(金)

②調査結果

１　これまでの生涯学習の状況について

○これまでに行った生涯学習活動についてみると、18～39 歳と 40～64 歳では「職業上必要な知識・技能」がそれぞれ 52.6%、51.4%と最も高くなっている一方で、65 歳以上では、「健康・スポーツ」が 42.3%と最も高くなっています。また、これから学習するとすれば、どのようなことを学習したいかについてみると、「趣味的なもの」が 36.3%と最も高く、次いで「健康・スポーツ」が 35.8%となっています。

〇学習場所についてみると、「自宅、個人宅等」が 49.6%と最も高くなっています。また、学習形態についてみると、全体では、「民間の講座や教室」が 42.4%と最も高くなっている一方で、年代別にみると、18～39 歳では「読書や通信教育等の個人での学習」が 39.8%、40～64 歳では「民間の講座や教室」が 50.0%、65 歳以上では「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」が 52.4%とそれぞれ最も高くなっています。

〇学習をする際の情報収集先についてみると、「友人・知人の評判・口コミ」が 39.7%と最も高く、次いで「市の『広報ほっと京田辺』」が 24.0%となっています。これから学習する際の情報収集先についてみると、「市の『広報ほっと京田辺』」が 37.5%と最も高く、次いで「『市や各施設のホームページ』、『市公式ＳＮＳ』以外のインターネット」がともに 24.8%となっています。

〇生涯学習を行う上で困っていることについてみると、「仕事が忙しくて時間がない」が 23.0%と最も高くなっています。

２　家庭教育の状況について

〇子育てにおいて悩みや不安に感じることについてみると、「子どもの健康や発達について悩みや不安がある」が 31.6%と最も高くなっています。

〇家庭教育を充実させるために必要なことについてみると、「親がもっと家庭教育に取り組むこと」が 31.6%と最も高くなっています。

３　学びの「成果」の活かし方について

〇学習活動を通じて身に付けた知識や技能を地域や他の人のために生かしたいと思うかについてみると、全体では『生かしたい』（「生かしたいと思う」と「どちらかといえば生かしたいと思う」を合わせたもの）が 49.6%と最も高くなっているものの、年齢が上がるにつれて『生かしたい』が低くなっています。

〇学習活動を通じて身に付けた知識や技能を地域や他の人のために生かすには、どのようなことが必要だと思うかについてみると、「地域活動・ボランティア活動の情報提供の充実」が 51.8%と最も高く、次いで「技能や経験を持つ人と活動の場を結ぶコーディネーターの充実」が 43.0%となっています。

４　地域や社会での活動について

〇地域や社会で参加してみたい活動についてみると、全体では「わからない」が 22.0%と最も高くなっており、９地区の内の５地区で「スポーツ・文化活動」が最も高くなっています。

〇公共施設をどのような機会・活動に利用したいかについてみると、「趣味・教養」が 56.4%と最も高くなっており、次いで「鑑賞・観覧」が 45.6%となっています。

〇生涯学習推進協力員の認知度についてみると、「まったく知らない」が 79.0%と最も高くなっています。

〇多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるために必要なことについてみると、「地域や社会での活動に関する情報提供」が 53.8%と最も高く、次いで「地域や社会に関する講習会の開催等、活動への参加につながるようなきっかけづくり」が 43.8%となっています。

（２）生涯学習に関するアンケート（団体用）調査

①調査概要

調査対象	主に市内の公共施設を拠点に活動されている団体
対象数	配布数：100 件　有効回答数：65 件　有効回収率：65.0%
調査方法	郵送による調査票の配布、郵送による調査票の回収
調査期間	令和３年（2021 年）６月 28 日(月)～７月 16 日(金)

②調査結果

○主な活動目的についてみると、「交流・仲間づくりのため」が 78.5%と最も高く、次いで「技術・技能向上のため」が 58.5%となっています。

○活動の場として利用している施設等についてみると、「中央公民館、住民センター、中央図書館等」が 70.8%と最も高くなっています。

○これまでの学習成果の活用の有無についてみると、「学習成果を活用している」が 73.8%と最も高くなっており、学習成果の活用の仕方についてみると、「市民まつりや市民文化祭等、市の施設の文化祭等への参加」が 79.2%と最も高くなっています。

○活動を行う上で、問題になったことについてみると、「新規会員が入会しない」「会員の高齢化」がともに 38.5%と最も高くなっています。

○これまでに地域や他団体、個人との交流があったかについてみると、「イベント（試合、発表会、展覧会）等のお知らせをするなどの交流がある」が 46.2%と最も高く、次いで「イベント等を一緒に行うなどの交流がある」が 36.9%となっています。

○活動を続ける上で行政に望むことについてみると、「会員募集の支援や、活動についてＰＲをしてほしい」「特にない、わからない」がともに 24.6%と最も高く、次いで「活動できる場所をもっと増やしてほしい」が 21.5%となっています。

（３）生涯学習に関するアンケート（区・自治会用）調査

①調査概要

調査対象	市内の区・自治会
対象数	配布数：47 件　有効回答数：44 件　有効回収率：93.6%
調査方法	郵送による調査票の配布、郵送による調査票の回収
調査期間	令和３年（2021 年）７月 20 日（火）～８月３日（火）

②調査結果

○生涯学習推進協力員の有無についてみると、「いる」が 43.2%、「いない」が 56.8%となっています。

○生涯学習推進協力員は必要だと思うかについてみると、「思う」が 40.5%、「思わない」が 32.4%となっています。

○今後の生涯学習推進協力員の設置区域の意向についてみると、「小学校区」が 35.1%と最も高くなっています。

３．前計画の成果と課題

第２次京田辺市生涯学習推進基本計画の施策の取り組み状況の評価・検証を行い、成果と課題を取りまとめました。

（１）　学習活動への参加の促進

〇市民の学習ニーズにあった学習活動への支援を行うため、学習の機会の提供と拡充、市の特性を活かした学習情報の蓄積と発信、生涯学習相談体制の機能の充実に取り組みました。

〇多様化・高度化する学習ニーズへの的確な対応や学習活動参加者の拡充、運営・参画に向けた学習機会の有効的・効果的な提供を行うため、生涯学習を通じた学習機会の充実、文化・芸術・スポーツ活動の支援と充実、学びを広げるための施設の開放や有効活用に取り組みました。また、市民文化祭や産業祭等を「市民まつり」としてまとめました。

〇市各部局で行っている事業、イベントについても、より多くの市民が参加できる内容に見直すことが必要です。

〇生涯学習に関連する情報誌の発行については、掲載基準の不統一等から、見直し・改善が必要となっています。

（２）　地域人材の育成

〇各種学習の機会等を通してリーダーやボランティア、団体の育成・活用を推進するとともに、子どもや青少年が主体的に楽しく学び、豊かな心や実践力を発揮できるよう、学習を支える人材の育成と活用、学習団体やボランティアの育成と活動の活性化、心の教育を進める機会の充実と指導者の育成に取り組みました。

〇地域学校協働活動については、活用が不足しているため、見直し・改善が必要となっています。

（３）　学習環境の整備

〇生涯学習活動が円滑かつ効果的に行われるための基盤整備や学習情報の充実・提供、既存施設の効率的活用を行うため、学習プログラムの充実と情報の提供、特色のある学習の整備と充実、生涯学習施設の拠点機能の充実とネットワーク化に取り組みました。

〇生涯学習センターの整備については、自主的な学習活動の拠点となるよう、より具体的な内容について検討を進める必要があります。

（４）　学習成果の活用

〇生涯学習を総合的・効率的に推進し「市民参加型のまちづくり」に反映できるよう、新たな学習の創出や学習成果が社会的に評価・還元される仕組みの工夫が求められるため、学習の成果を活用できる仕組みづくり、生涯学習推進体制の機能の充実、市民の主体的な学習活動の促進と充実に取り組みました。

〇学習団体等の成果を継続的に活用できる場を増やすことが課題となっています。

４．京田辺市の課題

（１）学習機会・学習環境の充実

生涯学習に関する個人用アンケート調査(以下､｢アンケート調査(個人用)｣という｡)によると、これから学習したいこととして「趣味的なもの」「健康・スポーツ」が高くなっており、住民のニーズに沿った学習機会の提供が必要です。また、生涯学習を行う上で困っていることとして「仕事が忙しくて時間がない」が最も高くなっている他、家庭教育の充実に必要なこととして「親がもっと家庭教育に取り組むこと」が高くなっているため、住民の生活に合わせた学習の在り方の検討が必要です。

アンケート調査(個人用)によると、学習を行う場所は「自宅、個人宅等」が最も高く、自宅等でも学習の場に参加できる仕組みづくりが必要です。さらに、前計画の成果と課題では、地域での自主的な学習活動に向けた拠点機能が求められており、市民活動の充実に向けた施設の整備の検討が必要です。

アンケート調査(個人用)によると、これから学習する際の情報収集先として「市の『広報ほっと京田辺』」、｢『市や各施設のホームページ』、『市公式ＳＮＳ』以外のインターネット」が高くなっており、インターネットの活用も視野に入れた学習情報の発信が必要です。

（２）学習を通じた交流の促進

生涯学習推進協力員について、前計画の成果と課題では活用等の見直しが求められており、生涯学習に関する区・自治会アンケート調査においても、今後の設置区域の意向として｢小学校区」が最も高くなっていることから、生涯学習推進協力員の広域での設置を検討する必要があります。

アンケート調査(個人用)によると、多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるために必要なこととして、｢地域や社会に関する講習会の開催等、活動への参加につながるようなきっかけづくり」が高くなっている他、学習活動を通じて身に付けた知識や技能を地域や他の人のために活用する上で必要なこととして、｢技能や経験を持つ人と活動の場を結ぶコーディネーターの充実」が高くなっています。今後は、学習の機会を通じて個人を地域活動へと結びつけるためのきっかけづくりに取り組むとともに、学習活動の充実を図るために、技術や経験を持つ地域人材の掘り起こしを行う必要があります。

アンケート調査(個人用)によると、学習の形態として「民間の講座や教室」が最も高いことから、民間団体や大学等の多様な主体との連携を進め、市民の学習の充実を図る必要があります。

（３）学習成果の活用に向けた基盤整備

前計画の成果と課題では、学習成果を継続的に活用できる場の創出が課題となっており、発表や活用の機会の充実が求められます。

生涯学習に関する団体用アンケート調査によると、活動を続ける上で行政に望むことについて、「会員募集の支援や、活動についてＰＲをしてほしい」が最も高くなっており、新規会員の増加に向けた支援等を行う必要があります。

前計画の成果と課題においては、地域学校協働活動の積極的な活用やより多くの市民の参加に向けた市各部局の事業やイベントの見直しが求められているため、学習を通じて結びついた個人や団体を活動の場へとつなげるとともに、活動の場への市民参画を促進する必要があります。

第３章　計画の基本的な考え方

１．基本理念

本市ではこれまで、共に学ぶ生涯学習社会の実現に向けて、「いつでも、どこでも、だれでも、なんどでも、たのしく」学ぶことができる学習環境の確保や学習機会の充実、人材育成等に取り組んできました。

今後は、全国的に進行する人口減少や少子高齢化により、本市においてもまちの活力が減退していくことが考えられます。このような状況の中で、市民一人ひとりの生活の豊かさやまちの豊かさを維持・発展させていくためには、一人ひとりの市民が生涯を通じて学習を行い、その成果を地域に還元していく生涯学習社会の実現が益々重要となります。

そこで、本計画においては、これまで地域で行われてきた学習活動を守り育てていくとともに、学習を通して地域間・世代間のつながりを形成し、学習の成果を地域で活用していくために、「学びを広げ　未来を拓くまち　京田辺」を基本理念に定めます。

学びを広げ　未来を拓くまち　京田辺

２．基本目標

本計画においては、基本理念の実現に向け、次の３つを基本目標として施策を展開します。

基本目標１　学ぶ ～誰もが学び続けられるまち～

市民一人ひとりの学習の充実を図るために、家庭教育や学校教育、社会人の学び直しなどを通じたライフステージに応じた学習や市民のニーズや生活に沿った学びの創出に取り組みます。また、市民が活動していくための学びの場の充実や学びに関する情報の発信に取り組みます。

基本目標２　つなげる ～学びを通してつながりあえるまち～

身近な地域で学習を行う主体のより活発な活動に資する取り組みを進めていきます。加えて、個人と地域活動を結びつけるために学習の機会を通じたきっかけづくりや地域人材の掘り起しを行います。また、学習の充実に向けて関係機関・団体、教育機関、民間企業等との連携を図ります。

基本目標３　活かす ～学びの成果を活用できるまち～

生涯学習社会を実現するためには、学習を通して学んだ知識や技能等を活かすための仕組みづくりが必要です。学習の成果を発表する場を提供するとともに市内の団体の活動を促進し、地域の活性化を図ります。また、学習を通じて知識を得た人や地域の知識や経験を持つ人を、活動の場とつなげることで学習成果が活用される社会を実現します。

３．施策体系

基本理念

学びを広げ　未来を拓くまち　京田辺

基本目標･基本施策

基本目標１　学ぶ　～誰もが学び続けられるまち～

- 基本施策
  - （１）多様なニーズに合わせた学習機会づくり
  - （２）学びの拠点づくり
  - （３）生涯学習の情報提供

基本目標２　つなげる　～学びを通してつながりあえるまち～

- 基本施策
  - （１）生涯学習の人材発掘と育成
  - （２）学びを通したつながりづくり
  - （３）多様な主体との連携

基本目標３　活かす　～学びの成果を活用できるまち～

- 基本施策
  - （１）学びの成果を活かせる機会づくり
  - （２）市民活動団体の主体的な学びの促進
  - （３）市民活動のまちづくりへの還元